

大阪市在宅医療・介護連携推進事業に
関する医療施設等アンケート調査
報告書

令和7年1月

大阪市健康局

目 次

1	調査概要	1
(1)	調査の趣旨・背景	1
(2)	実施方法	1
(3)	調査対象・回収結果	1
(4)	調査回答者	1
(5)	調査項目	2
2	施設に関する基本情報	3
(1)	標ぼう診療科	3
(2)	併設施設	4
(3)	協力医療機関	5
(4)	届出施設基準	6
(5)	加算の届出状況	7
(6)	診療体制	8
(7)	病院における地域連携のための部署の有無	10
(8)	病院における地域連携を担当する職員の職種・人数	11
(9)	病院以外の施設における職種別職員数	12
(10)	在支診等の届出理由	14
3	在宅医療の実績等	16
(1)	診療等の実績（令和6年7月の1か月間）	16
(2)	退院患者の実績（令和6年7月の1か月間）	22
4	地域との連携状況	23
(1)	入退院カンファレンスにおける各職種への出席要請方針	23
(2)	入退院カンファレンスの課題	24
(3)	病院からの入退院カンファレンスへの出席対応	25
(4)	サービス担当者会議への出席対応	26
(5)	地域の他職種・他機関との連携手段	28
(6)	施設としての全般的な連携度	30
(7)	他職種・他機関との連携度	32
(8)	各種情報についての意見交換・共有	39
5	在宅医療の推進	45
(1)	連携が必要と考える他職種・他機関	45
(2)	在宅医療・介護連携の推進のために必要だと考えること	50
(3)	地域での在宅医療を継続するにあたり苦慮する課題	55
(4)	地域の在宅医療の推進への貢献度	62
(5)	地域の在宅医療の推進への今後の意向	64
(6)	仕事の満足度	65
6	ACP（人生会議）	67
(1)	ACP（人生会議）の実施状況	67
(2)	意思決定支援にかかる指針の作成	68
(3)	意思決定支援やACPにかかる取り組み	69
(4)	ACPについての意見交換・共有	70
(5)	ACP実施においての課題	74
(6)	在宅での看取りにおいての課題	78
7	大阪市在宅医療・介護連携推進事業等	84
(1)	「在宅医療・介護連携相談支援室」の認知・利用実績	84
(2)	「在宅医療連携拠点の相談支援室」の認知・利用実績	85

1 調査概要

(1) 調査の趣旨・背景

- ・在宅医療・介護連携推進事業は、平成27年に介護保険法の地域支援事業として位置づけられ、市町村が主体となり、地区医師会等と緊密に連携しながら、医療・介護関係機関間の連携体制の構築の推進を図ることとされた。
- ・本事業の推進にあたっては、厚生労働省「在宅医療・介護連携推進事業の手引き Ver.3」において、既存のデータの収集やアンケートの実施により、定量的及び定性的な現状把握を行い、課題の抽出を行うことが明記されている。また、めざす理想像や目標の設定を行い、PDCAサイクルにより事業の進捗を評価していくことが求められている。
- ・本市では、アンケート調査を実施することで、在宅医療・介護連携推進事業の現状把握に努めるとともに、医療と介護の連携のうえでの課題整理と事業評価の基礎資料となる医療側に着目したアンケート調査を実施した。

(2) 実施方法

- ・対象施設へ本調査についての調査票を送付し、返信用封筒による郵送、FAX、Web、メールのいずれかの方法での回答を依頼した。
- ・令和6年10月30日から令和6年12月6日までを調査期間とした。

(3) 調査対象・回収結果

- ・調査対象は以下の5類型・計3,691施設とした。
- ・有効回答率は67.9%となった。

対象施設※	対象数	回収数	有効回答数	有効回答率
病院	173	107	107	61.8%
在宅療養支援診療所（在支診）	747	460	460	61.6%
在宅療養支援歯科診療所（在支歯診）	340	196	195	57.4%
在宅患者訪問薬剤管理指導料届出薬局（訪問薬局）	1,654	1,251	1,251	75.6%
訪問看護ステーション（訪問看護）	777	494	494	63.6%
合計	3,691	2,508	2,507	67.9%

※（）は本報告書での略称

(4) 調査回答者

- ・5つの施設類型ごとに各回答者に対して（5）調査項目を聴取した。

対象施設	回答者
病院	地域医療連携室等において主として地域連携を担当されている方 （または、入退院調整部門の事情を十分に把握されている方（責任者等））
在支診 在支歯診 訪問薬局	管理者の方 （管理者が在宅医療に従事していない場合は在宅医療に従事している方）
訪問看護	管理者の方

(5) 調査項目

No	設問	回答形式	新規設問	施設類型				
				病院	在支診	在支歯診	訪問薬局	訪問看護
1 施設に関する基本情報								
1	標ぼう診療科	MA		問 1-1	問 1-1			
2	併設施設	MA		問 1-2	問 1-2			問 1-2
3	協力医療機関	MA	○	問 1-3	問 1-3			
4	届出施設基準	SA	○	問 1-4A	問 1-4B	問 1-4C		問 1-4C
5	加算の届出状況	MA		問 1-5A				問 1-5E
6	診療体制	SA	○	問 1-6A	問 1-6B			問 1-6E
7	病院における地域連携のための部署の有無	SA		問 1-7				
8	病院における地域連携を担当する職員の職種・人数	数		問 1-8				
9	病院以外の施設における職種別職員数	数			問 1-9B	問 1-9C	問 1-9D	問 1-9E
10	在支診等の届出理由	MA			問 1-10B	問 1-10C	問 1-10D	
2 在宅医療の実績等								
1	診療等の実績（令和6年7月の1か月間）	数		問 2-1A	問 2-1B	問 2-1C	問 2-1D	問 2-1E
2	退院患者の実績（令和6年7月の1か月間）	数		問 2-2				
3 地域との連携状況								
1	入退院カンファレンスにおける各職種への出席要請方針	SA		問 3-1				
2	入退院カンファレンスの課題	MA		問 3-2				
3	病院からの入退院カンファレンスへの出席対応	SA			問 3-3	問 3-3	問 3-3	問 3-3
4	サービス担当者会議への出席対応	SA		問 3-4	問 3-4	問 3-4	問 3-4	問 3-4
5	地域のお他職種・他機関との連携手段	MA	○	問 3-5	問 3-5	問 3-5	問 3-5	問 3-5
6	施設としての全般的な連携度	SA		問 3-6	問 3-6	問 3-6	問 3-6	問 3-6
7	他職種・他機関との連携度	SA		問 3-7	問 3-7	問 3-7	問 3-7	問 3-7
8	各種情報についての意見交換・共有	SA		問 3-8	問 3-8	問 3-8	問 3-8	問 3-8
4 在宅医療の推進								
1	連携が必要と考える他職種・他機関	SA	○	問 4-1	問 4-1	問 4-1	問 4-1	問 4-1
2	在宅医療・介護連携の推進のために必要だと考えること	MA		問 4-2	問 4-2	問 4-2	問 4-2	問 4-2
3	地域での在宅医療を継続するにあたり苦慮する課題	SA		問 4-3	問 4-3	問 4-3	問 4-3	問 4-3
4	地域の在宅医療の推進への貢献度	SA		問 4-4	問 4-4	問 4-4	問 4-4	問 4-4
5	地域の在宅医療の推進への今後の意向	SA		問 4-5	問 4-5	問 4-5	問 4-5	問 4-5
6	仕事の満足度	SA		問 4-6	問 4-6	問 4-6	問 4-6	問 4-6
5 ACP（人生会議）								
1	ACP（人生会議）の実施状況	SA		問 5-1	問 5-1	問 5-1	問 5-1	問 5-1
2	意思決定支援にかかる指針の作成	SA	○	問 5-2				
3	意思決定支援や ACP にかかる取り組み	SA	○	問 5-3				
4	ACP についての意見交換・共有	SA	○	問 5-4	問 5-4	問 5-4	問 5-4	問 5-4
5	ACP 実施における課題	SA	○	問 5-5	問 5-5	問 5-5	問 5-5	問 5-5
6	在宅での看取りにおける課題	SA		問 5-6	問 5-6	問 5-6	問 5-6	問 5-6
6 大阪市在宅医療・介護連携推進事業等								
1	「在宅医療・介護連携相談支援室」の認知・利用実績	SA		問 6-1	問 6-1	問 6-1	問 6-1	問 6-1
2	「在宅医療連携拠点の相談支援室」の認知・利用実績	SA	○	問 6-2	問 6-2	問 6-2	問 6-2	問 6-2

※SA：単一回答 MA：複数回答 数：数値回答

2 施設に関する基本情報

(1) 標ぼう診療科

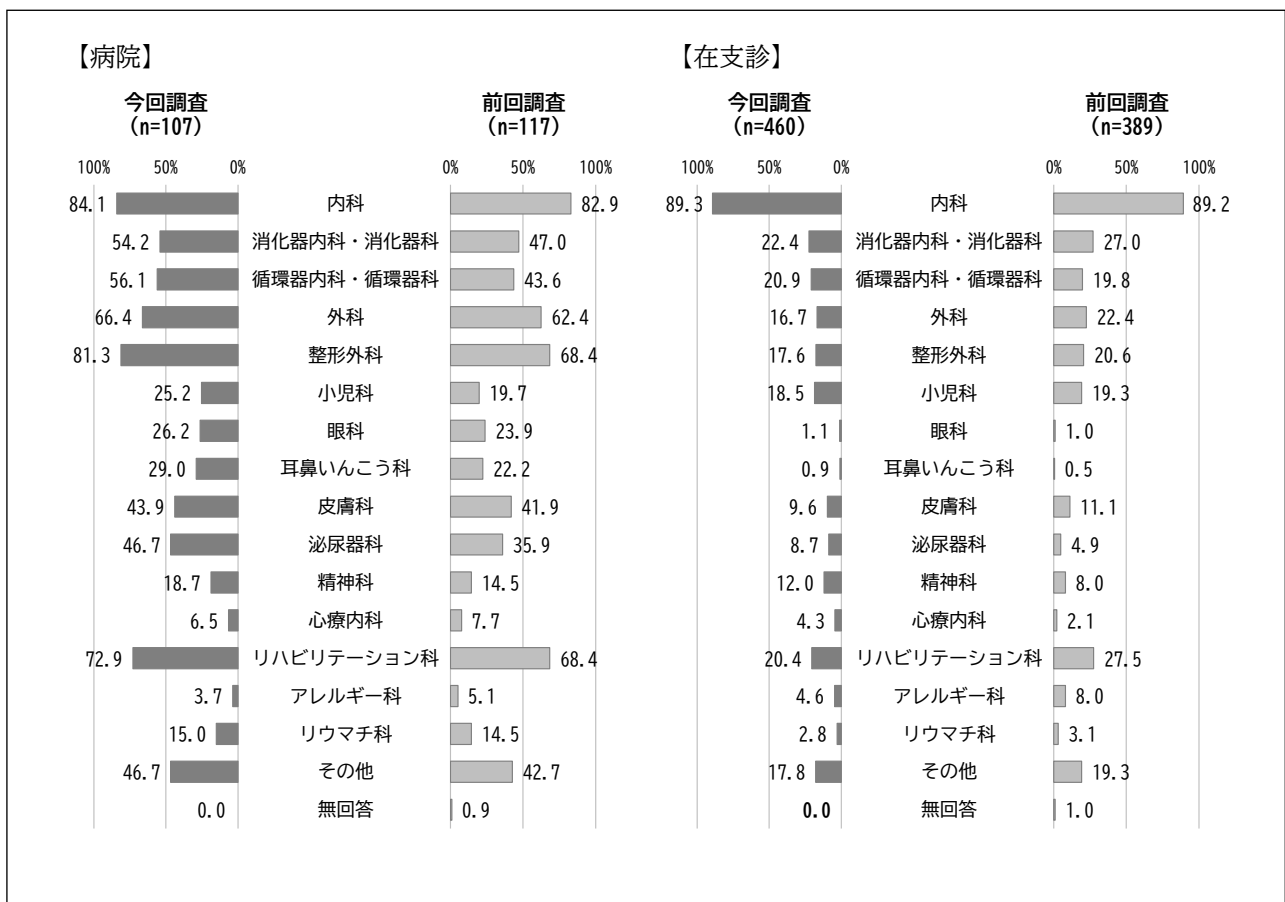
病院

- ・「内科」が84.1%と最も多く、次いで、「整形外科」が81.3%、「リハビリテーション科」が72.9%、「外科」が66.4%の順となっている。
- ・「その他」の内訳としては、「脳神経外科」「放射線科」「呼吸器内科」「肛門科」などとなっている。

在支診

- ・「内科」が89.3%と最も多く、次いで、「消化器内科・消化器科」が22.4%、「循環器内科・循環器科」が20.9%の順となっている。

図表1 標ぼう診療科



(2) 併設施設

病院

・「併設なし」51.4%以外では、「訪問看護ステーション」が27.1%と最も多く、次いで、「居宅介護支援事業所」が20.6%の順となっている。

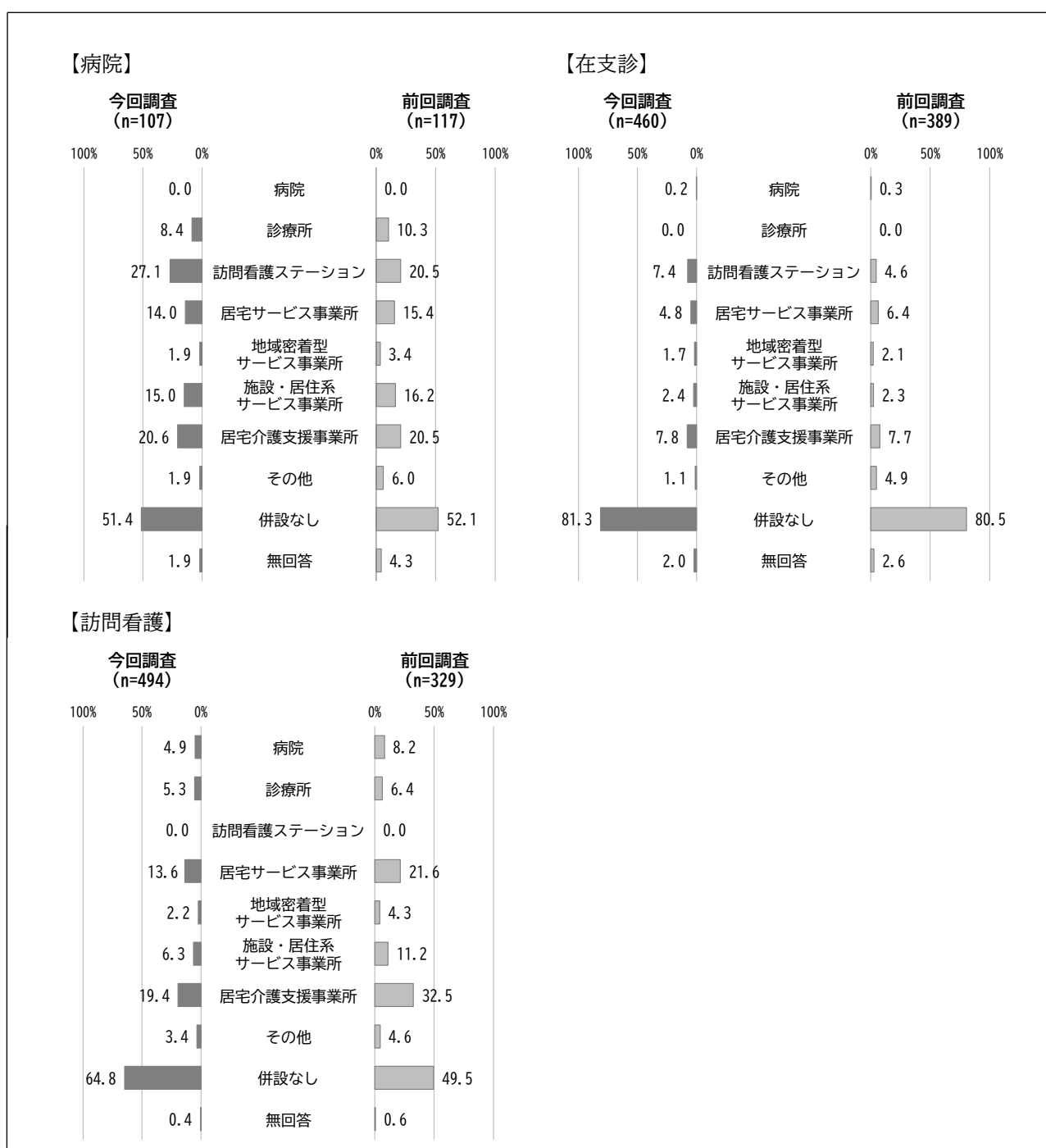
在支診

・「併設なし」81.3%以外では、「居宅介護支援事業所」が7.8%と最も多く、次いで、「訪問看護ステーション」が7.4%の順となっている。

訪問看護

・「併設なし」64.8%以外では、「居宅介護支援事業所」が19.4%と最も多く、次いで、「居宅サービス事業所」が13.6%の順となっている。

図表2 併設施設



(3) 協力医療機関

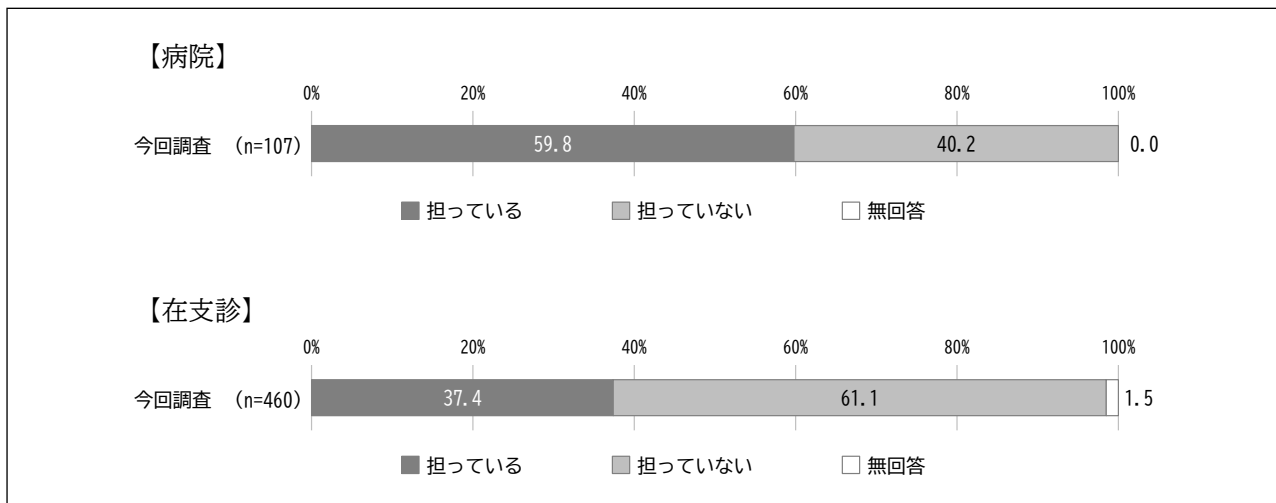
病院

・「担っている」が59.8%と、「担っていない」の40.2%を上回っている。

在支診

・「担っていない」が61.1%と、「担っている」の37.4%を上回っている。

図表3 協力医療機関



(4) 届出施設基準

病院

・「いずれもあてはまらない」が59.8%となっており、「在宅療養支援病院」が20.6%、「在宅療養後方支援病院」が17.8%となっている。

在支診

・「その他の在宅療養支援診療所」が65.4%と最も多く、次いで、「機能強化型 連携型」が28.7%、「機能強化型 単独型」が3.9%の順となっている。

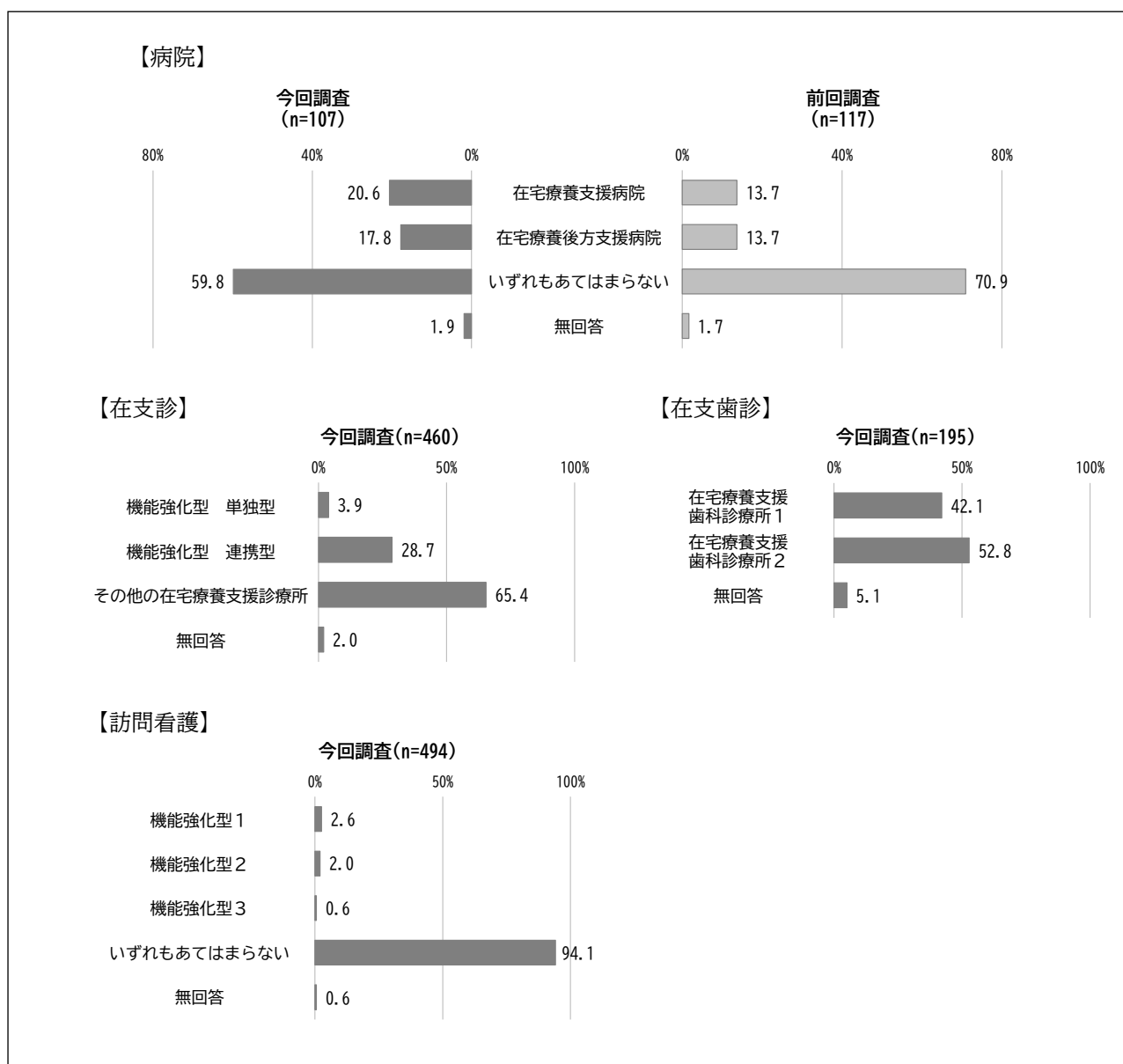
在支歯診

・「在宅療養支援歯科診療所2」が52.8%、「在宅療養支援歯科診療所1」が42.1%となっている。

訪問看護

・「いずれもあてはまらない」が94.1%となっており、「機能強化型1」2.6%、「機能強化型2」2.0%、「機能強化型3」0.6%となっている。

図表4 届出施設基準



(5) 加算の届出状況

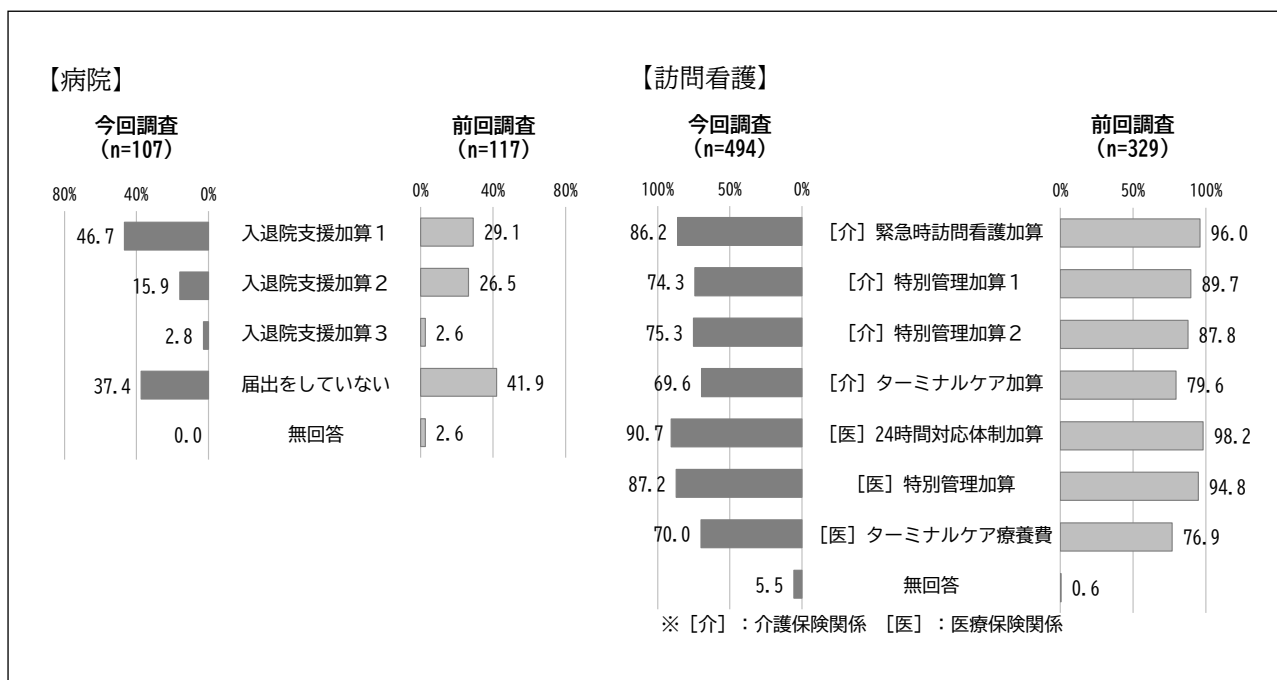
病院

・「入退院支援加算1」は50施設（46.7%）と前回調査の29.1%より増加、「入退院支援加算2」は17施設（15.9%）と前回調査の26.5%より減少している。

訪問看護

・「24時間対応体制加算（医療保険関係）」が448施設（90.7%）、「特別管理加算（医療保険関係）」が431施設（87.2%）、「緊急時訪問看護加算（介護保険関係）」が426施設（86.2%）と、多くの施設が届出をしているが、いずれも前回調査より減少している。

図表5 加算の届出状況（複数回答）



(6) 診療体制

病院

- ・訪問診療は、「実施している」が37.4%、「現在実施していないが、今後は実施したいと思う」が8.4%となっている。
- ・小児の訪問診療は、「実施している」が0.0%、「現在実施していないが、今後は実施したいと思う」が0.9%となっている。
- ・オンライン診療は、「実施している」が13.1%、「現在実施していないが、今後は実施したいと思う」が18.7%となっている。

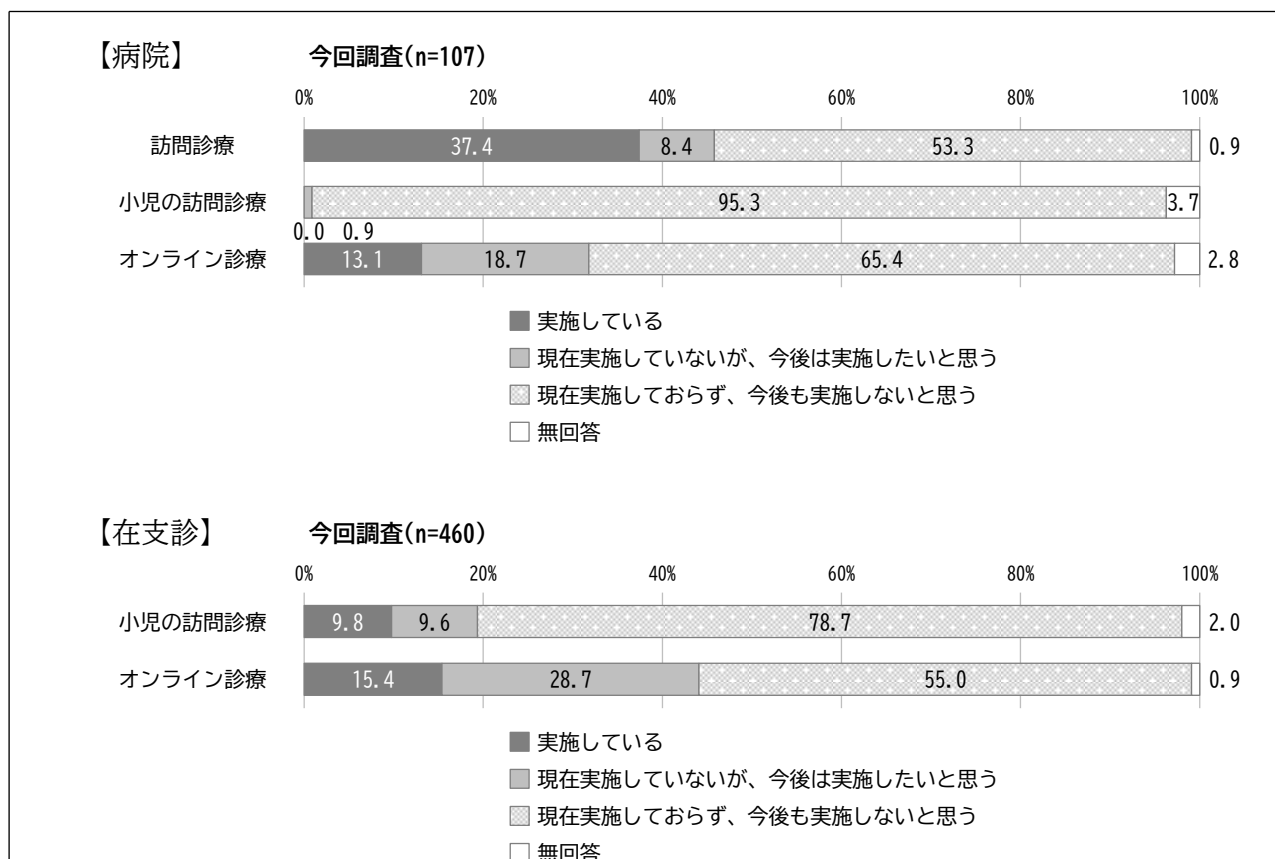
在支診

- ・小児の訪問診療は、「実施している」が9.8%、「現在実施していないが、今後は実施したいと思う」が9.6%となっている。
- ・オンライン診療は、「実施している」が15.4%、「現在実施していないが、今後は実施したいと思う」が28.7%となっている。

訪問看護

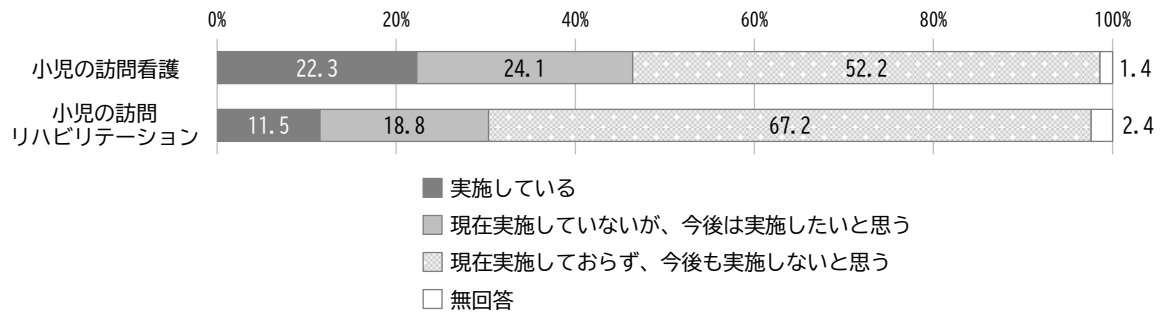
- ・小児の訪問看護は、「実施している」が22.3%、「現在実施していないが、今後は実施したいと思う」が24.1%となっている。
- ・小児の訪問リハビリテーションは、「実施している」が11.5%、「現在実施していないが、今後は実施したいと思う」が18.8%となっている。

図表6 診療体制



【訪問看護】

今回調査(n=494)

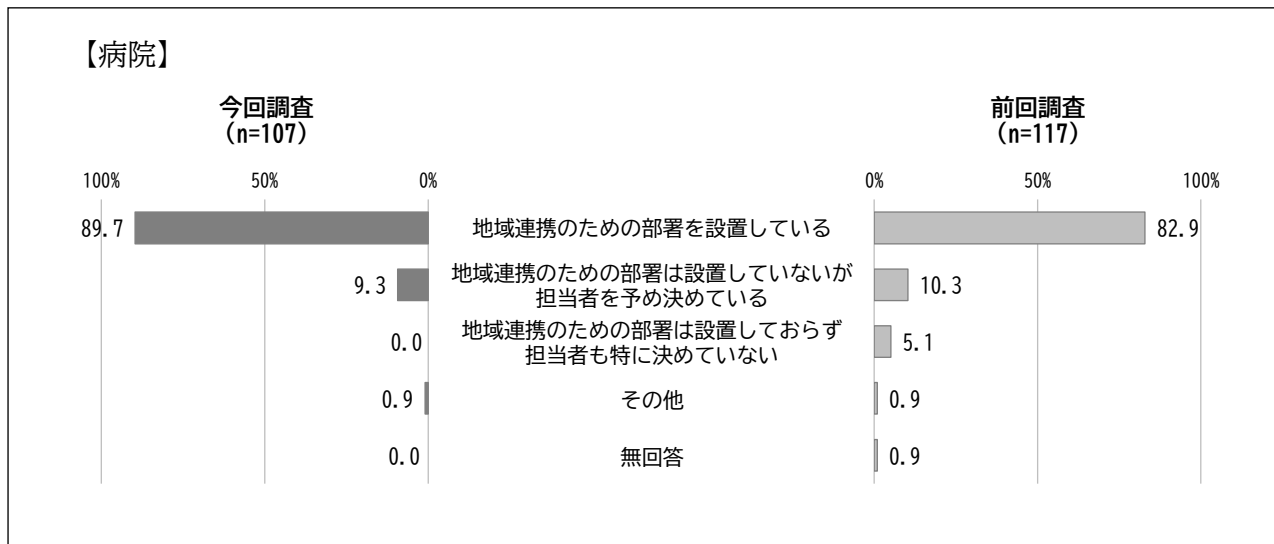


(7) 病院における地域連携のための部署の有無

病院

- ・「地域連携のための部署を設置している」が89.7%と最も多く、前回調査の82.9%より増加している。
- ・「地域連携のための部署は設置しておらず担当者も特に決めていない」は0.0%となっており、前回調査の5.1%より減少している。

図表7 病院における地域連携のための部署の有無



(8) 病院における地域連携を担当する職員の職種・人数

病院

・地域連携を担当する職員を配置している病院における職種別の平均人数は、「看護師・保健師」が4.15人と最も多く、「MSW」が3.34人、「医療事務」が3.17人、「医師」が1.74人の順となっている。

図表8 病院における地域連携を担当する職員の職種・人数

【病院】											
単位：%	医師		看護師・保健師		MSW		医療事務		その他		
	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査	
0人以上 1人未満	51.4 (55)	47.0 (55)	17.8 (19)	23.9 (28)	12.1 (13)	17.1 (20)	34.6 (37)	36.8 (43)	56.1 (60)	56.4 (66)	
1人以上 2人未満	20.6 (22)	22.2 (26)	30.8 (33)	26.5 (31)	22.4 (24)	17.9 (21)	17.8 (19)	16.2 (19)	8.4 (9)	8.5 (10)	
2人以上 3人未満	4.7 (5)	3.4 (4)	7.5 (8)	15.4 (18)	16.8 (18)	18.8 (22)	15.9 (17)	10.3 (12)	3.7 (4)	1.7 (2)	
3人以上 6人未満	1.9 (2)	0.9 (1)	16.8 (18)	13.7 (16)	32.7 (35)	27.4 (32)	11.2 (12)	13.7 (16)	3.7 (4)	2.6 (3)	
6人以上	1.9 (2)	0.9 (1)	18.7 (20)	8.5 (10)	12.1 (13)	15.4 (18)	7.5 (8)	3.4 (4)	0.9 (1)	0.9 (1)	
無回答	19.6 (21)	25.6 (30)	8.4 (9)	12.0 (14)	3.7 (4)	3.4 (4)	13.1 (14)	19.7 (23)	27.1 (29)	29.9 (35)	
平均(※)	1.74	1.41	4.15	2.79	3.34	3.59	3.17	2.59	2.17	1.94	

※平均：「0人」「無回答」を除く施設における平均人数を算出
 ※前回値は、専任・兼任を問わない職種別の平均人数

(9) 病院以外の施設における職種別職員数

在支診

- ・職種別の平均人数は、「医師」が1.76人、「看護師」が3.01人、「リハビリ職」が3.57人、「管理栄養士」が0.97人となっている。
- ・うち、在宅医療を担当する職員の平均人数は、「医師」が1.51人、「看護師」が2.02人、「リハビリ職」が3.43人、「管理栄養士」が0.94人となっている。

在支歯診

- ・職種別の平均人数は、「歯科医師」が2.76人、「歯科衛生士」が5.15人となっている。
- ・うち、在宅医療を担当する職員の平均人数は、「歯科医師」が1.98人、「歯科衛生士」が3.44人となっている。

訪問薬局

- ・「薬剤師」の平均人数は2.99人となっており、うち、在宅医療を担当する職員の平均人数は2.08人となっている。

訪問看護

- ・職種別の平均人数は、「看護師」が7.08人、「リハビリ職」が3.67人となっている。
- ・うち、在宅医療を担当する職員の平均人数は、「看護師」が6.55人、「リハビリ職」が3.82人となっている。

図表9 病院以外の施設における職種別職員数

【在支診】

単位：%	医師		看護師（保健師・助産師・准看護師含む）		リハビリ職（OT/PT/ST）		管理栄養士	
	職員	うち、在宅医療を担当する職員	職員	うち、在宅医療を担当する職員	職員	うち、在宅医療を担当する職員	職員	うち、在宅医療を担当する職員
0人以上 1人未満	0.2 (1)	6.1 (28)	8.3 (38)	38.3 (176)	78.7 (362)	82.2 (378)	90.0 (414)	91.3 (420)
1人以上 2人未満	65.9 (303)	71.1 (327)	23.3 (107)	29.1 (134)	4.6 (21)	3.5 (16)	3.5 (16)	0.9 (4)
2人以上 3人未満	20.4 (94)	12.8 (59)	22.0 (101)	13.5 (62)	3.0 (14)	2.6 (12)	0.9 (4)	0.2 (1)
3人以上 4人未満	6.1 (28)	3.5 (16)	20.7 (95)	7.4 (34)	2.4 (11)	1.1 (5)	0.2 (1)	0.2 (1)
4人以上	5.9 (27)	2.6 (12)	24.1 (111)	7.8 (36)	5.7 (26)	3.0 (14)	0.0 (0)	0.0 (0)
無回答	1.5 (7)	3.9 (18)	1.7 (8)	3.9 (18)	5.7 (26)	7.6 (35)	5.4 (25)	7.4 (34)
平均（※）	1.76	1.51	3.01	2.02	3.57	3.43	0.97	0.94

※平均：「0人」「無回答」を除く施設における平均人数を算出

【在支歯診】

単位：%	歯科医師		歯科衛生士	
	職員	うち、在宅医療を担当する職員	職員	うち、在宅医療を担当する職員
0人以上 1人未満	0.0 (0)	5.1 (10)	2.1 (4)	7.2 (14)
1人以上 2人未満	41.0 (80)	61.5 (120)	17.4 (34)	30.3 (59)
2人以上 3人未満	25.6 (50)	15.9 (31)	16.9 (33)	22.1 (43)
3人以上 6人未満	22.6 (44)	11.3 (22)	31.8 (62)	23.1 (45)
6人以上	10.3 (20)	4.6 (9)	30.3 (59)	15.4 (30)
無回答	0.5 (1)	1.5 (3)	1.5 (3)	2.1 (4)
平均(※)	2.76	1.98	5.15	3.44

※平均：「0人」「無回答」を除く施設における平均人数を算出

【訪問薬局】

単位：%	薬剤師	
	職員	うち、在宅医療を担当する職員
0人以上 1人未満	0.3 (4)	11.7 (146)
1人以上 2人未満	24.9 (312)	38.0 (476)
2人以上 3人未満	28.1 (352)	26.1 (327)
3人以上 6人未満	36.2 (453)	20.3 (254)
6人以上	9.3 (116)	2.6 (32)
無回答	1.1 (14)	1.3 (16)
平均(※)	2.99	2.08

【訪問看護】

単位：%	看護師（保健師・助産師・准看護師含む）	
	職員	うち、在宅医療を担当する職員
0人以上 1人未満	0.4 (2)	9.1 (45)
1人以上 2人未満	0.4 (2)	1.0 (5)
2人以上 3人未満	8.1 (40)	8.1 (40)
3人以上 5人未満	34.6 (171)	30.6 (151)
5人以上 7人未満	23.1 (114)	20.4 (101)
7人以上	29.6 (146)	26.1 (129)
無回答	3.8 (19)	4.7 (23)

単位：%	リハビリ職 (OT/PT/ST)	
	職員	うち、在宅医療を担当する職員
0人以上 1人未満	55.1 (272)	57.7 (285)
1人以上 2人未満	11.3 (56)	9.9 (49)
2人以上 3人未満	9.5 (47)	8.1 (40)
3人以上 4人未満	4.5 (22)	4.5 (22)
4人以上	15.8 (78)	14.8 (73)
無回答	3.8 (19)	5.1 (25)
平均(※)	3.67	3.82

平均(※)	7.08	6.55
-------	------	------

※平均：「0人」「無回答」を除く施設における平均人数を算出

(10) 在支診等の届出理由

在支診

・「患者に訪問診療を要する者がいた」が68.7%で最も多く、次いで、「患者から訪問診療を望まれた」が56.3%、「今後、在宅医療の一層の強化が必要になると考えた」が40.2%の順となっている。

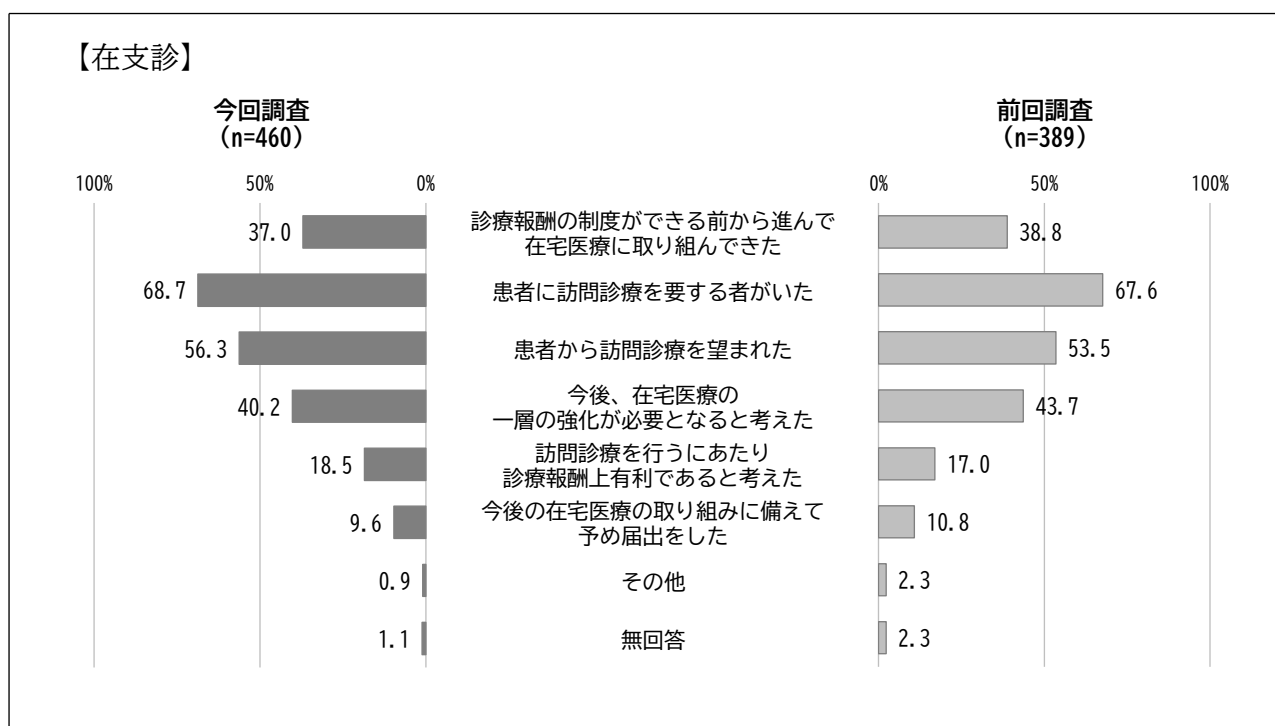
在支歯診

・「患者から訪問歯科診療を望まれた」が67.2%で最も多く、次いで、「患者に訪問歯科診療を要する者がいた」が60.0%、「今後、在宅歯科医療の一層の強化が必要になると考えた」が48.2%の順となっている。

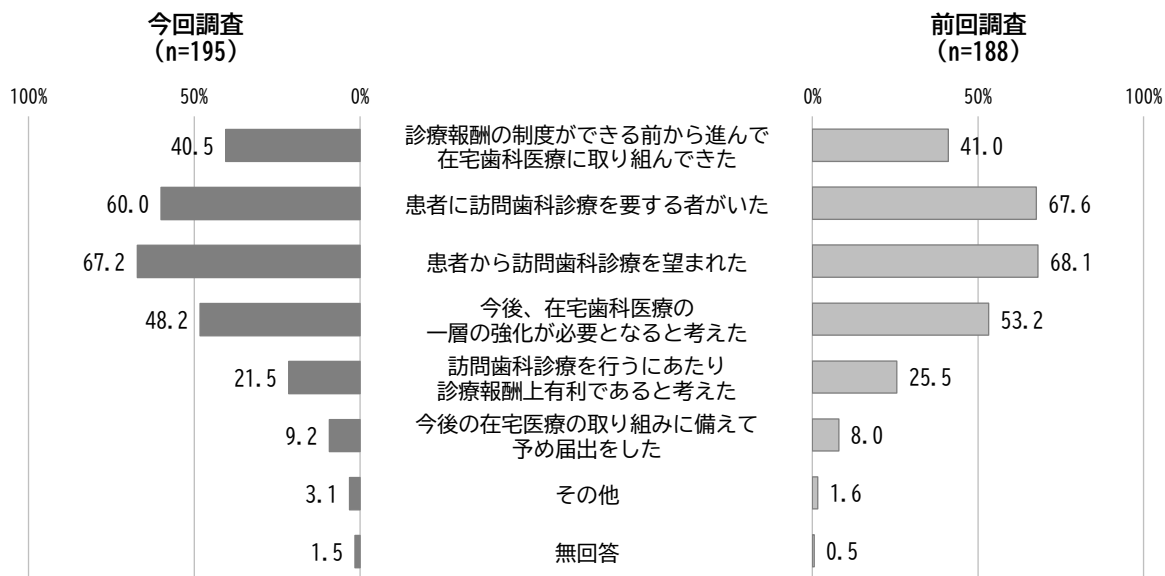
訪問薬局

・「処方医から訪問による薬剤管理及び指導の依頼があった」が52.3%で最も多く、次いで、「今後、在宅医療の一層の強化が必要となると考えた」が50.1%、「患者に訪問薬剤管理及び指導を要する者がいた」が46.4%の順となっている。

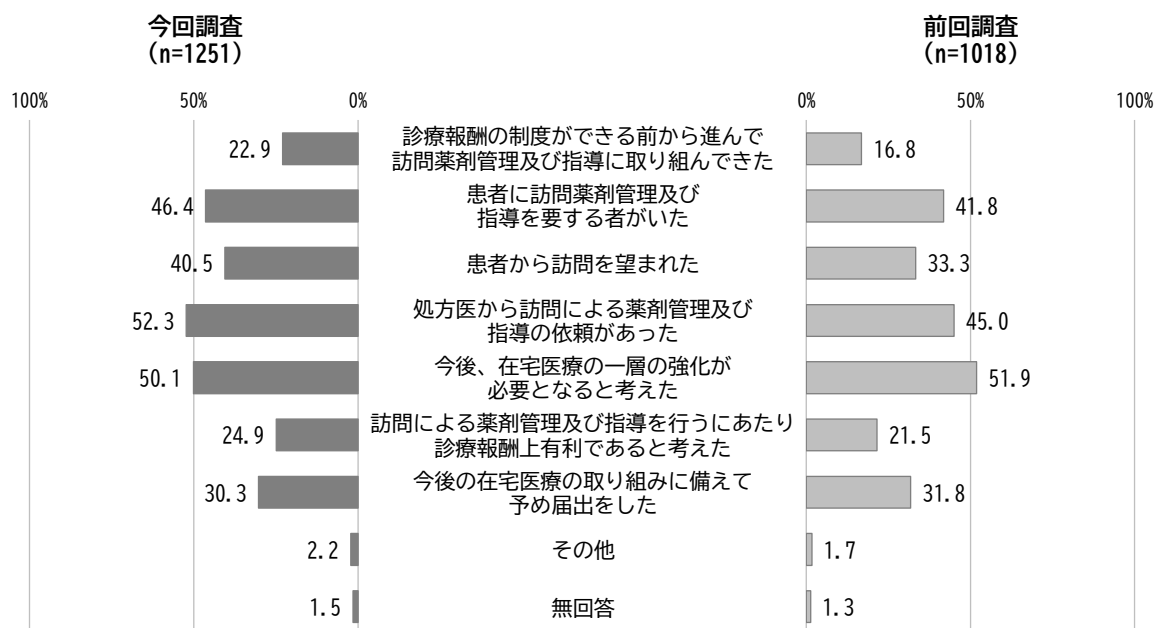
図表10 在支診等の届出理由（複数回答）



【在宅歯診】



【訪問薬局】



3 在宅医療の実績等

(1) 診療等の実績（令和6年7月の1か月間）

病院

- ・「①訪問診療及び往診を実施した実人数」は、33.7%の施設で1人以上実施している。分布では、「21～30人」が8.4%、「1～5人」が7.5%、「51～100人」「101～200人」が4.7%の順となっている。
- ・「②訪問看護を実施した実人数」は、15.0%の施設で1人以上実施している。分布では、「1～5人」「101～200人」が2.8%と最も多くなっている。
- ・「③医師による居宅療養管理指導を算定した人数」は、15.9%の施設で1人以上算定している。分布では、「51～100人」が4.7%、「11～20人」「21～30人」が3.7%の順となっている。
- ・「④医師による在宅での看取りを実施した人数」は、17.8%の施設で1人以上実施しており、前回調査の7.7%より増加している。分布では、「1～5人」が14.0%と最も多くなっている。
- ・「⑤管理栄養士による訪問栄養食事指導を実施した人数」は、1.9%の施設のみで「1～5人」となっている。

在支診

- ・「①訪問診療及び往診を実施した実人数」は、86.8%の施設で1人以上実施している。分布では、「1～5人」が19.3%、「6～10人」が13.5%、「11～20人」が10.2%の順となっている。
- ・「②医師による居宅療養管理指導を算定した人数」は、61.1%の施設で1人以上算定している。分布では、「1～5人」が15.7%、「11～20人」が8.0%、「51～100人」が7.8%の順となっている。
- ・「③医師による在宅での看取りを実施した人数」は、65.3%の施設で1人以上実施しており、前回調査の58.6%より増加している。分布では、「1～5人」が38.9%と最も多く、次いで、「6～10人」が8.0%となっている。
- ・「④管理栄養士による訪問栄養食事指導を実施した人数」は、2.4%の施設で1人以上実施している。分布では、「1～5人」が2.2%、「11～20人」が0.2%となっている。

在支歯診

- ・「①訪問診療及び往診を実施した実人数」は、90.2%の施設で1人以上実施している。分布では、「1～5人」が25.1%、「101～200人」が13.3%、「201人以上」が12.3%の順となっている。
- ・「②歯科医師による居宅療養管理指導を算定した人数」は、77.4%の施設で1人以上算定している。分布では、「1～5人」が21.5%、「11～20人」が11.3%、「6～10人」が9.2%の順となっている。
- ・「③歯科衛生士による居宅療養管理指導を算定した人数」は、74.9%の施設で1人以上算定している。分布では、「1～5人」が20.0%と最も多く、次いで、「11～20人」が10.8%、「51～100人」が8.7%の順となっている。

訪問薬局

- ・「①訪問薬剤管理指導を実施した実人数」は、58.5%の施設で1人以上実施しており、前回調査の49.0%より増加している。分布では、「1～2人」が27.0%と最も多く、次いで、「3～5人」が14.4%、「6～10人」が5.9%の順となっている。
 - ・「②薬剤師による居宅療養管理指導を算定した人数」は、72.6%の施設で1人以上算定している。分布では、「1～2人」が25.7%と最も多く、次いで、「3～5人」が16.1%、「6～10人」が8.2%の順となっている。
-

訪問看護

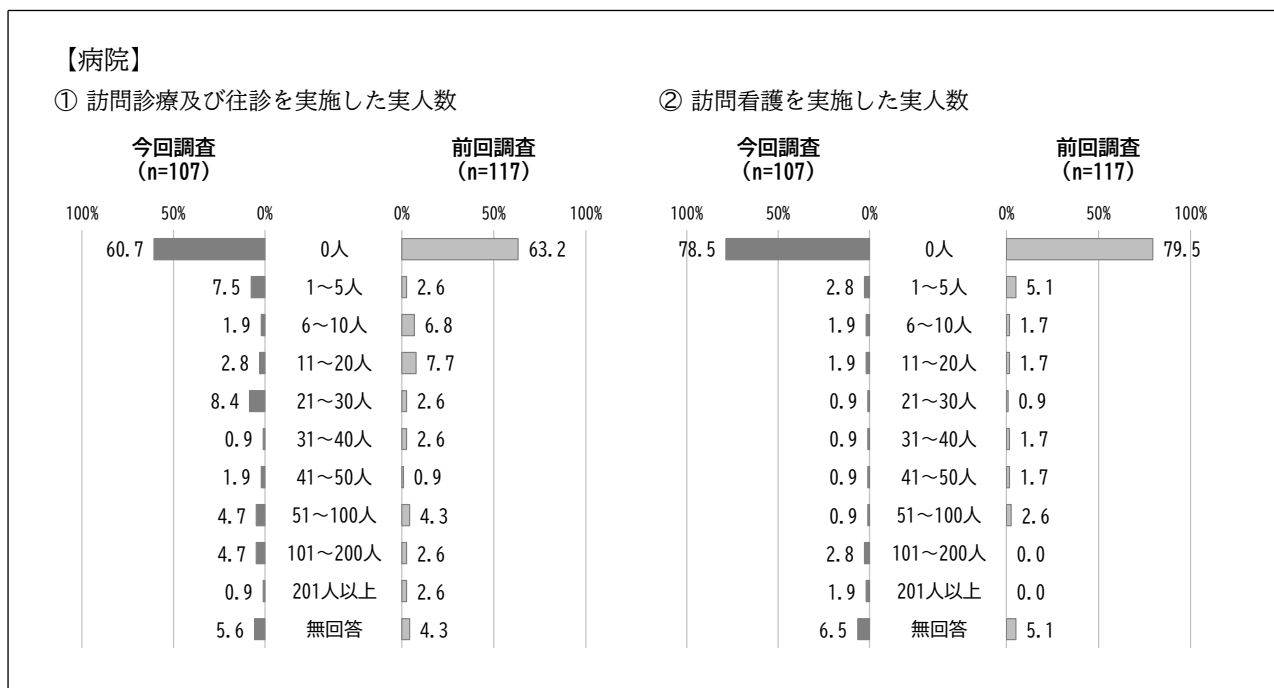
- ・「①利用実人員数」は、96.6%の施設で1人以上利用している。分布では、「51～100人」が27.1%と最も多く、次いで、「101～200人」が19.0%、「21～30人」が10.9%、「31～40人」が10.7%の順となっている。
- ・「②訪問回数の合計」は、95.8%の施設で1回以上となっている。分布では、「501～1000回」が26.3%と最も多く、次いで、「1001回以上」が17.8%、「201～300回」が13.8%の順となっている。
- ・「③訪問看護の新規利用（受け入れ）者数」は、77.6%の施設で1人以上受け入れている。分布では、「3～5人」が24.5%と最も多く、次いで、「6人以上」が21.5%、「1人」が19.0%の順となっている。
- ・「④死亡した利用者数」は、80.2%の施設で1人以上となっており、前回調査の55.0%より増加している。分布では、「6人以上」が47.2%と最も多く、次いで、「3～5人」が15.6%、「1人」が12.1%の順となっており、「6人以上」の割合は前回調査の3.0%より増加している。
- ・「⑤④のうち、在宅で死亡した利用者数」は、71.9%の施設で1人以上となっており、前回調査の40.7%より増加している。分布では、「4人以上」が43.9%と最も多く、次いで、「1人」が15.2%、「3人」が6.9%の順となっており、「4人以上」の割合は前回調査の4.0%より増加している。
- ・「⑥リハビリ職による訪問リハビリ指導を実施した人数」は、42.5%の施設で1人以上実施している。分布では、「51～100人」で7.9%と最も多く、次いで、「1～5人」が6.5%、「11～20人」が5.7%の順となっている。

【実績の記入対象期間について】

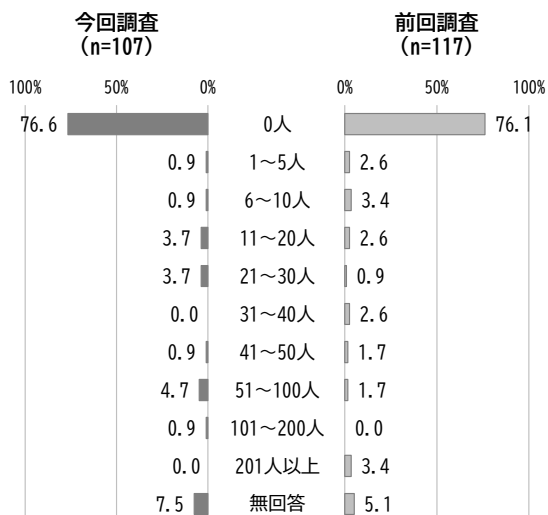
今回調査は「令和6年7月の1か月間」、前回調査は「令和3年10月の1か月間」の実績

※ 病院の「④ 医師による在宅での看取りを実施した人数」、在支診の「③ 医師による在宅での看取りを実施した人数」、訪問看護の「④ 死亡した利用者数」「⑤ ④のうち、在宅で死亡した利用者数」は、「令和5年8月～令和6年7月の1年間」の実績

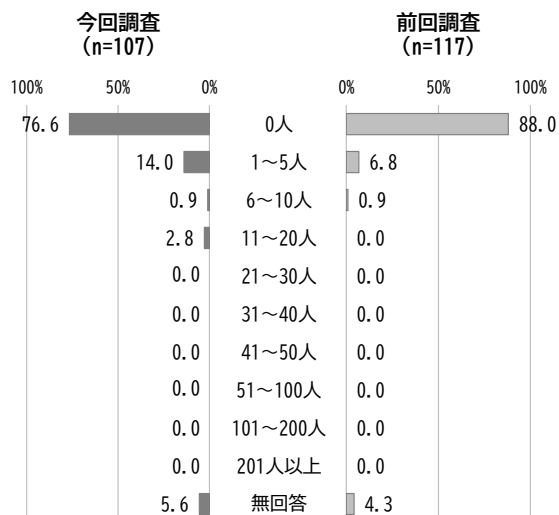
図表11 診療等の実績（令和6年7月の1か月間）



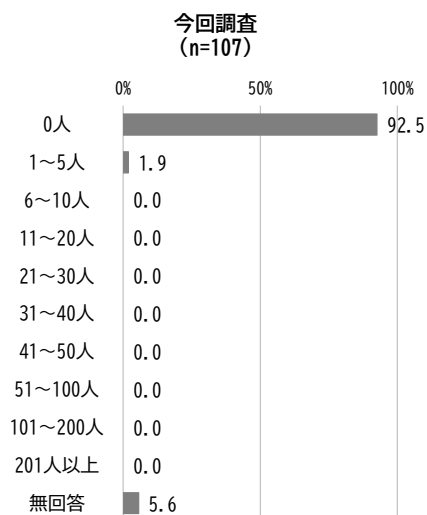
③ 医師による居宅療養管理指導を算定した人数



④ 医師による在宅での看取りを実施した人数※

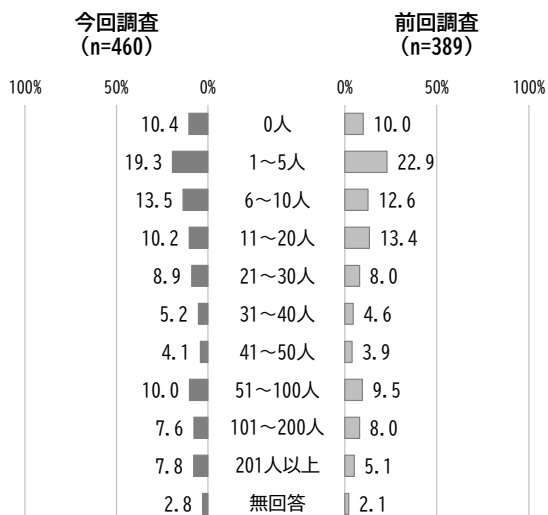


⑤ 管理栄養士による訪問栄養食事指導を実施した人数

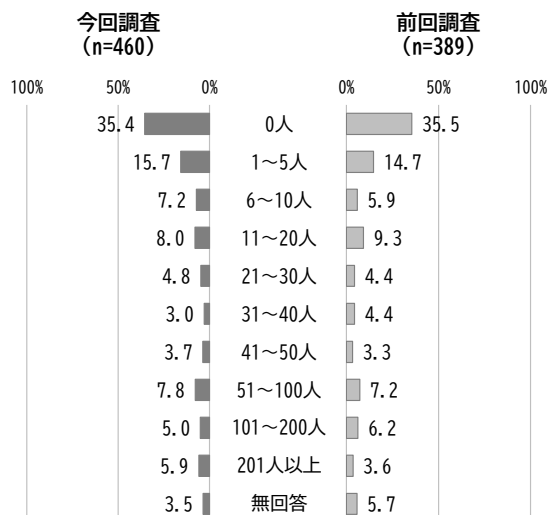


【在支診】

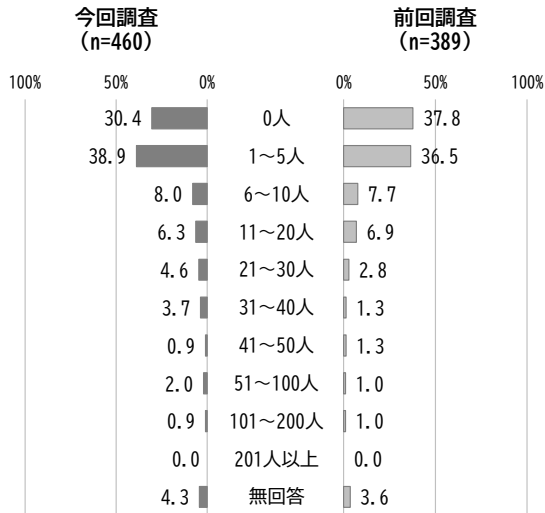
① 訪問診療及び往診を実施した実人数



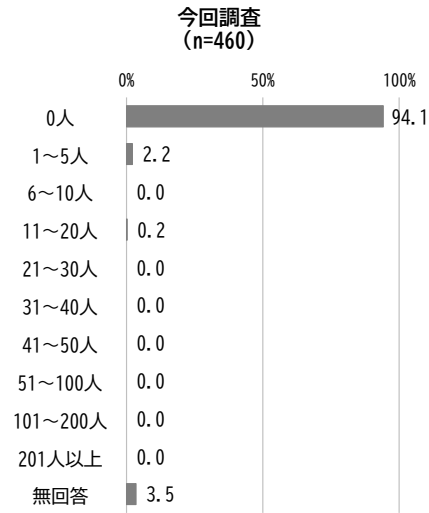
② 医師による居宅療養管理指導を算定した人数



③ 医師による在宅での看取りを実施した人数※

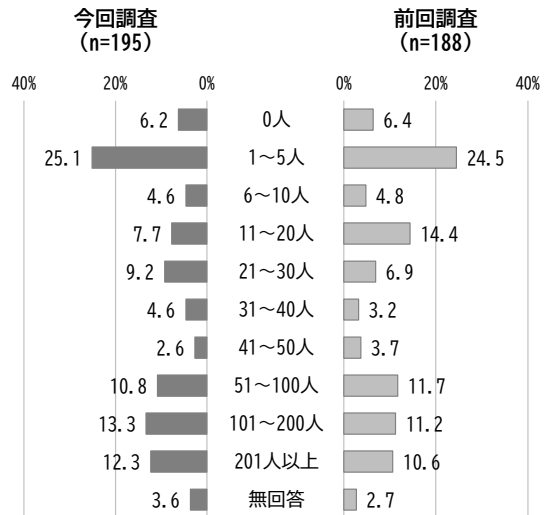


④ 管理栄養士による訪問栄養食事指導を実施した人数

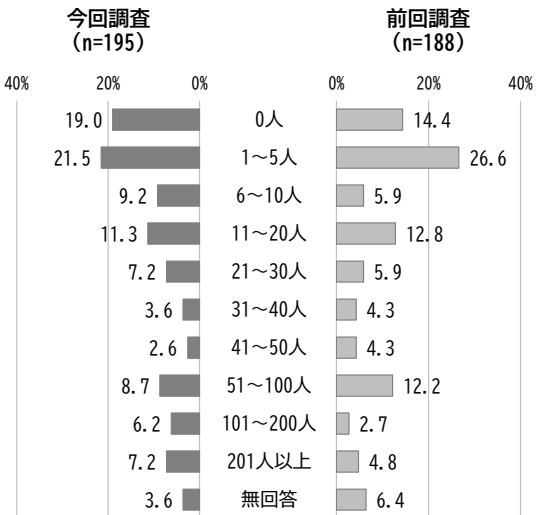


【在支歯診】

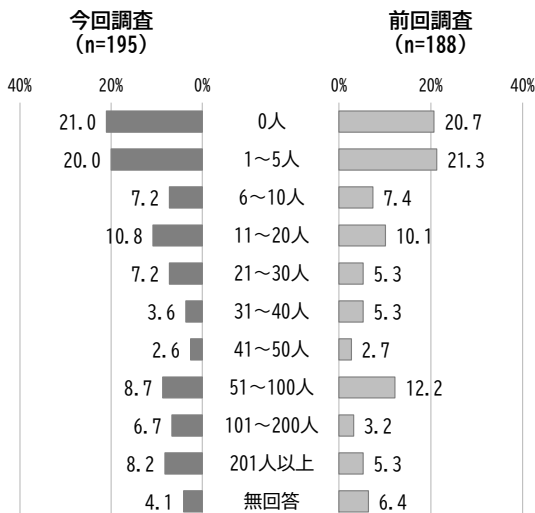
① 訪問診療及び往診を実施した実人数



② 歯科医師による居宅療養管理指導を算定した人数

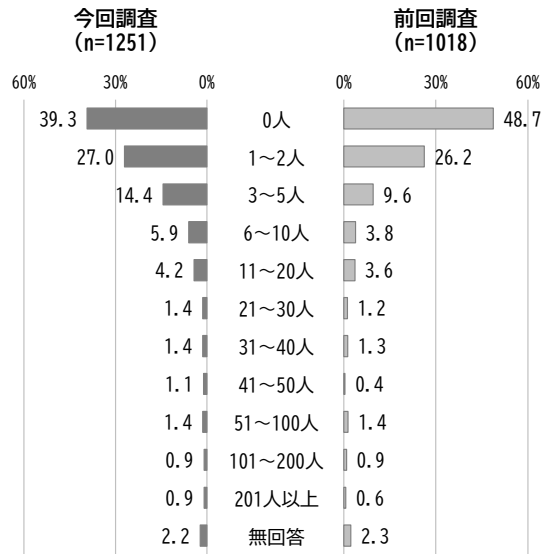


③ 歯科衛生士による居宅療養管理指導を算定した人数

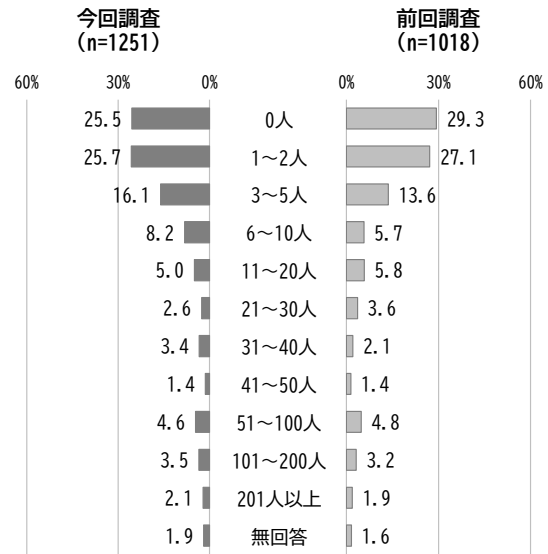


【訪問薬局】

① 訪問薬剤管理指導を実施した実人数

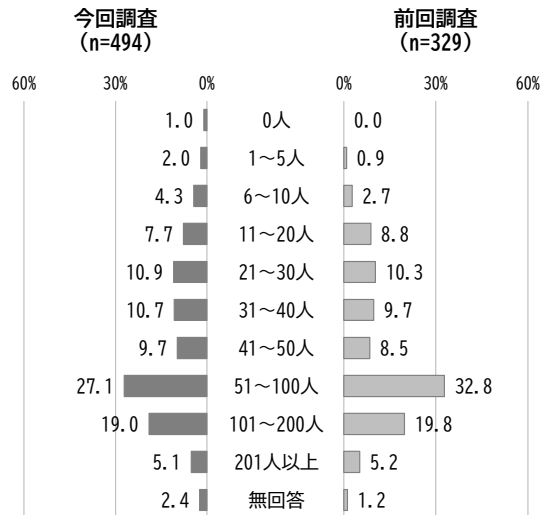


② 薬剤師による居宅療養管理指導を算定した人数

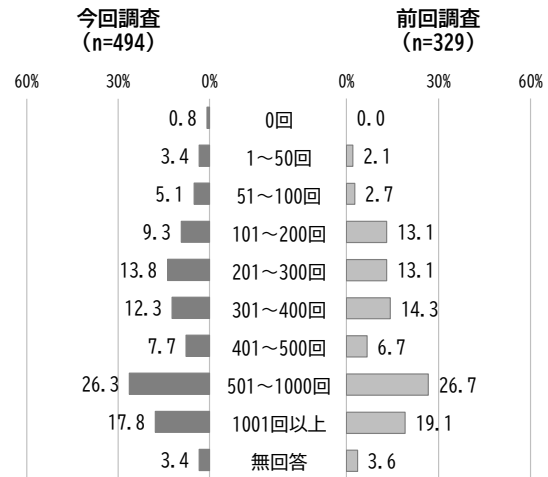


【訪問看護】

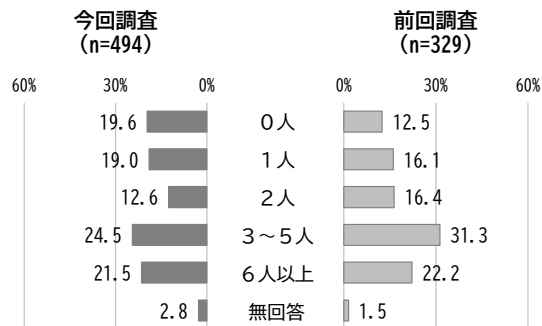
① 利用実人員数



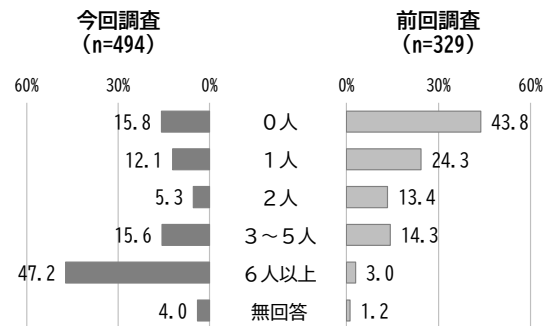
② 訪問回数の合計



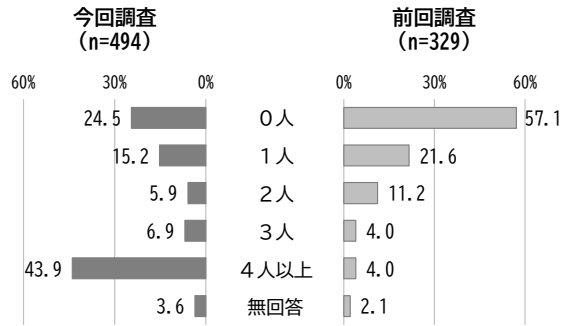
③ 訪問看護の新規利用（受け入れ）者数



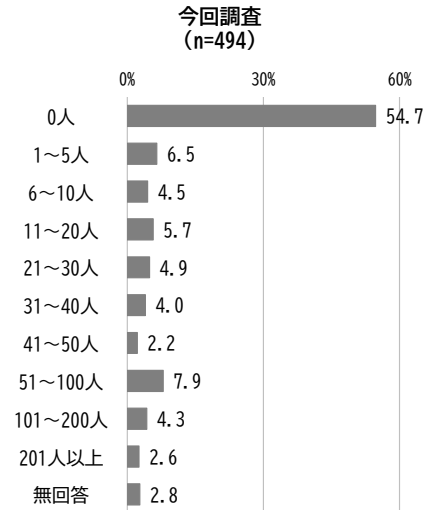
④ 死亡した利用者数※



⑤ ④のうち、在宅で死亡した利用者数※



⑥ リハビリ職による訪問リハビリ指導を実施した人数

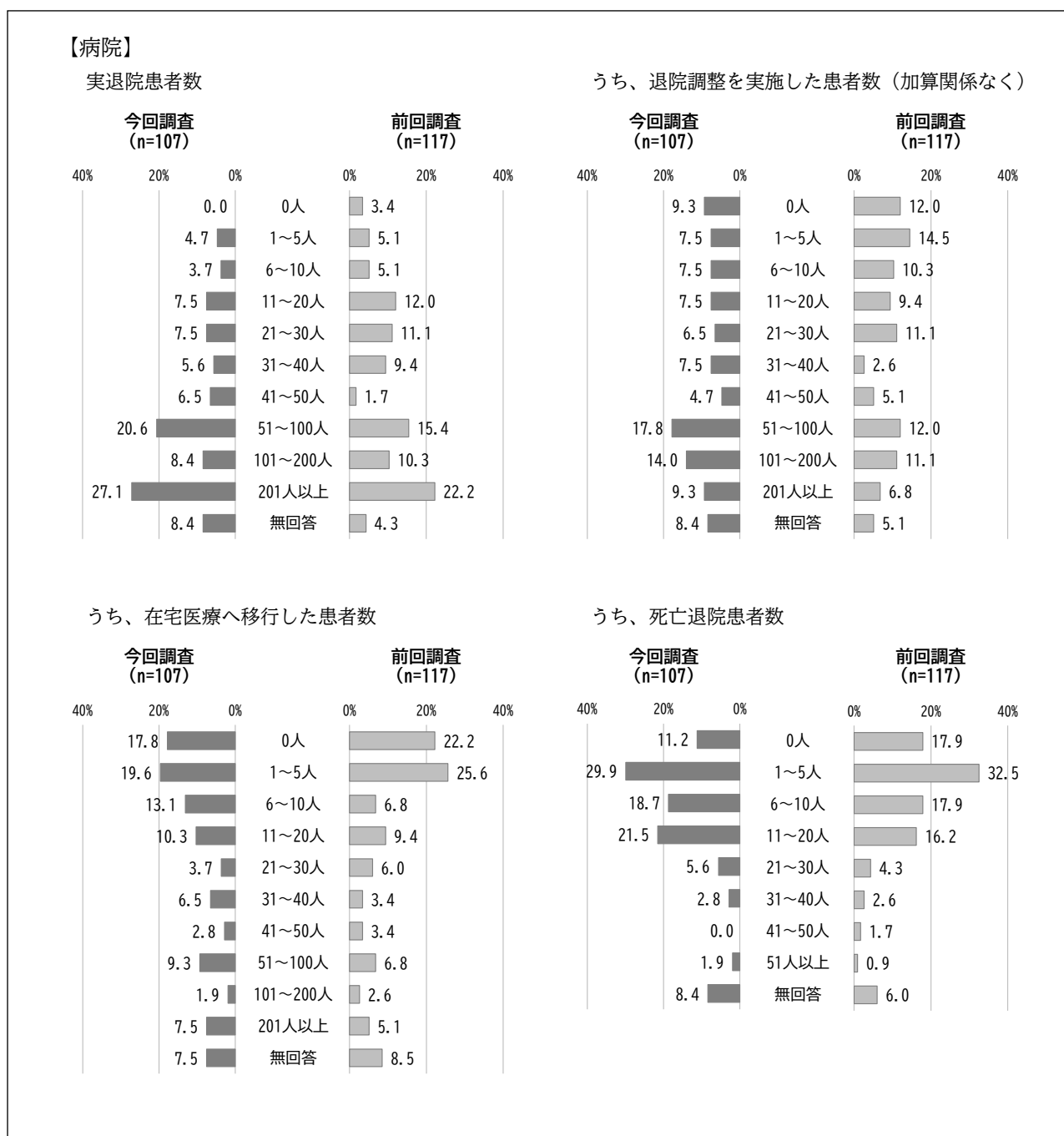


(2) 退院患者の実績（令和6年7月の1か月間）

病院

- ・「実退院患者数」は、「201人以上」が27.1%と最も多く、次いで、「51～100人」が20.6%、「101～200人」が8.4%の順となっている。
- ・「うち、退院調整を実施した患者数」は、「51～100人」が17.8%と最も多く、次いで、「101～200人」が14.0%、「0人」「201人以上」が9.3%の順となっている。
- ・「うち、在宅医療へ移行した患者数」は、「1～5人」が19.6%で最も多く、次いで、「0人」が17.8%、「6～10人」が13.1%の順となっている。
- ・「うち、死亡退院患者数」は、「1～5人」が29.9%で最も多く、次いで、「11～20人」が21.5%、「6～10人」が18.7%の順となっている。

図表12 退院患者の実績（令和6年7月の1か月間）



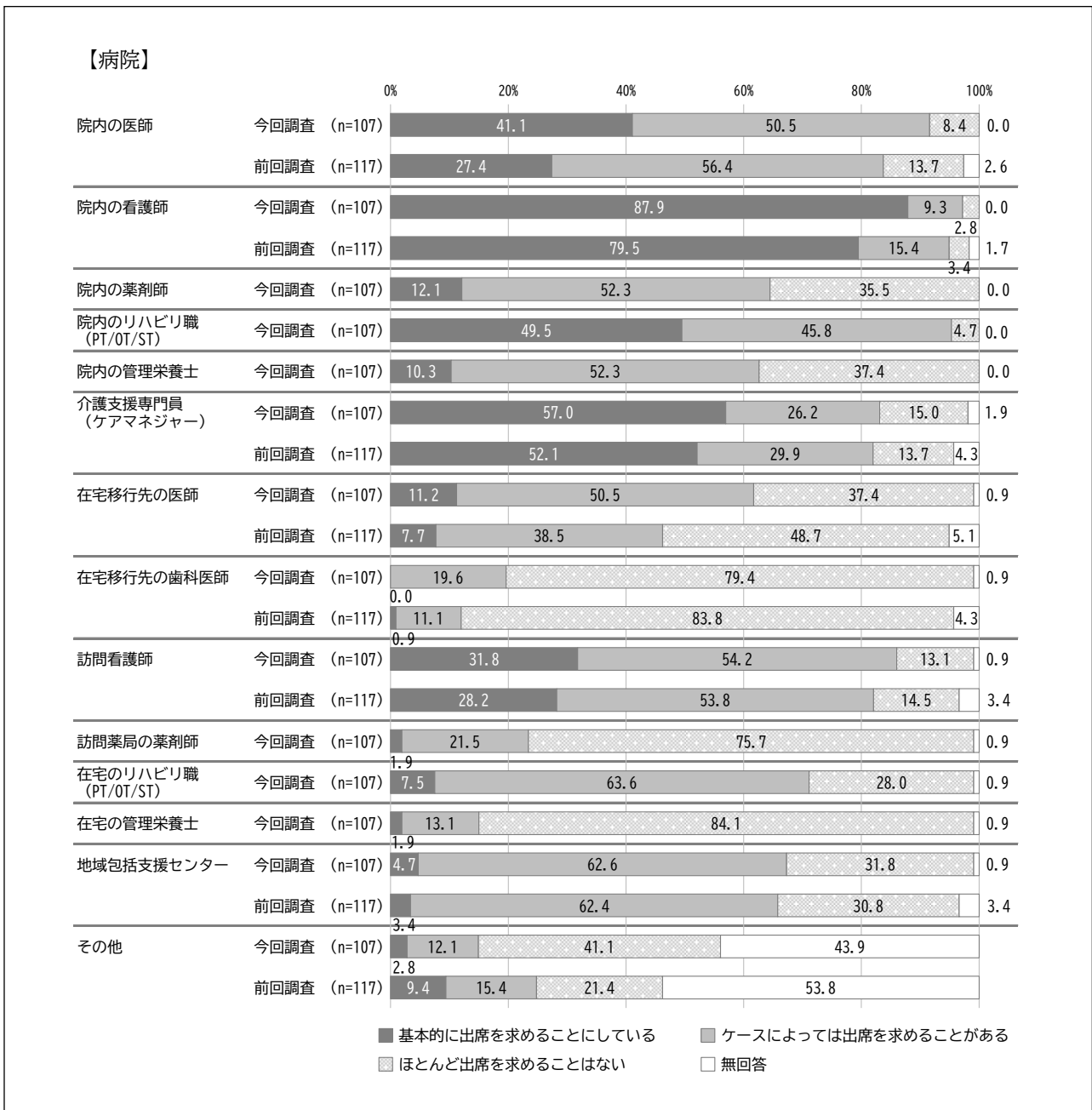
4 地域との連携状況

(1) 入退院カンファレンスにおける各職種への出席要請方針

病院

- ・「基本的に出席を求めることになっている」割合は、「院内の看護師」が87.9%で最も多く、次いで、「介護支援専門員（ケアマネジャー）」が57.0%、「院内のリハビリ職」が49.5%、「院内の医師」が41.1%の順となっており、「院内の医師」は前回調査の27.4%より増加している。
- ・「訪問看護師」「在宅のリハビリ職」「地域包括支援センター」「院内の薬剤師」「院内の管理栄養士」「在宅移行先の医師」は、6割以上が「基本的に出席を求めることになっている」もしくは「ケースによっては出席を求めることがある」となっている。
- ・一方、「在宅の管理栄養士」「在宅移行先の歯科医師」「訪問薬局の薬剤師」は、「ほとんど出席を求めるとはならない」が75%以上となっている。

図表13 入退院カンファレンスにおける各職種への出席要請方針

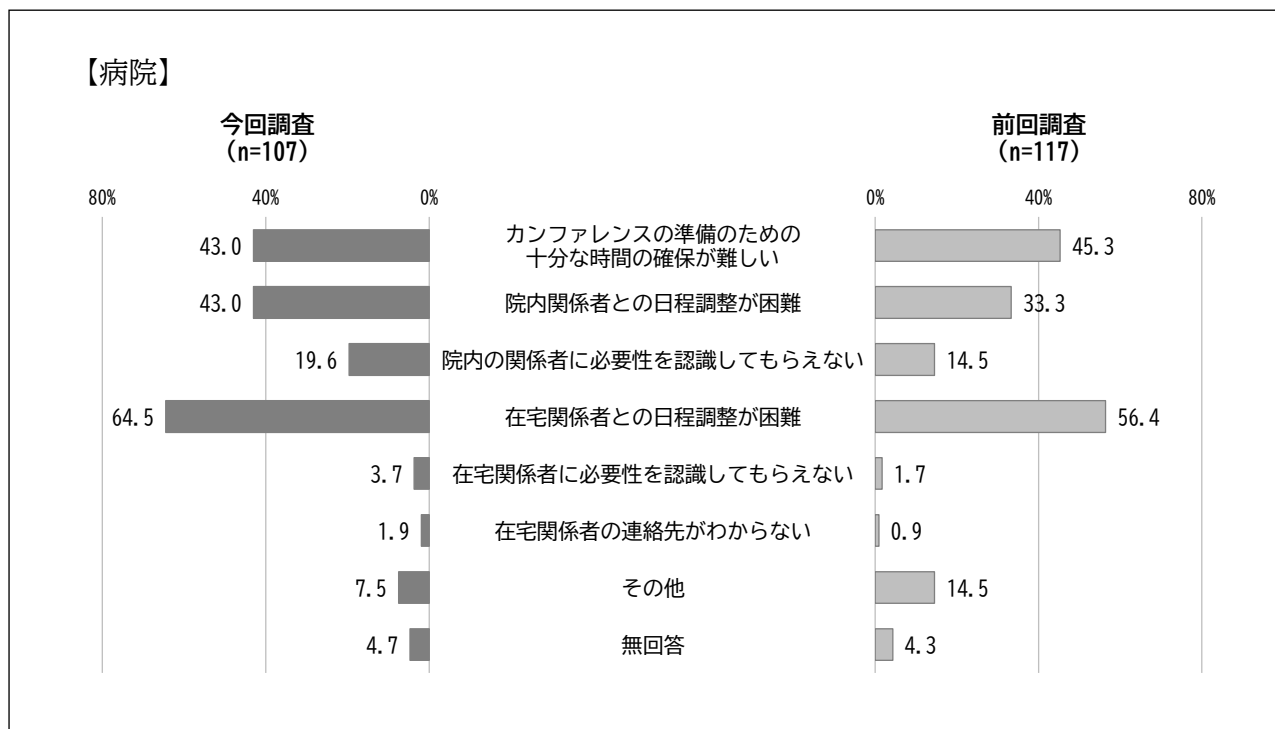


(2) 入退院カンファレンスの課題

病院

- ・「在宅関係者との日程調整が困難」が64.5%で最も多く、次いで、「カンファレンスの準備のための十分な時間の確保が難しい」「院内関係者との日程調整が困難」が43.0%の順となっている。
- ・「在宅関係者との日程調整が困難」は前回調査の56.4%より増加、「院内関係者との日程調整が困難」も前回調査の33.3%より増加している。

図表14 入退院カンファレンスの課題（複数回答）



(3) 病院からの入退院カンファレンスへの出席対応

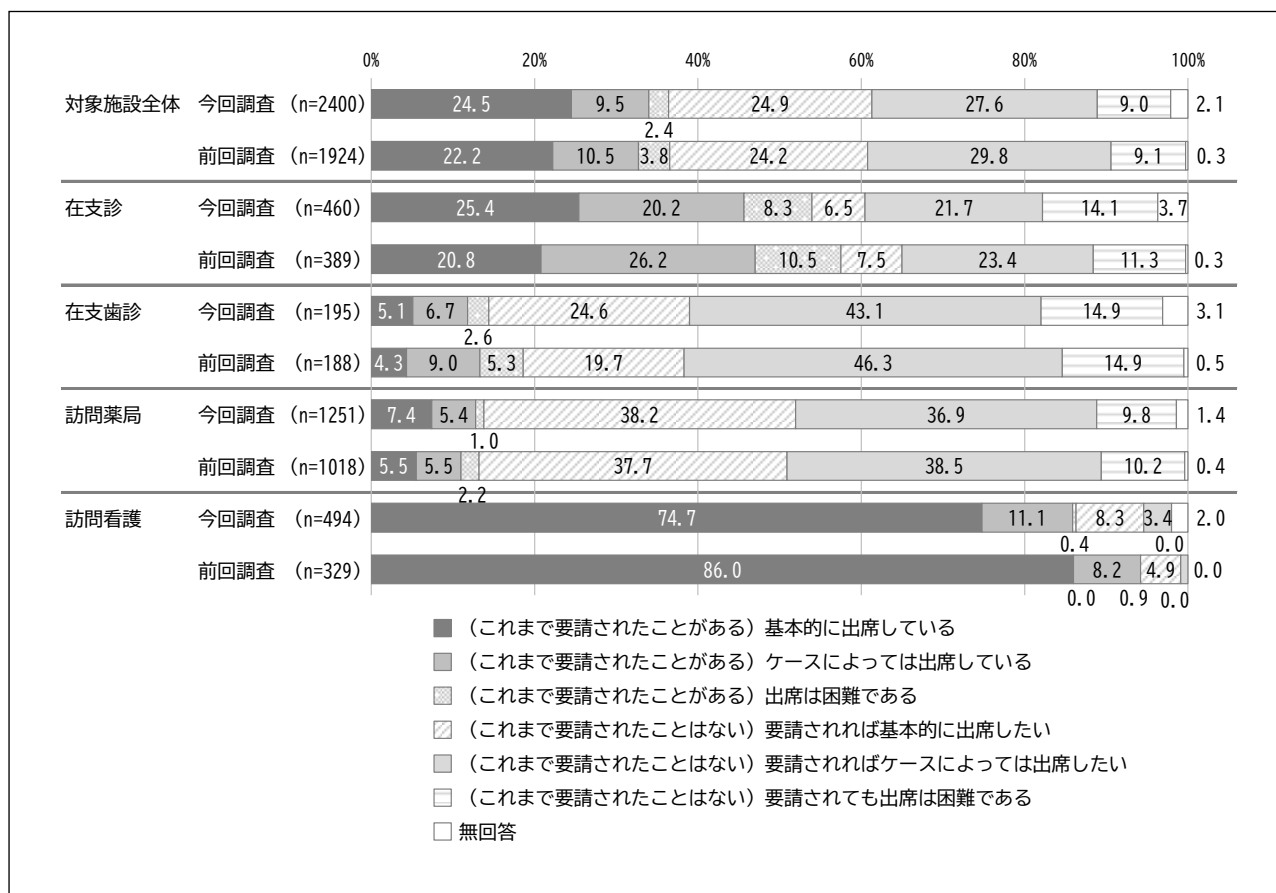
対象施設全体

- ・病院から入退院カンファレンスへの出席を要請されたことがある施設は 36.4% となっており、前回調査と同程度となっている。
- ・要請されたことがあり、「基本的に出席している」「ケースによっては出席している」の合計は 34.0% となっており、前回調査と同程度となっている。
- ・出席の要請の有無にかかわらず、「基本的に出席」「ケースによっては出席」と出席意向がみられる施設は 86.5% となっている。

施設類型別

- ・在支診では、要請されたことがある施設は 53.9%、「基本的に出席している」「ケースによっては出席している」の合計は 45.6% となっている。
- ・在支歯診では、要請されたことがある施設は 14.4%、「基本的に出席している」「ケースによっては出席している」の合計は 11.8% となっている。
- ・訪問薬局では、要請されたことがある施設は 13.8%、「基本的に出席している」「ケースによっては出席している」の合計は 12.8% となっている。
- ・訪問看護では、要請されたことがある施設は 86.2%、「基本的に出席している」「ケースによっては出席している」の合計は 85.8% となっている。
- ・出席の有無にかかわらず、「基本的に出席」「ケースによっては出席」と出席意向がみられる施設は、在支診 73.8%、在支歯診 79.5%、訪問薬局 87.9%、訪問看護 97.5% となっている。

図表15 病院からの入退院カンファレンスへの出席対応



(4) サービス担当者会議への出席対応

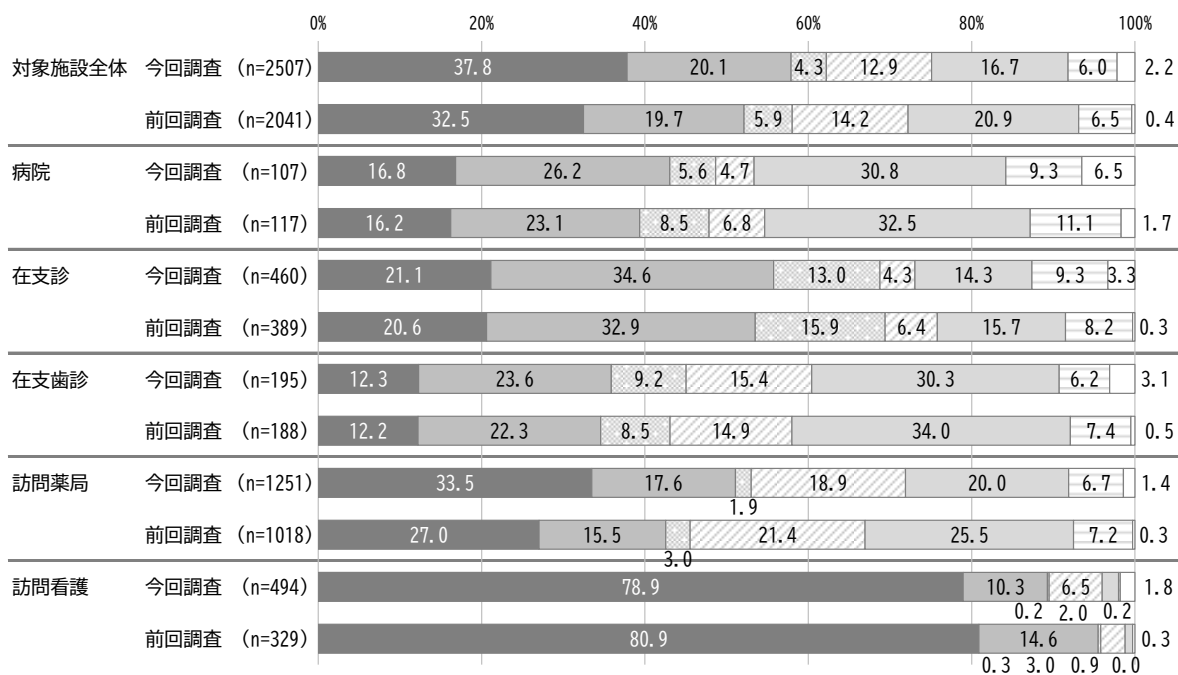
対象施設全体

- ・ サービス担当者会議への出席を要請されたことがある施設は62.2%となっており、前回調査より増加している。
- ・ 要請されたことがあり、「基本的に出席している」「ケースによっては出席している」の合計は57.9%となっており、前回調査より増加している。
- ・ 出席の要請の有無にかかわらず、「基本的に出席」「ケースによっては出席」と出席意向がみられる施設は87.5%となっている。

施設類型別

- ・ 病院では、要請されたことがある施設は48.6%、「基本的に出席している」「ケースによっては出席している」の合計は43.0%となっている。
- ・ 在支診では、要請されたことがある施設は68.7%、「基本的に出席している」「ケースによっては出席している」の合計は55.7%となっている。
- ・ 在支歯診では、要請されたことがある施設は45.1%、「基本的に出席している」「ケースによっては出席している」の合計は35.9%となっている。
- ・ 訪問薬局では、要請されたことがある施設は53.0%、「基本的に出席している」「ケースによっては出席している」の合計は51.1%となっている。「基本的に出席している」の割合が、前回調査より増加している。
- ・ 訪問看護では、要請されたことがある施設は89.4%、「基本的に出席している」「ケースによっては出席している」の合計は89.2%となっている。
- ・ 出席の有無にかかわらず、「基本的に出席」「ケースによっては出席」と出席意向がみられる施設は、病院78.5%、在支診74.3%、在支歯診81.6%、訪問薬局90.0%、訪問看護97.7%となっている。

図表16 サービス担当者会議への出席対応



- （これまで要請されたことがある）基本的に出席している
- （これまで要請されたことがある）ケースによっては出席している
- （これまで要請されたことがある）出席は困難である
- ▨ （これまで要請されたことはない）要請されれば基本的に出席したい
- ▨ （これまで要請されたことはない）要請されればケースによっては出席したい
- ▨ （これまで要請されたことはない）要請されても出席は困難である
- 無回答

(5) 地域のお職種・他機関との連携手段

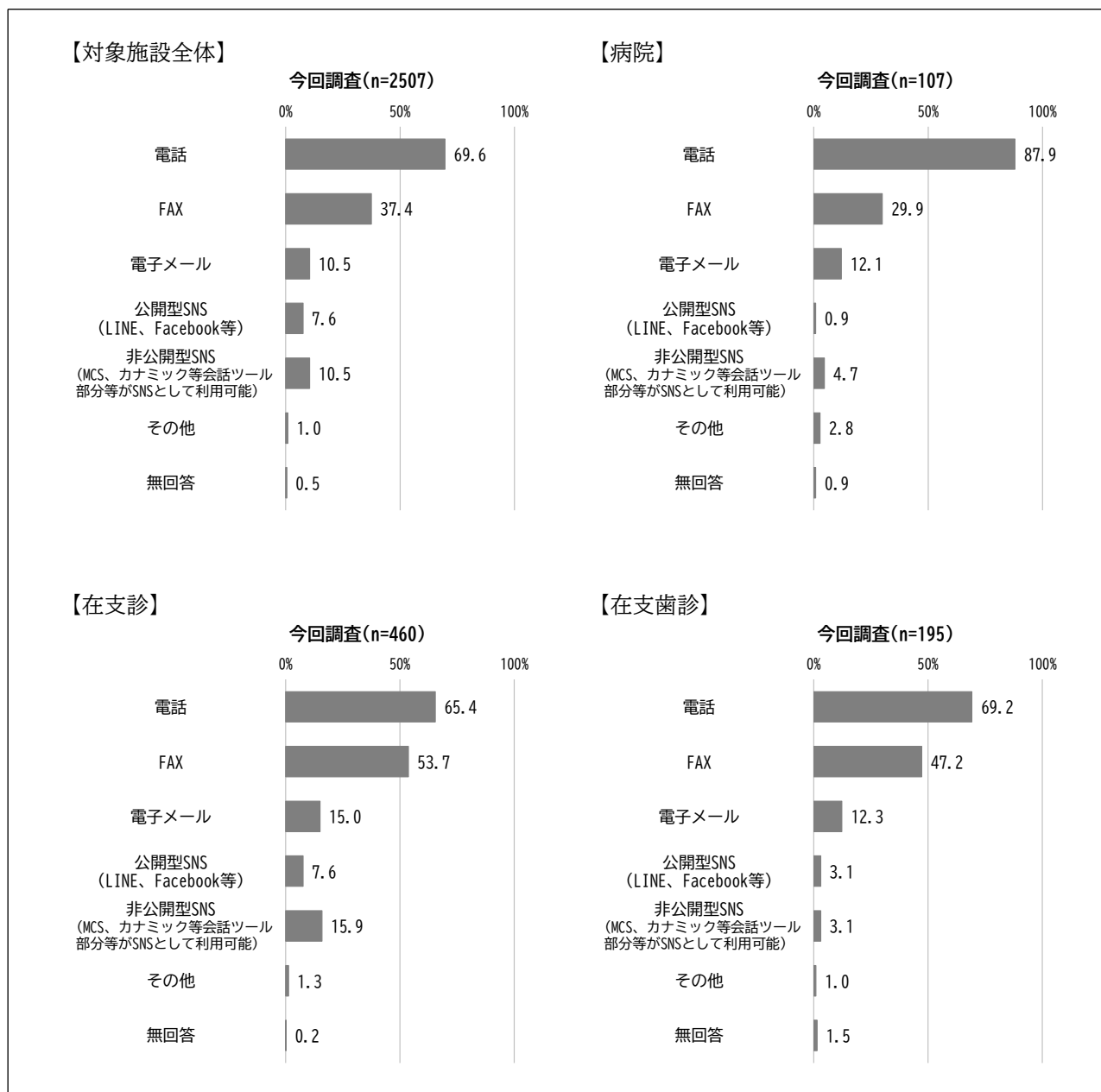
対象施設全体

- ・「電話」が69.6%と最も多く、次いで、「FAX」が37.4%、「電子メール」「非公開型SNS」が10.5%の順となっている。

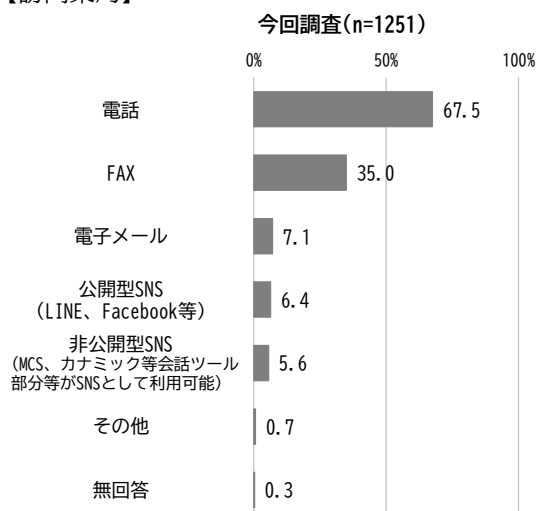
施設類型別

- ・いずれの施設類型でも「電話」が最も多く、次いで、「FAX」の順になっている。
- ・訪問看護では、「非公開型SNS」が21.9%と、「FAX」に並ぶ連携手段となっている。

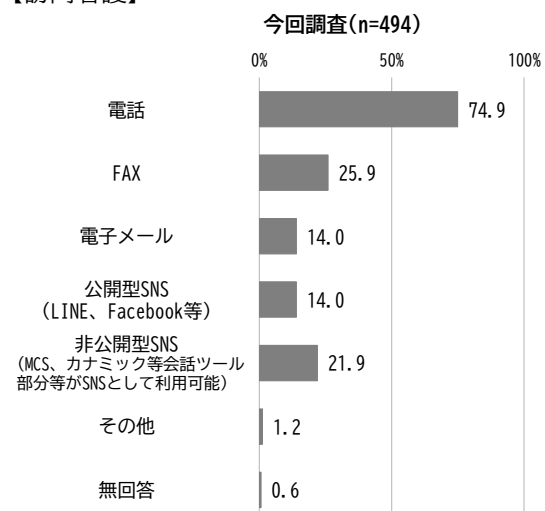
図表17 地域のお職種・他機関との連携手段（複数回答）



【訪問薬局】



【訪問看護】



(6) 施設としての全般的な連携度

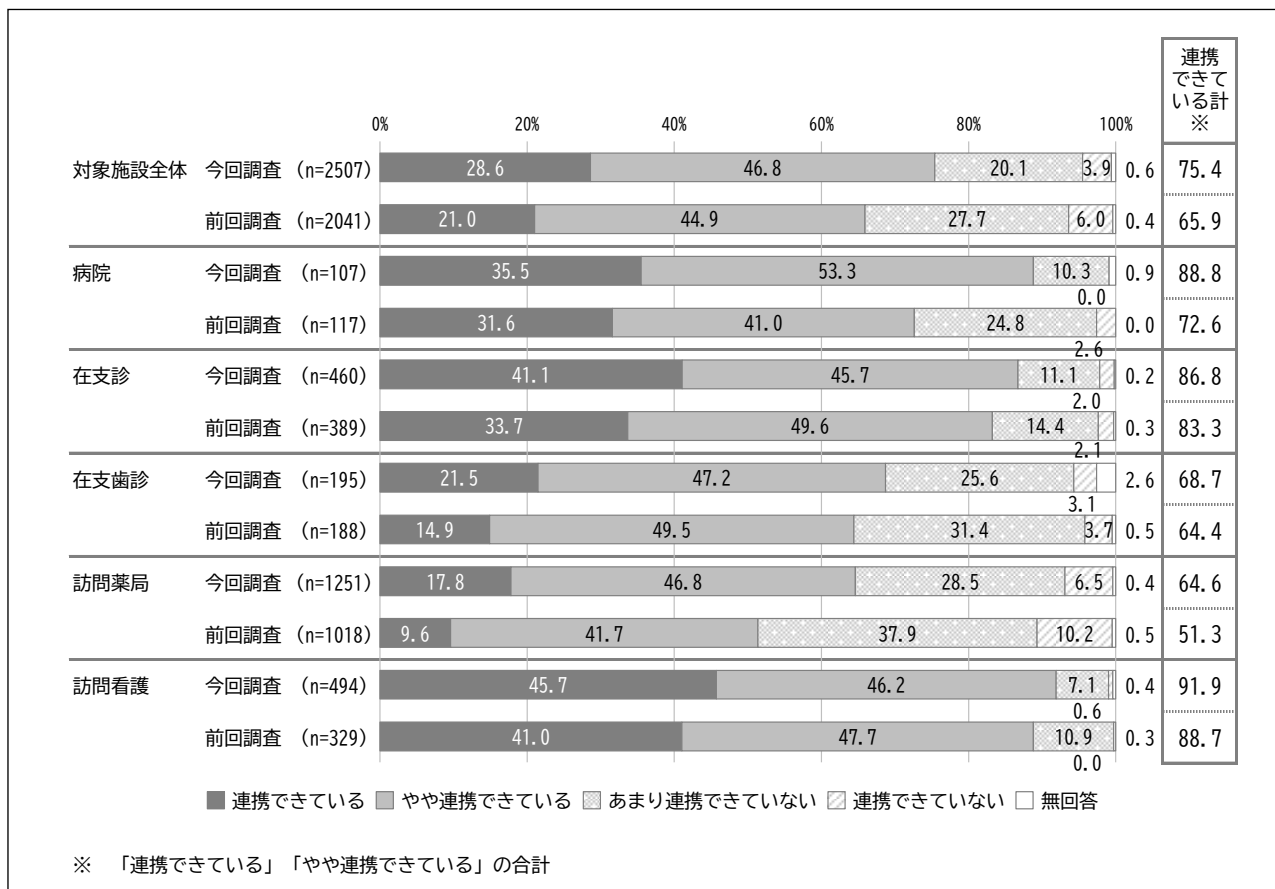
対象施設全体

- ・「やや連携できている」が46.8%と最も多く、「連携できている」の28.6%と合計して、75.4%となっている。
- ・「連携できている」「やや連携できている」の合計は、前回調査の65.9%より増加している。

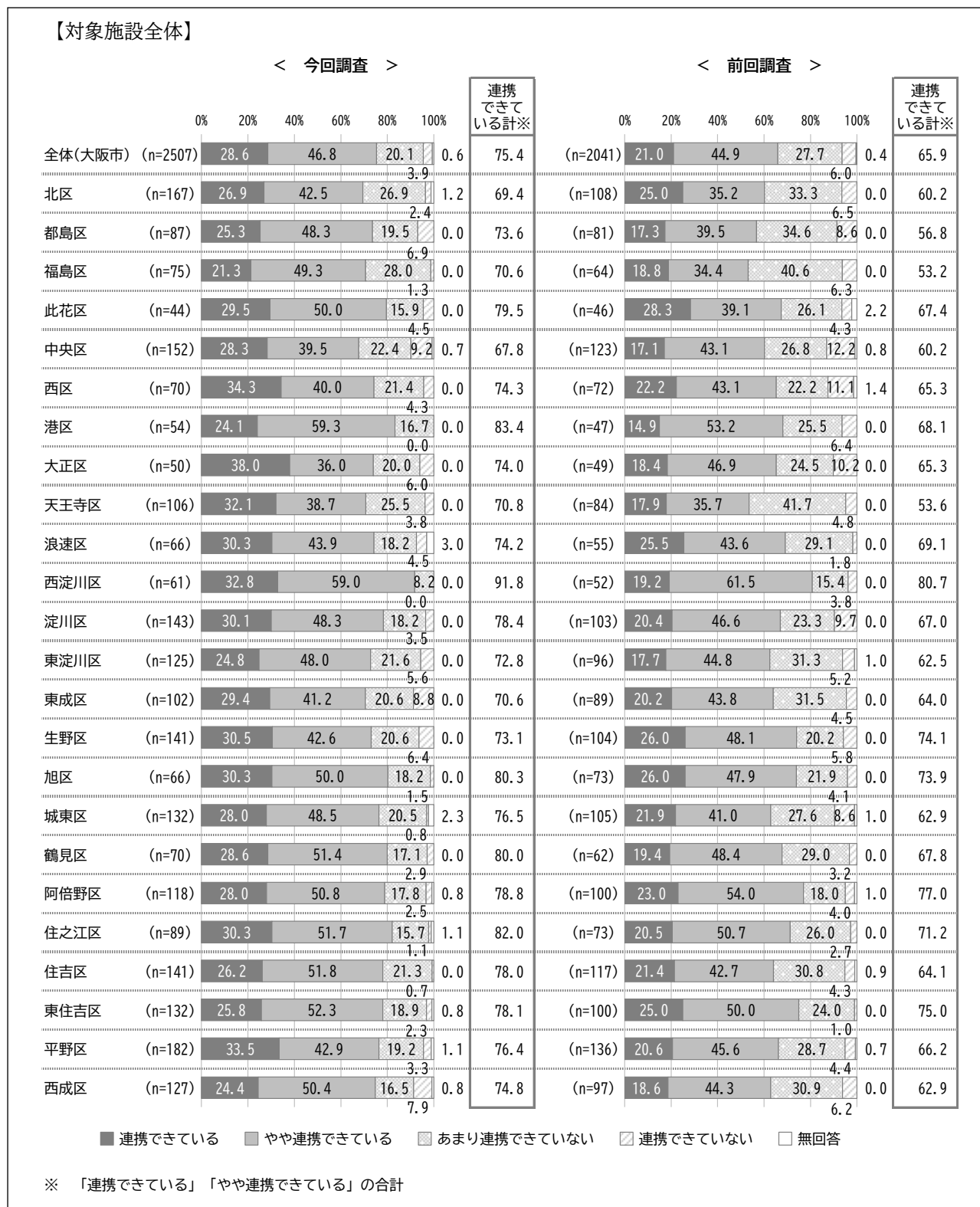
施設類型別

- ・「連携できている」「やや連携できている」の合計は、訪問看護が91.9%と最も多く、次いで、病院88.8%、在支診86.8%、在支歯診68.7%、訪問薬局64.6%の順となっている。
- ・いずれの施設類型でも「連携できている」「やや連携できている」の合計は、前回調査より増加しており、特に病院と訪問薬局で増加している。

図表18 施設としての全般的な連携度



【参考】施設としての全般的な連携度（対象施設全体・区別）



(7) 他職種・他機関との連携度

対象施設全体

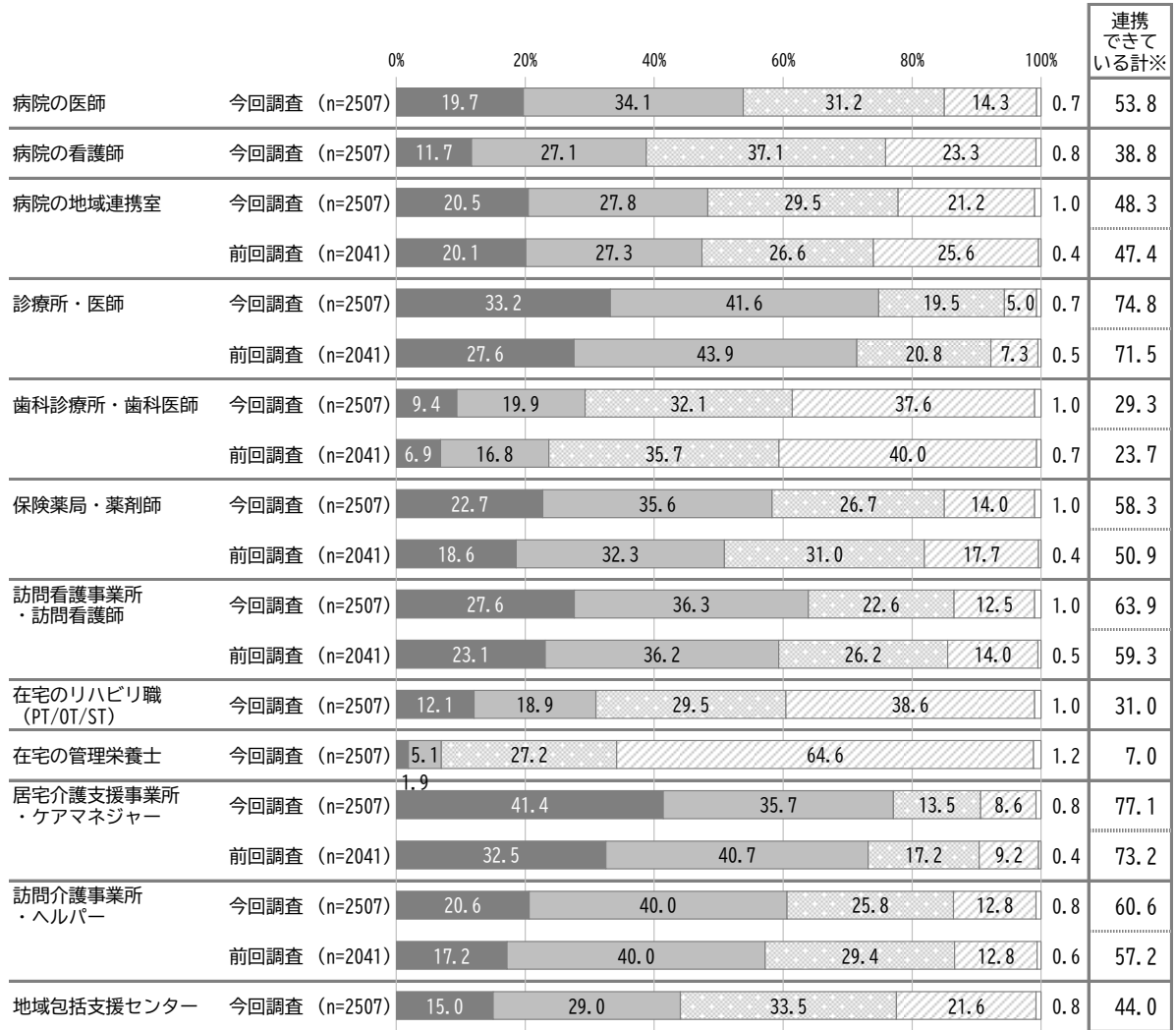
- ・「連携できている」「やや連携できている」の合計は、「居宅介護支援事業所・ケアマネジャー」77.1%が最も多く、次いで、「診療所・医師」が74.8%、「訪問看護事業所・訪問看護師」が63.9%の順となっている。
- ・「連携できている」「やや連携できている」の合計は、「保険薬局・薬剤師」が58.3%、「歯科診療所・歯科医師」が29.3%となっており、前回調査より増加している。

施設類型別

- ・病院では、「連携できている」「やや連携できている」の合計は、「病院の地域連携室」が92.5%と最も多く、次いで、「居宅介護支援事業所・ケアマネジャー」が84.1%、「地域包括支援センター」が80.4%の順となっている。
- ・在支診では、「連携できている」「やや連携できている」の合計は、「訪問看護事業所・訪問看護師」が89.3%と最も多く、次いで、「病院の地域連携室」が88.0%、「保険薬局・薬剤師」が83.9%の順となっている。
- ・在支歯診では、「連携できている」「やや連携できている」の合計は、「居宅介護支援事業所・ケアマネジャー」が74.9%と最も多く、次いで、「診療所・医師」が65.1%、「訪問介護事業所・ヘルパー」が58.5%の順となっている。
- ・訪問薬局では、「連携できている」「やや連携できている」の合計は、「診療所・医師」が74.0%と最も多く、次いで、「居宅介護支援事業所・ケアマネジャー」が67.9%、「訪問看護事業所・訪問看護師」が58.1%の順となっている。
- ・訪問看護では、「連携できている」「やや連携できている」の合計は、「居宅介護支援事業所・ケアマネジャー」が93.5%と最も多く、次いで、「診療所・医師」が90.1%、「訪問介護事業所・ヘルパー」が82.4%の順となっている。

図表19 他職種・他機関との連携度

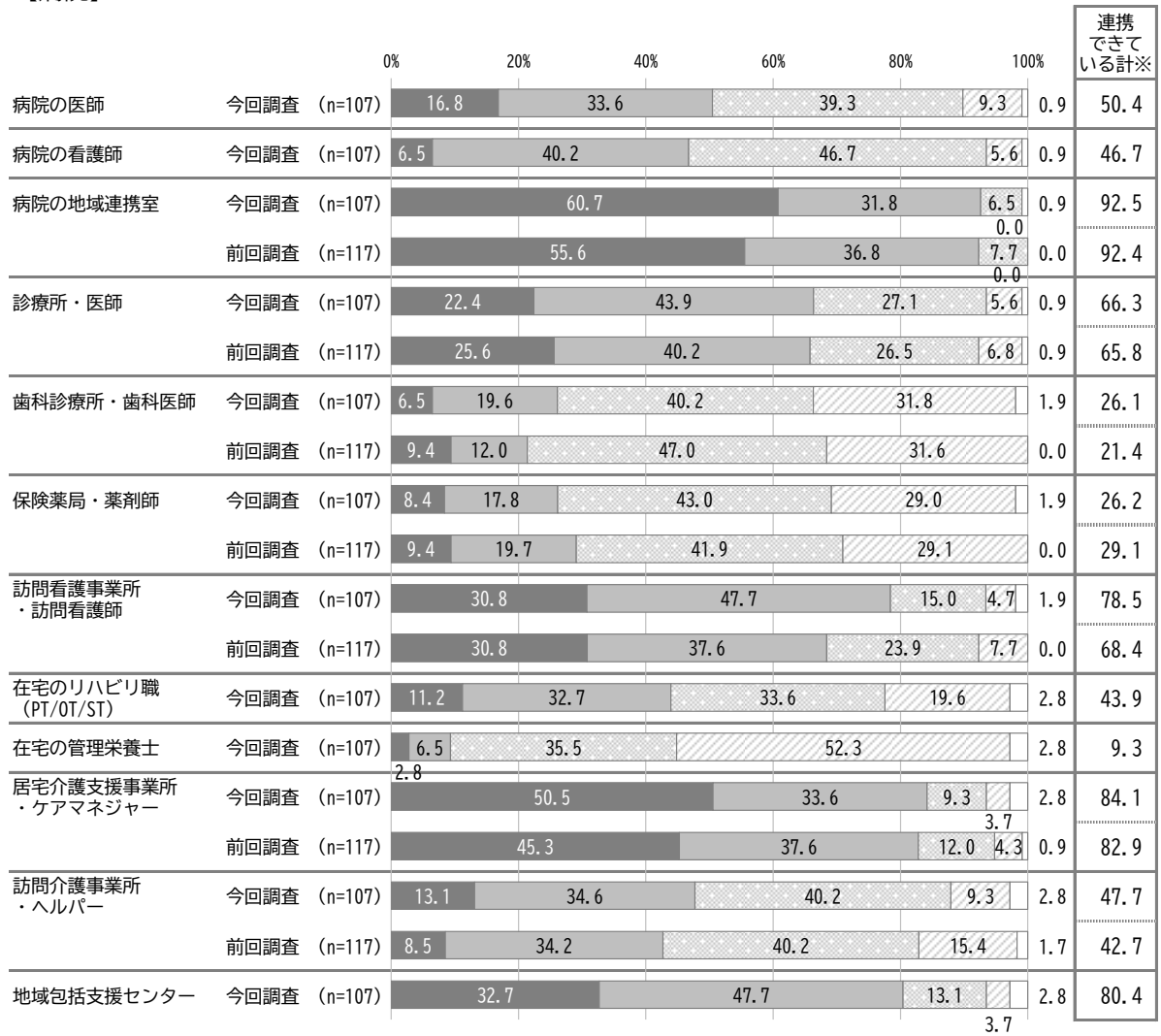
【対象施設全体】



■ 連携できている ■ やや連携できている ■ あまり連携できていない ■ 連携できていない □ 無回答

※ 「連携できている」「やや連携できている」の合計

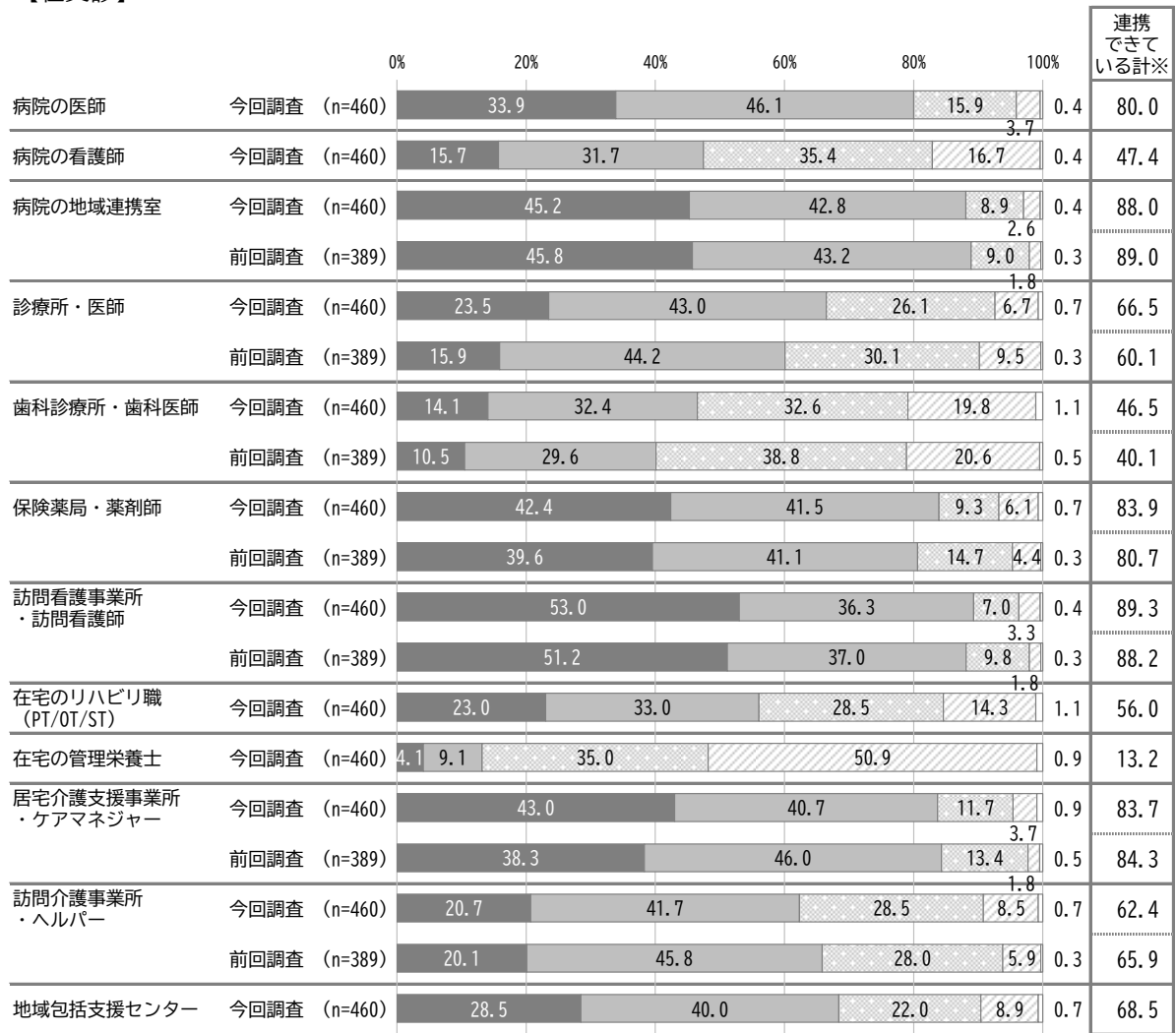
【病院】



■ 連携できている ■ やや連携できている ■ あまり連携できていない ■ 連携できていない □ 無回答

※ 「連携できている」「やや連携できている」の合計

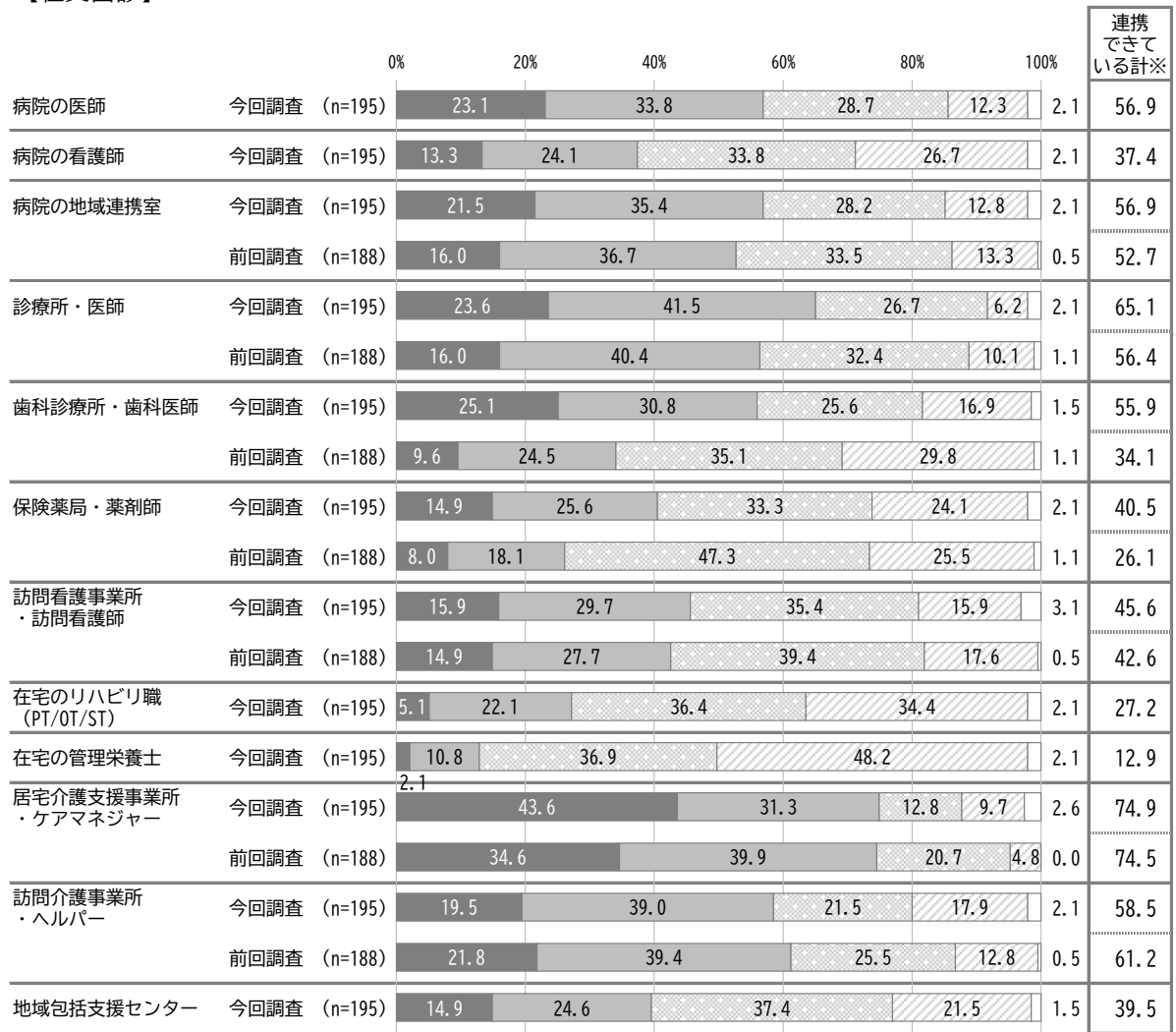
【在支診】



■ 連携できている ■ やや連携できている ■ あまり連携できていない ■ 連携できていない □ 無回答

※ 「連携できている」「やや連携できている」の合計

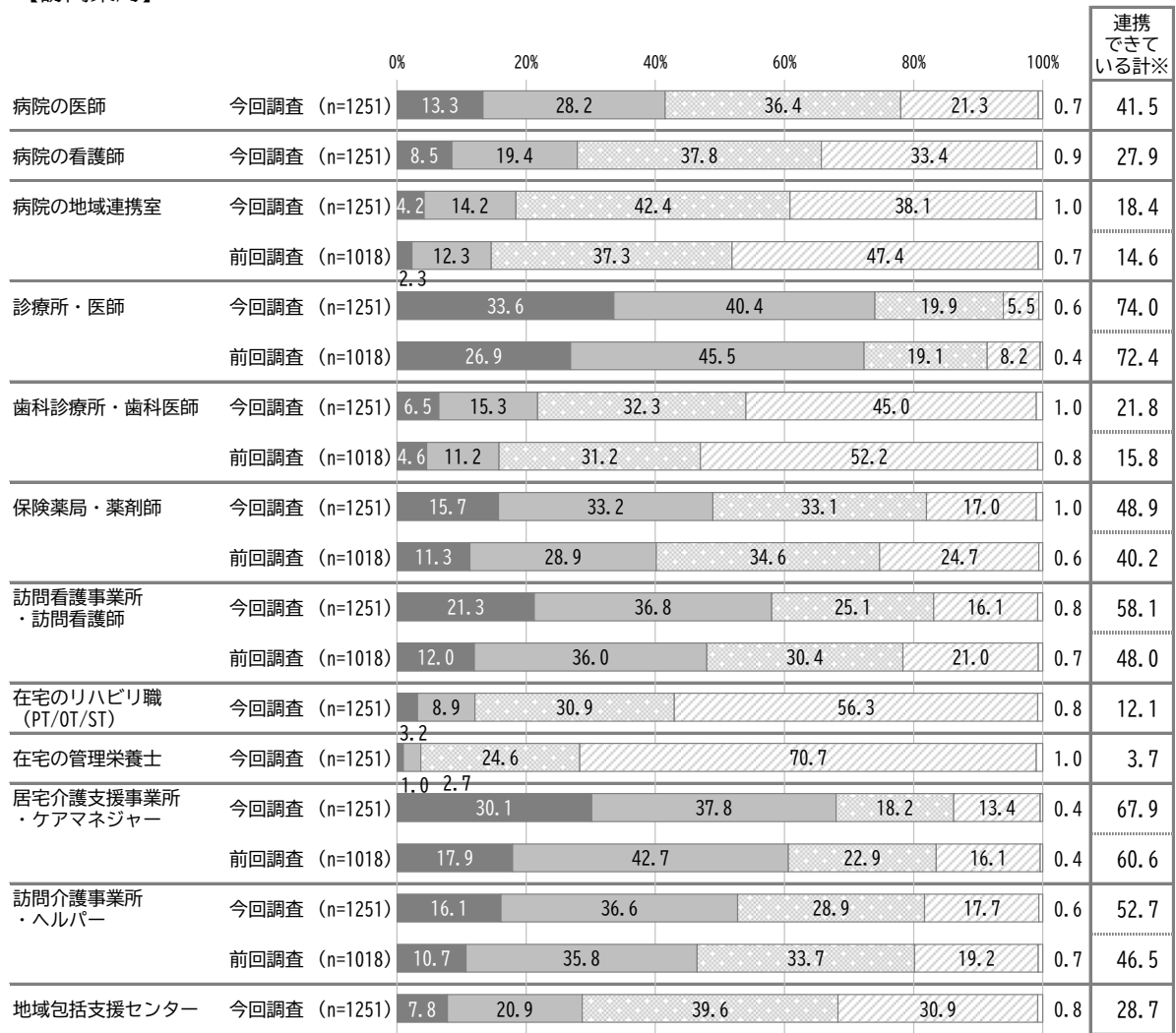
【在支歯診】



■ 連携できている ■ やや連携できている ■ あまり連携できていない ■ 連携できていない □ 無回答

※ 「連携できている」「やや連携できている」の合計

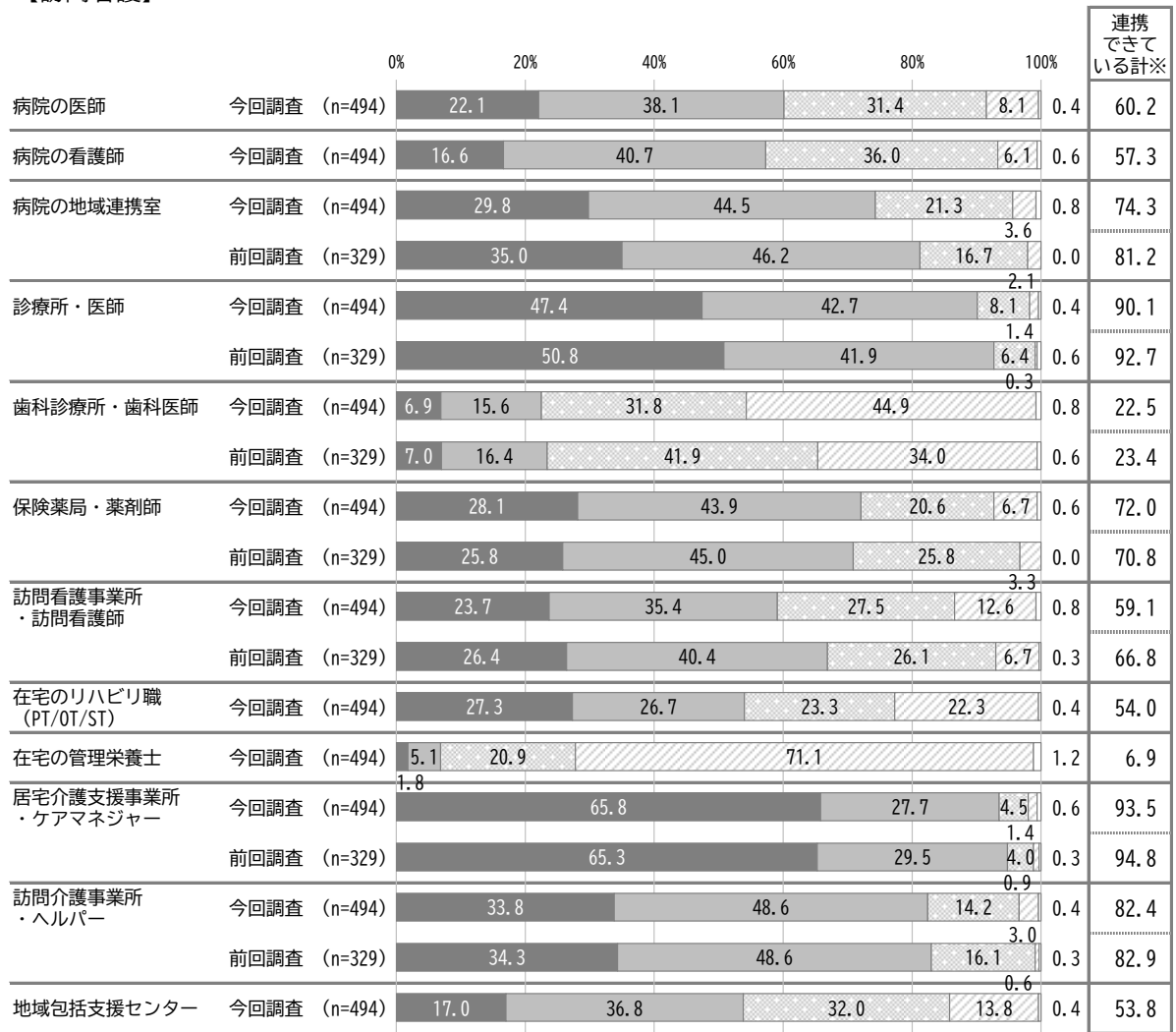
【訪問薬局】



■ 連携できている ■ やや連携できている ■ あまり連携できていない ■ 連携できていない □ 無回答

※ 「連携できている」「やや連携できている」の合計

【訪問看護】



■ 連携できている ■ やや連携できている ■ あまり連携できていない ▨ 連携できていない □ 無回答

※ 「連携できている」「やや連携できている」の合計

(8) 各種情報についての意見交換・共有

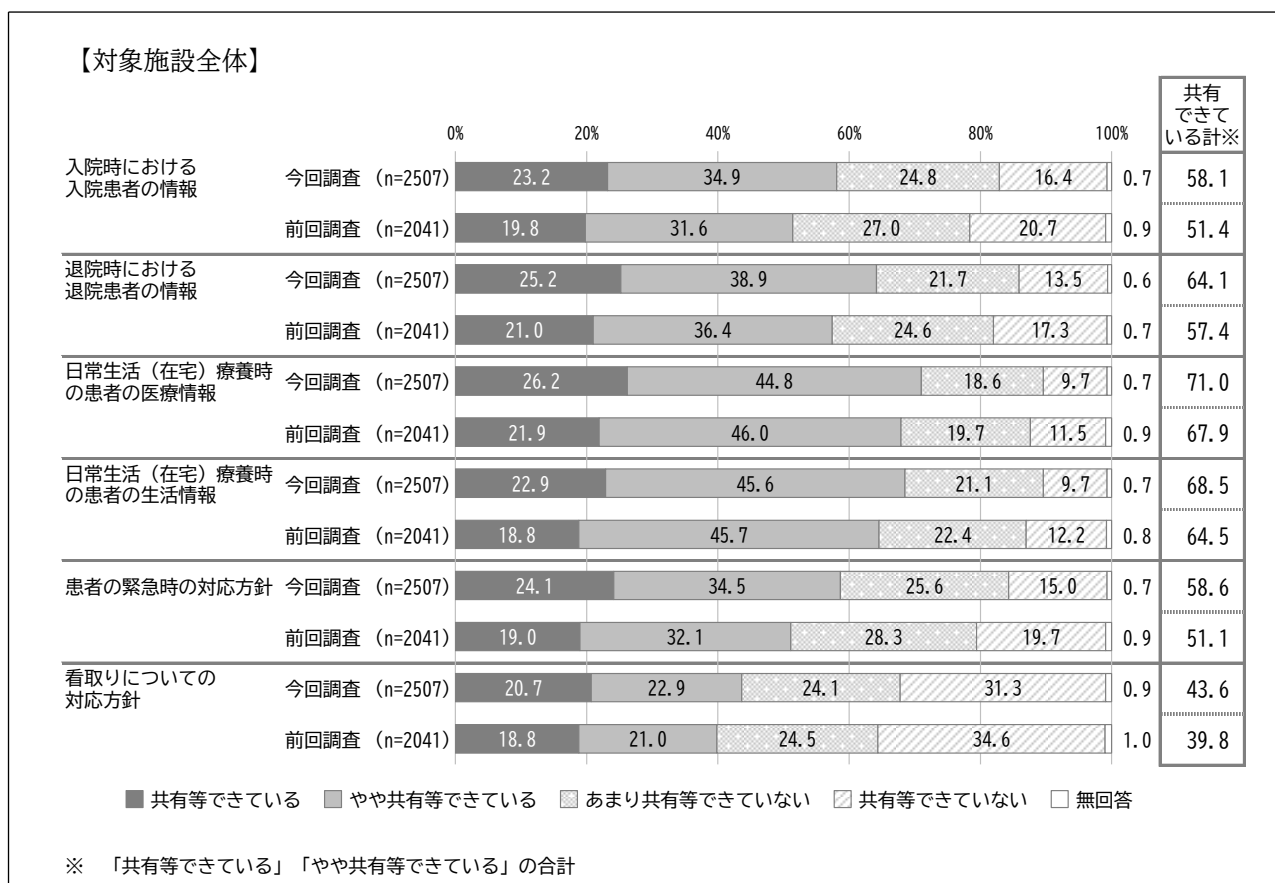
対象施設全体

- ・「共有等できている」「やや共有等できている」の合計は、「日常生活（在宅）療養時の患者の医療情報」が71.0%と最も多く、次いで、「日常生活（在宅）療養時の患者の生活情報」が68.5%、「退院時における退院患者の情報」が64.1%、「患者の緊急時の対応方針」が58.6%、「看取りについての対応方針」が43.6%の順となっており、いずれも前回調査より増加している。

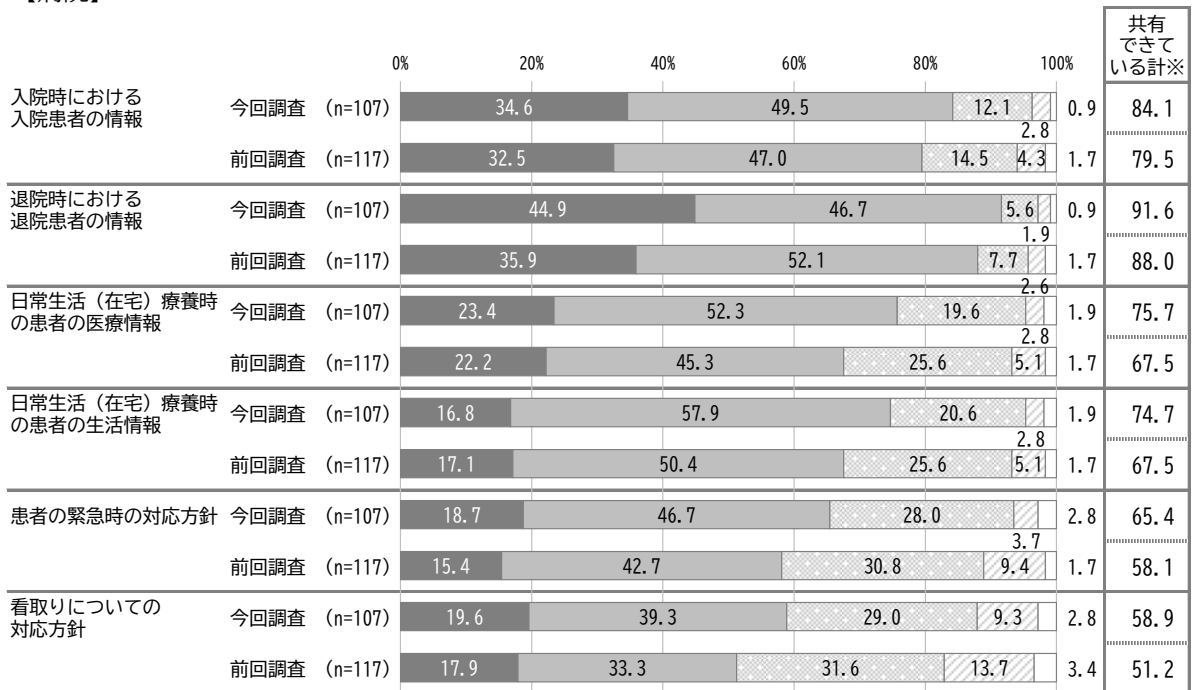
施設類型別

- ・病院では、「共有等できている」「やや共有等できている」の合計は、「退院時における退院患者の情報」が91.6%と最も多く、次いで、「入院時における入院患者の情報」が84.1%となっている。
- ・在支診では、「共有等できている」「やや共有等できている」の合計は、「退院時における退院患者の情報」が86.9%と最も多く、次いで、「入院時における入院患者の情報」が84.1%となっている。
- ・在支歯診では、「共有等できている」「やや共有等できている」の合計は、「日常生活（在宅）療養時の患者の医療情報」が61.1%と最も多く、次いで、「日常生活（在宅）療養時の患者の生活情報」が58.0%となっている。
- ・訪問薬局では、「共有等できている」「やや共有等できている」の合計は、「日常生活（在宅）療養時の患者の医療情報」が59.7%と最も多く、次いで、「日常生活（在宅）療養時の患者の生活情報」が57.1%となっている。
- ・訪問看護では、「共有等できている」「やや共有等できている」の合計は、「看取りについての対応方針」以外のいずれも9割程度となっている。
- ・「看取りについての対応方針」の「共有等できている」「やや共有等できている」の合計は、在支歯診で24.6%、訪問薬局で18.4%となっているが、前回調査より増加している。

図表20 各種情報についての意見交換・共有

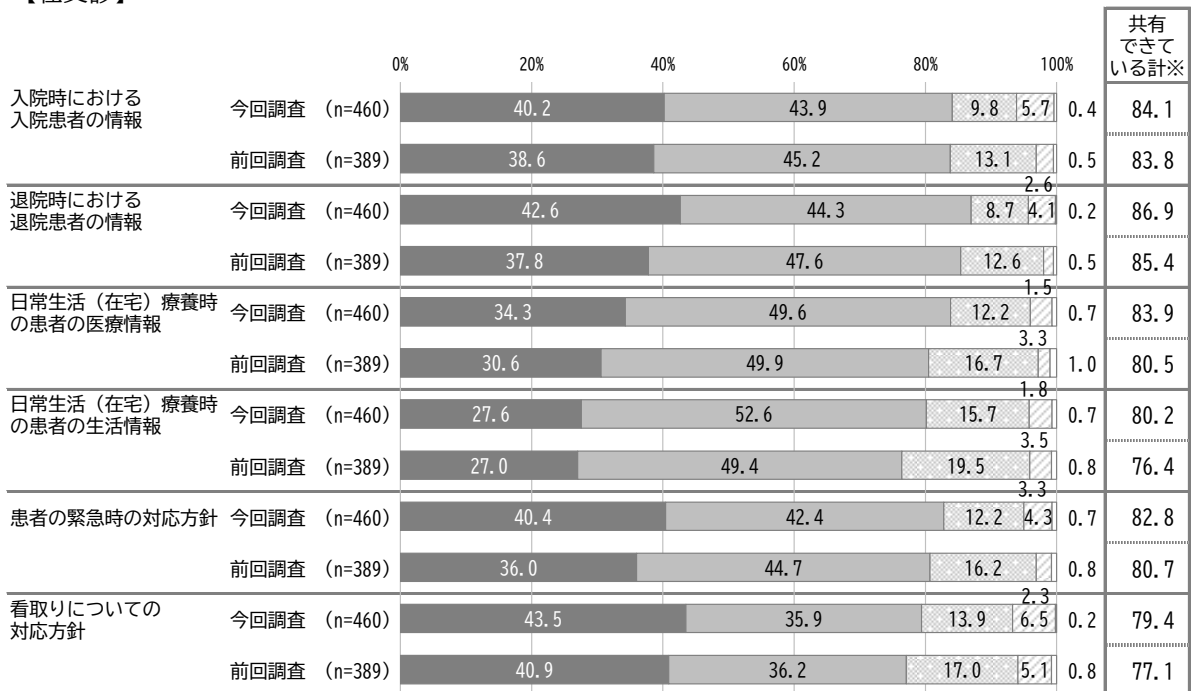


【病院】



■ 共有等できている ■ やや共有等できている ■ あまり共有等できていない ▨ 共有等できていない □ 無回答

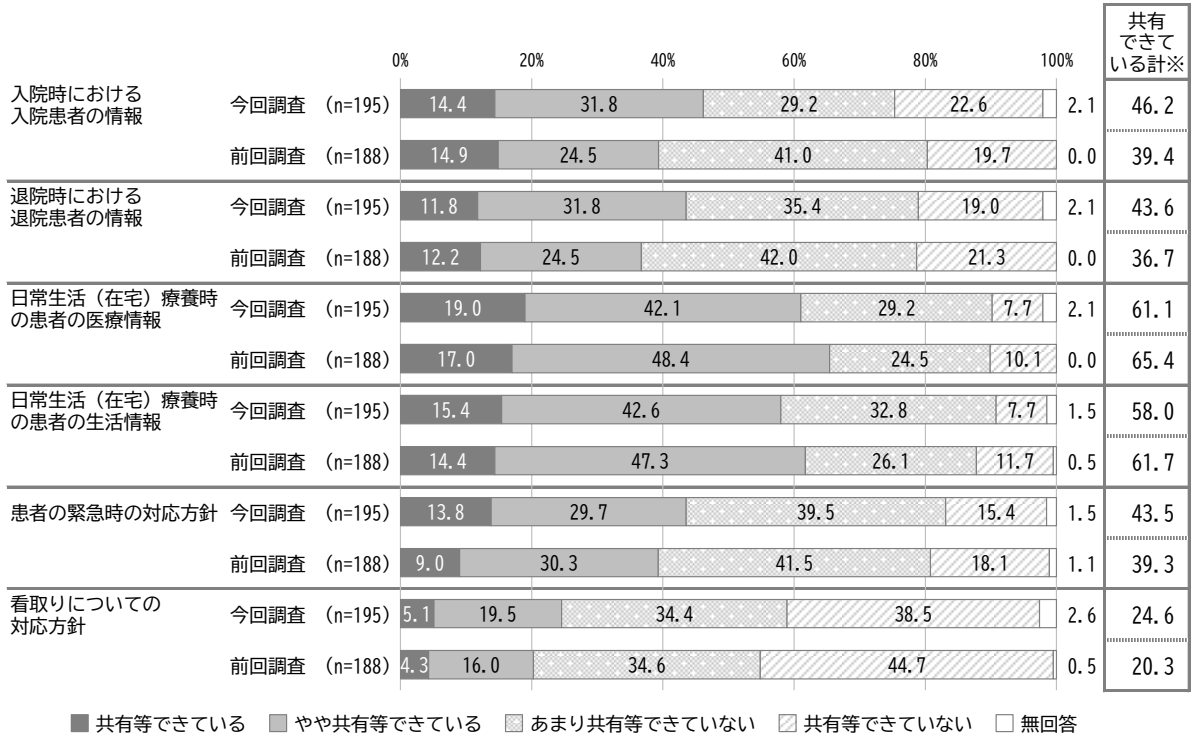
【在宅】



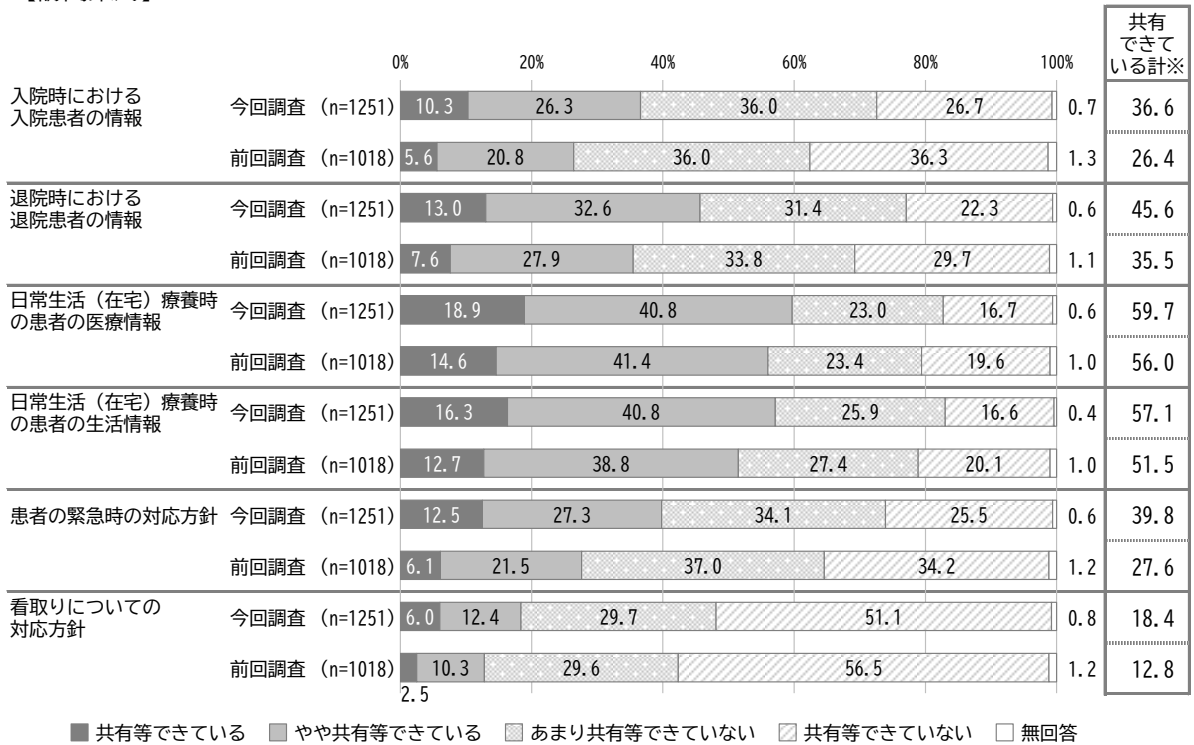
■ 共有等できている ■ やや共有等できている ■ あまり共有等できていない ▨ 共有等できていない □ 無回答

※ 「共有等できている」「やや共有等できている」の合計

【在支歯診】

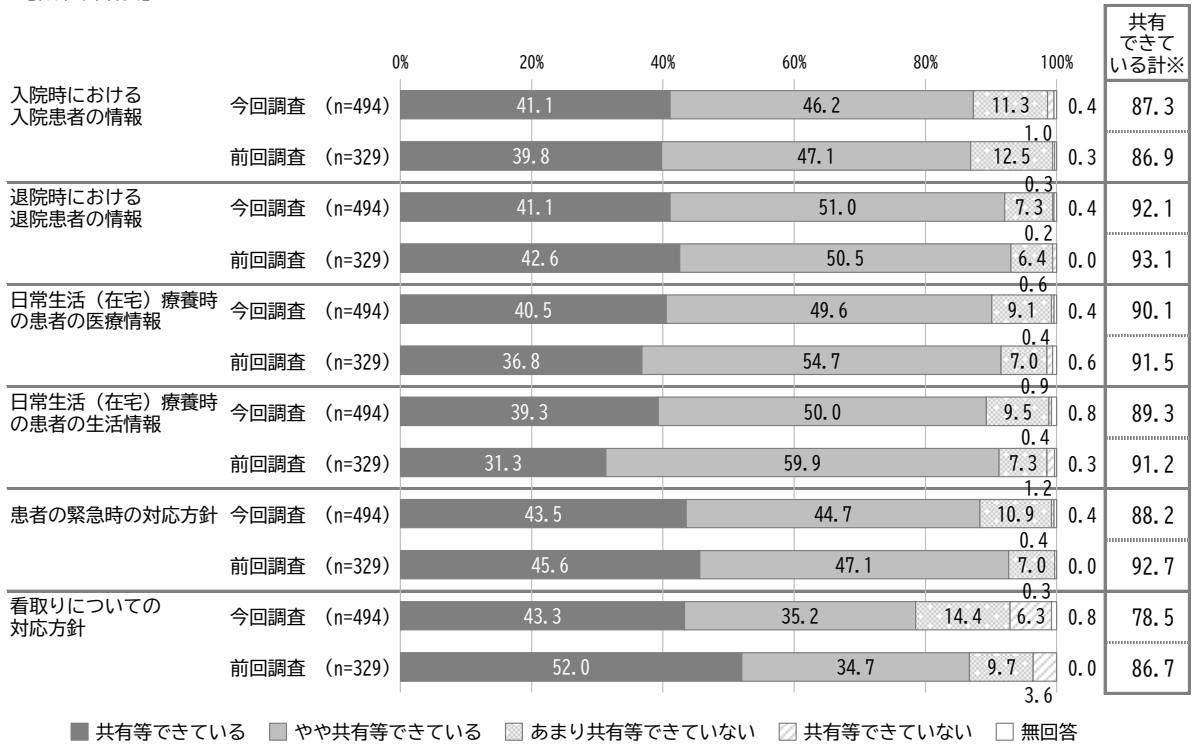


【訪問薬局】



※ 「共有等できている」「やや共有等できている」の合計

【訪問看護】

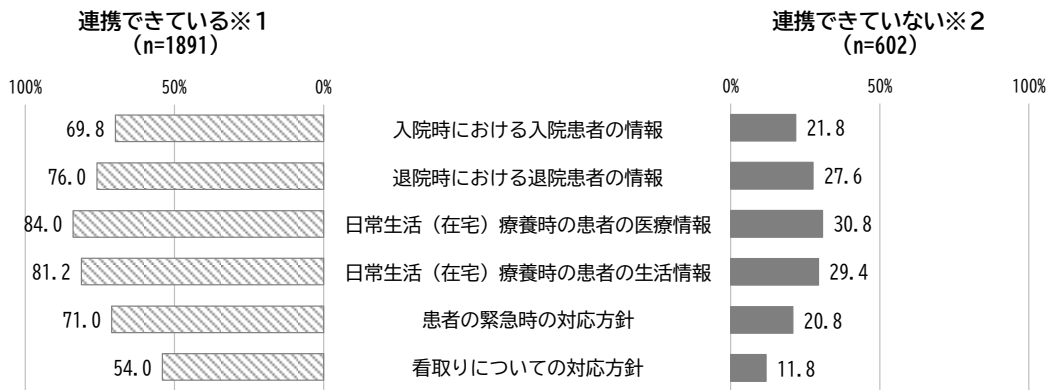


■ 共有等できている ■ やや共有等できている ■ あまり共有等できていない ■ 共有等できていない □ 無回答

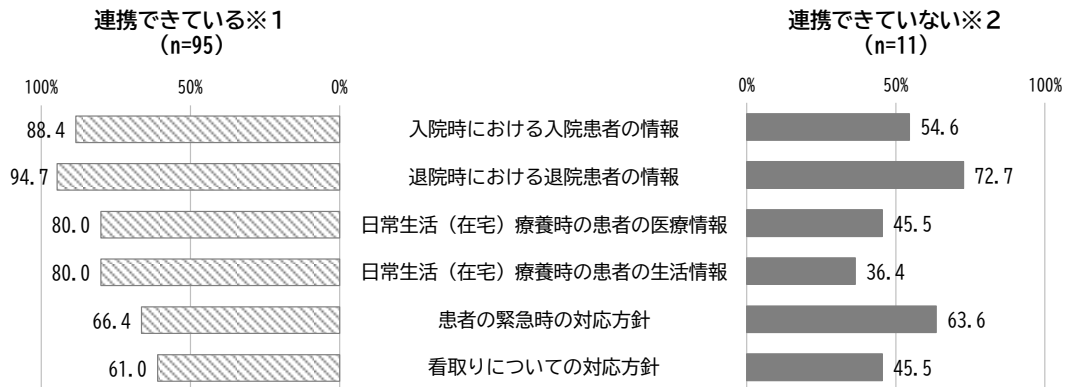
※ 「共有等できている」「やや共有等できている」の合計

【参考】各種情報についての意見交換・共有

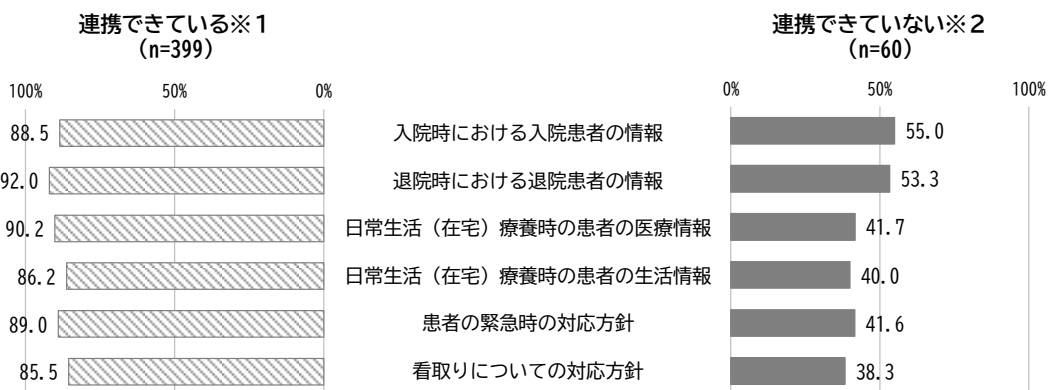
【対象施設全体】



【病院】



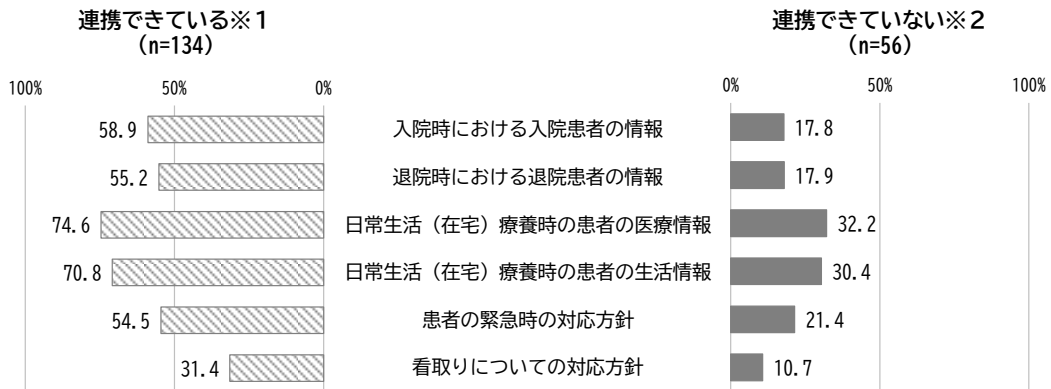
【在支診】



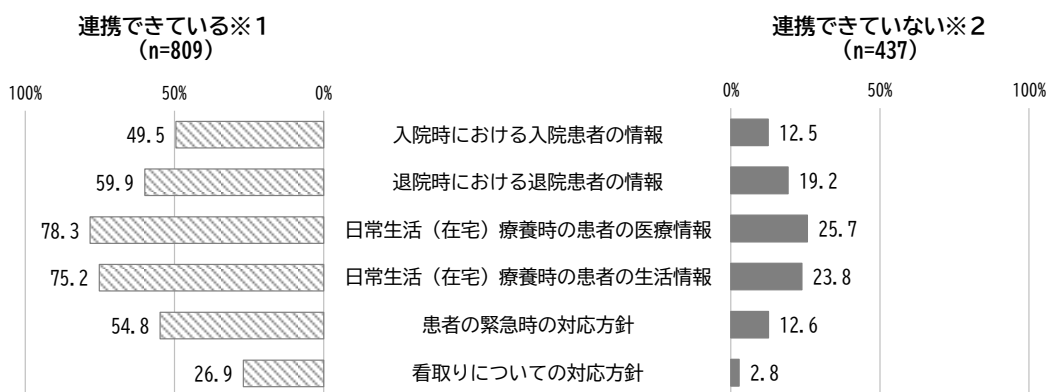
※1 「施設としての全般的な連携度」において「連携できている」「やや連携できている」と回答した施設

※2 「施設としての全般的な連携度」において「あまり連携できていない」「連携できていない」と回答した施設

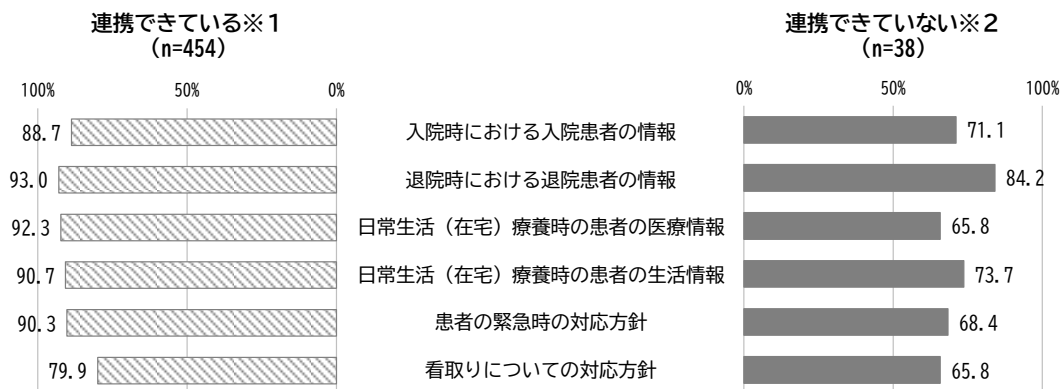
【在支歯診】



【訪問薬局】



【訪問看護】



※1 「施設としての全般的な連携度」において「連携できている」「やや連携できている」と回答した施設
 ※2 「施設としての全般的な連携度」において「あまり連携できていない」「連携できていない」と回答した施設

5 在宅医療の推進

(1) 連携が必要と考える他職種・他機関

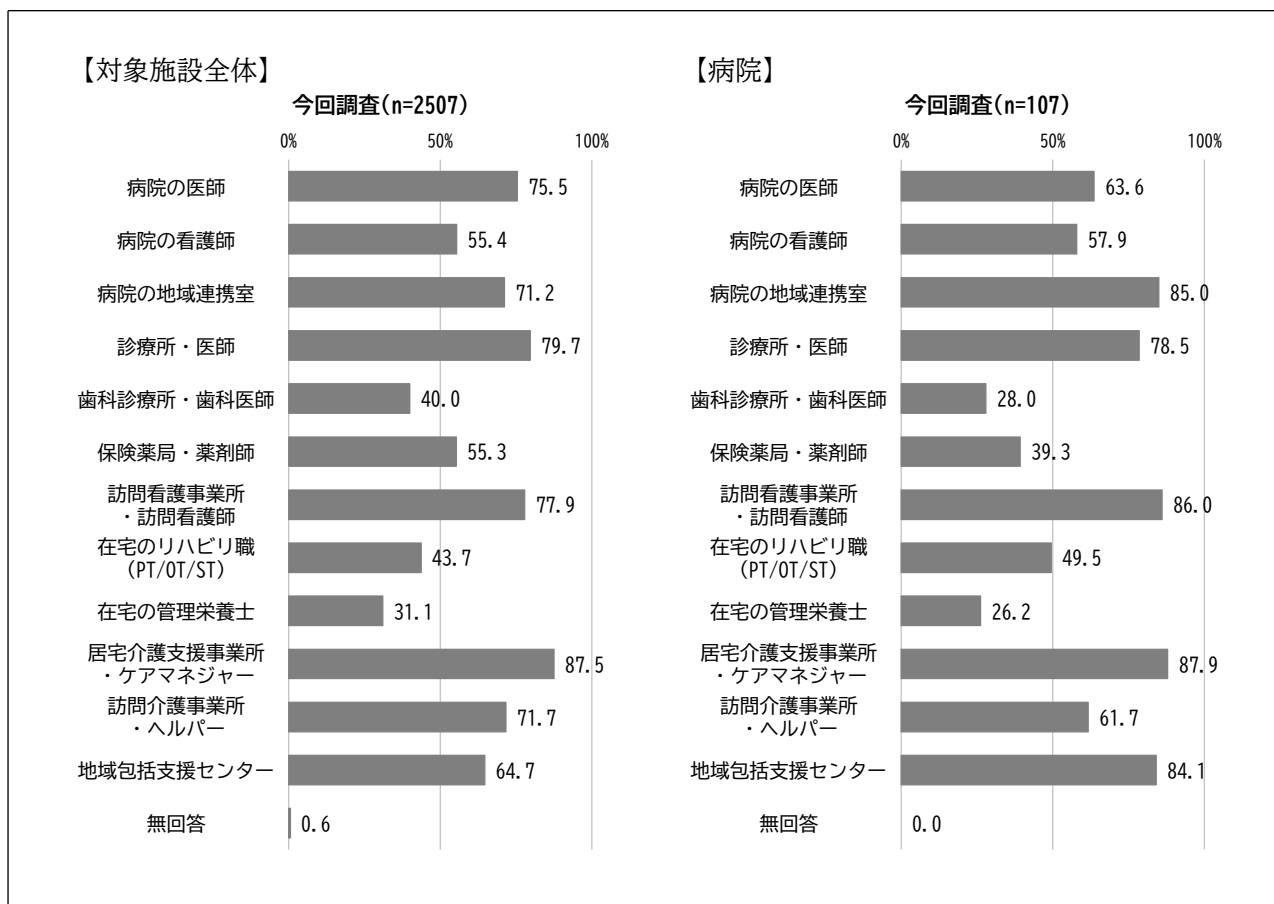
対象施設全体

- ・「居宅介護支援事業所・ケアマネジャー」が87.5%と最も多く、次いで、「診療所・医師」が79.7%、「訪問看護事業所・訪問看護師」が77.9%の順となっている。

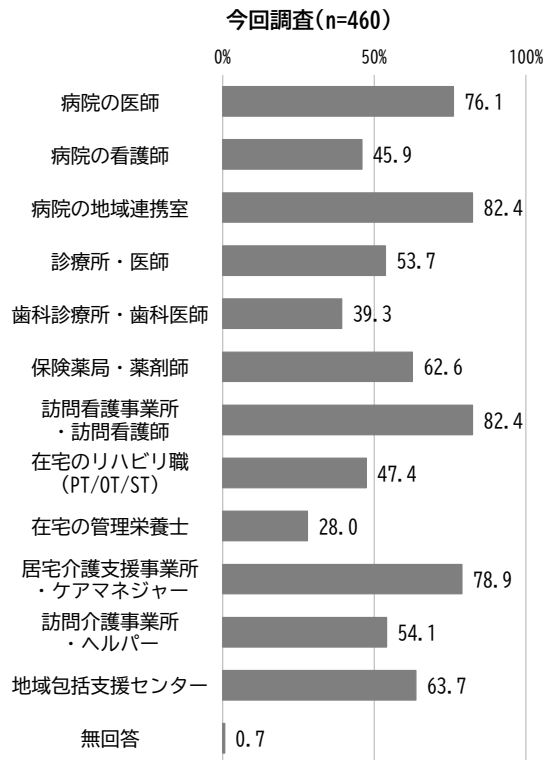
施設類型別

- ・病院では、「居宅介護支援事業所・ケアマネジャー」が87.9%と最も多く、次いで、「訪問看護事業所・訪問看護師」が86.0%、「病院の地域連携室」が85.0%の順となっている。
- ・在支診では、「病院の地域連携室」、「訪問看護事業所・訪問看護師」が82.4%と最も多く、次いで、「居宅介護支援事業所・ケアマネジャー」が78.9%の順となっている。
- ・在支歯診では、「居宅介護支援事業所・ケアマネジャー」が84.6%と最も多く、次いで、「診療所・医師」が69.7%、「病院の医師」が68.2%の順となっている。
- ・訪問薬局では、「居宅介護支援事業所・ケアマネジャー」が89.2%と最も多く、次いで、「診療所・医師」が86.7%、「訪問看護事業所・訪問看護師」が83.7%の順となっている。
- ・訪問看護では、「居宅介護支援事業所・ケアマネジャー」が92.1%と最も多く、次いで、「診療所・医師」が90.3%、「病院の地域連携室」が87.7%の順となっている。

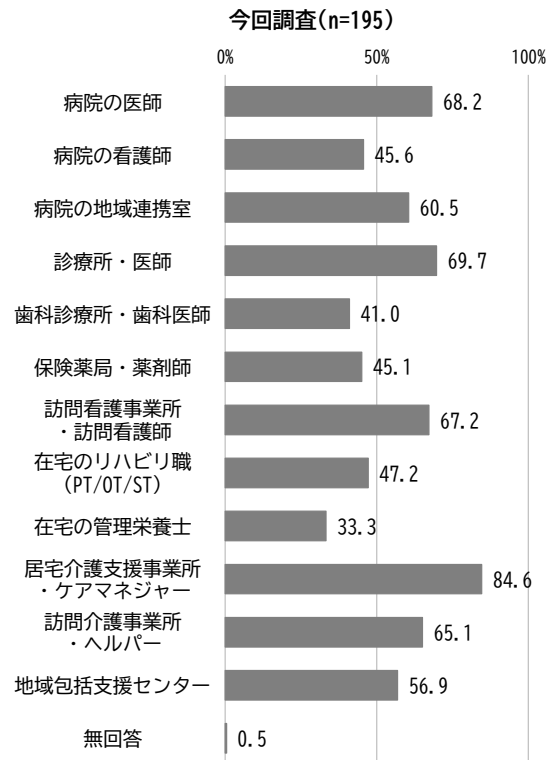
図表21 連携が必要と考える他職種・他機関（複数回答）



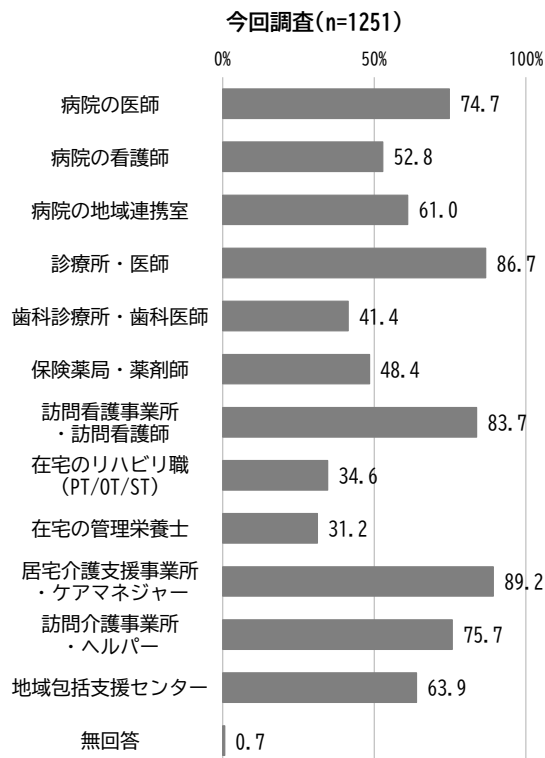
【在支診】



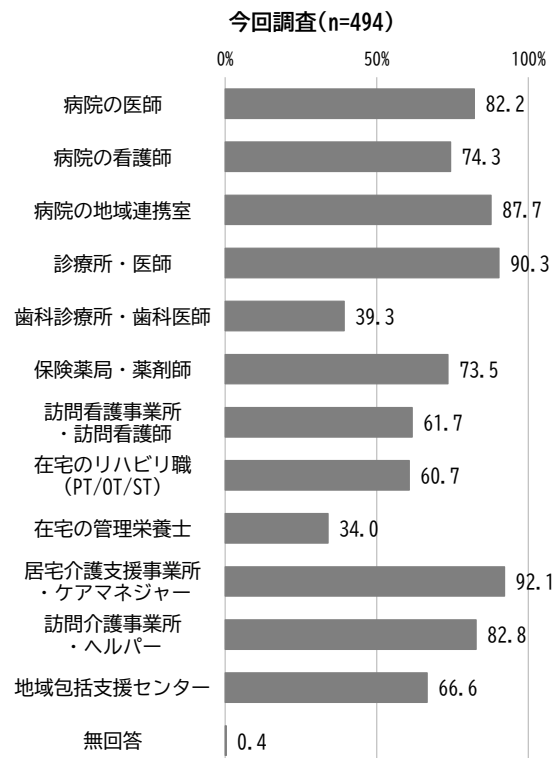
【在支歯診】



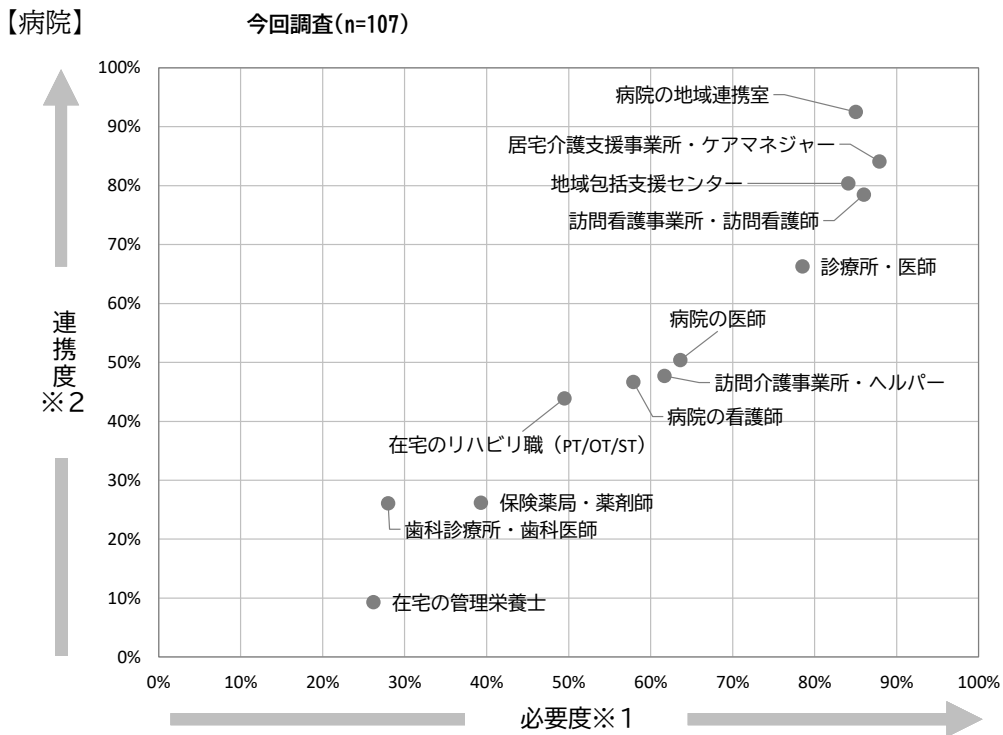
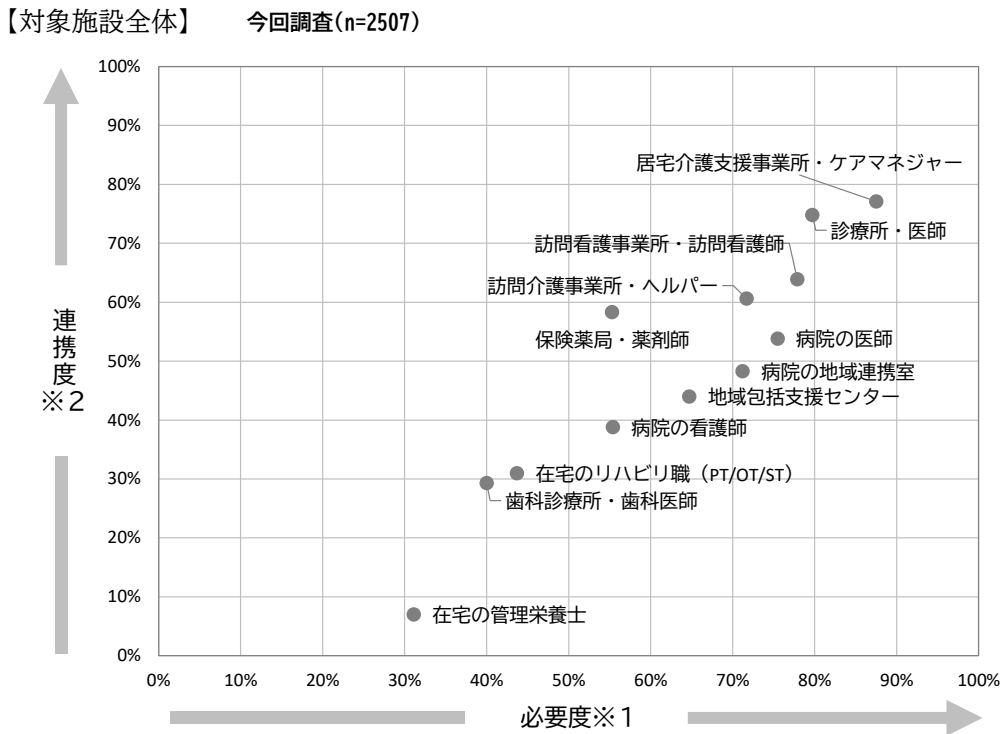
【訪問薬局】



【訪問看護】



【参考】他職種・他機関との必要度と連携度

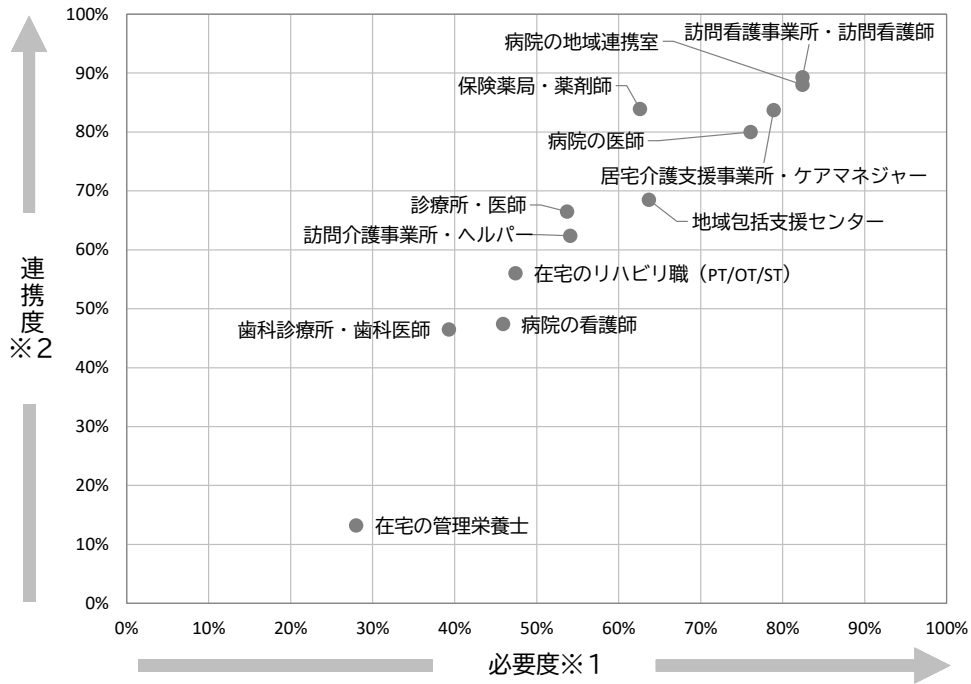


※1 必要度：連携が必要と考える他職種・他機関

※2 連携度：「他職種・他機関との連携度」の「連携できている」「やや連携できている」の合計

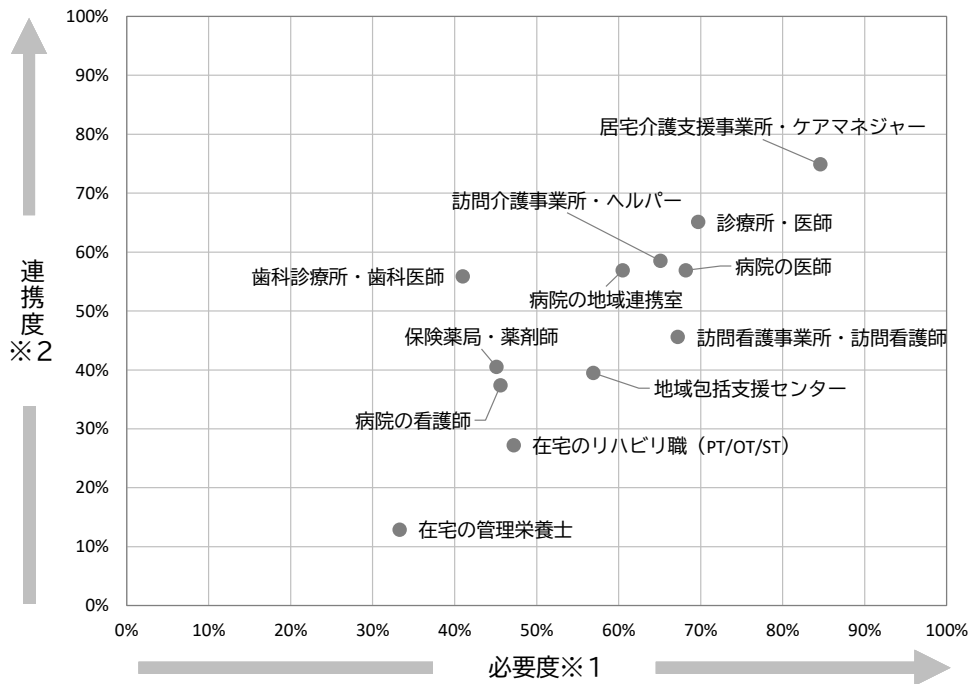
【在支診】

今回調査(n=460)



【在支歯診】

今回調査(n=195)

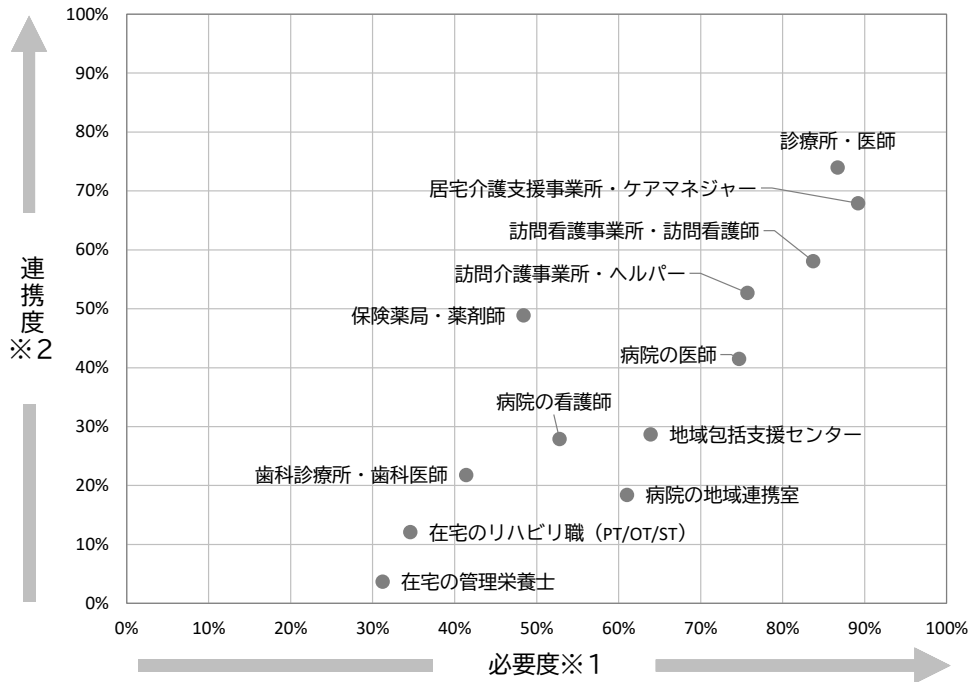


※1 必要性：連携が必要と考える他職種・他機関

※2 連携度：「他職種・他機関との連携度」の「連携できている」「やや連携できている」の合計

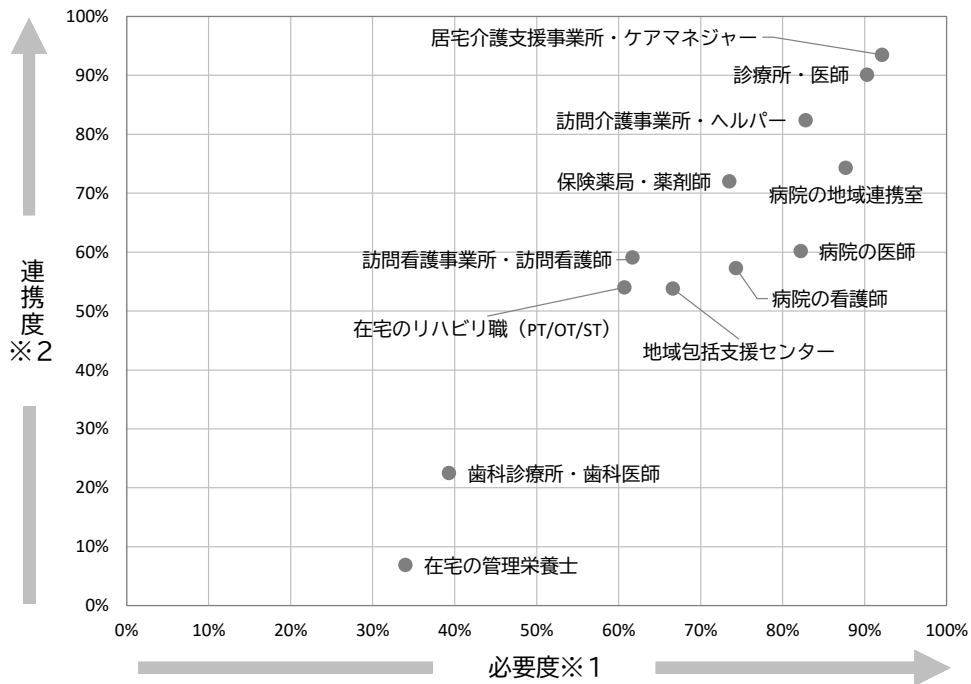
【訪問薬局】

今回調査(n=1251)



【訪問看護】

今回調査(n=494)



※1 必要度：連携が必要と考える他職種・他機関

※2 連携度：「他職種・他機関との連携度」の「連携できている」「やや連携できている」の合計

(2) 在宅医療・介護連携の推進のために必要だと考えること

対象施設全体

- ・「連携で困ったときに相談できる窓口」が47.6%と最も多く、次いで、「現状・課題、対応策を検討・共有する協議の場」が39.8%、「関係機関のリスト・連絡先等の提供」が36.7%の順となっている。

施設類型別

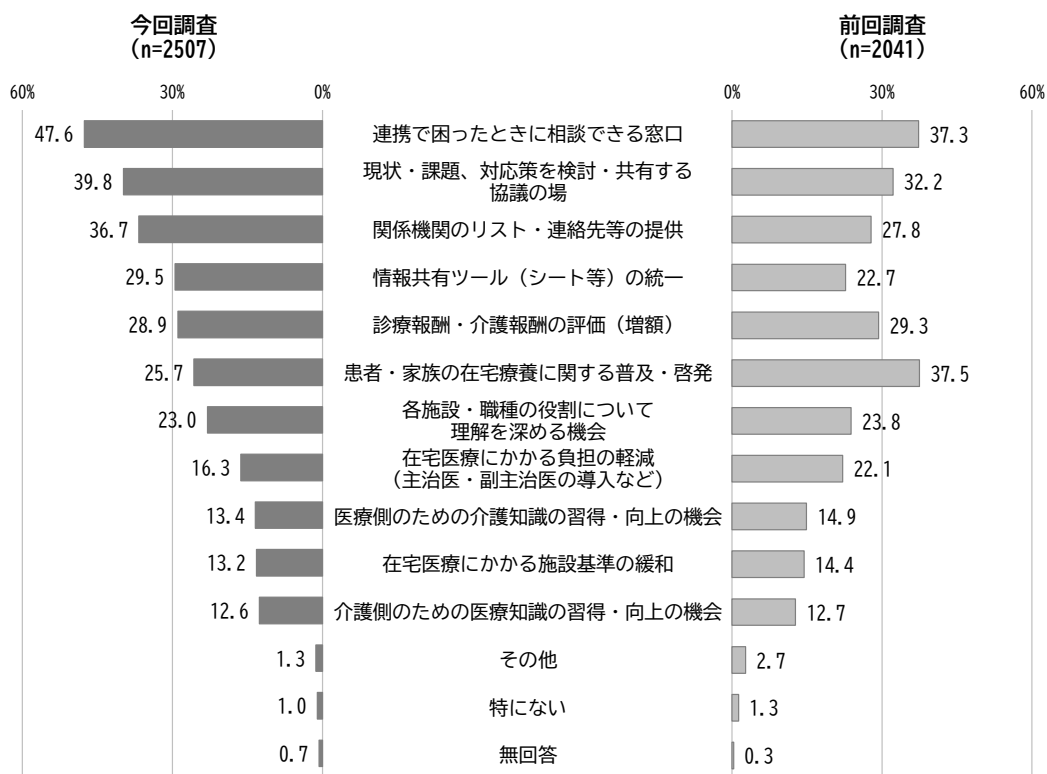
- ・病院では、「現状・課題、対応策を検討・共有する協議の場」が44.9%と最も多く、次いで、「連携で困ったときに相談できる窓口」が41.1%、「情報共通ツール（シート等）の統一」が33.6%の順となっている。
- ・在支診では、「連携で困ったときに相談できる窓口」が48.7%と最も多く、次いで、「診療報酬・介護報酬の評価（増額）」が43.5%、「関係機関のリスト・連絡先等の提供」が36.1%の順となっている。
- ・在支歯診では、「連携で困ったときに相談できる窓口」が44.6%と最も多く、次いで、「関係機関のリスト・連絡先等の提供」が42.1%、「診療報酬・介護報酬の評価（増額）」が41.0%の順となっている。
- ・訪問薬局では、「連携で困ったときに相談できる窓口」が48.4%と最も多く、次いで、「現状・課題、対応策を検討・共有する協議の場」が41.0%、「関係機関のリスト・連絡先等の提供」が40.2%の順となっている。
- ・訪問看護では、「現状・課題、対応策を検討・共有する協議の場」が52.2%と最も多く、次いで、「連携で困ったときに相談できる窓口」が47.2%、「情報共通ツール（シート等）の統一」が36.6%の順となっている。

図表22 在宅医療・介護連携の推進のために必要だと考えること（複数回答）

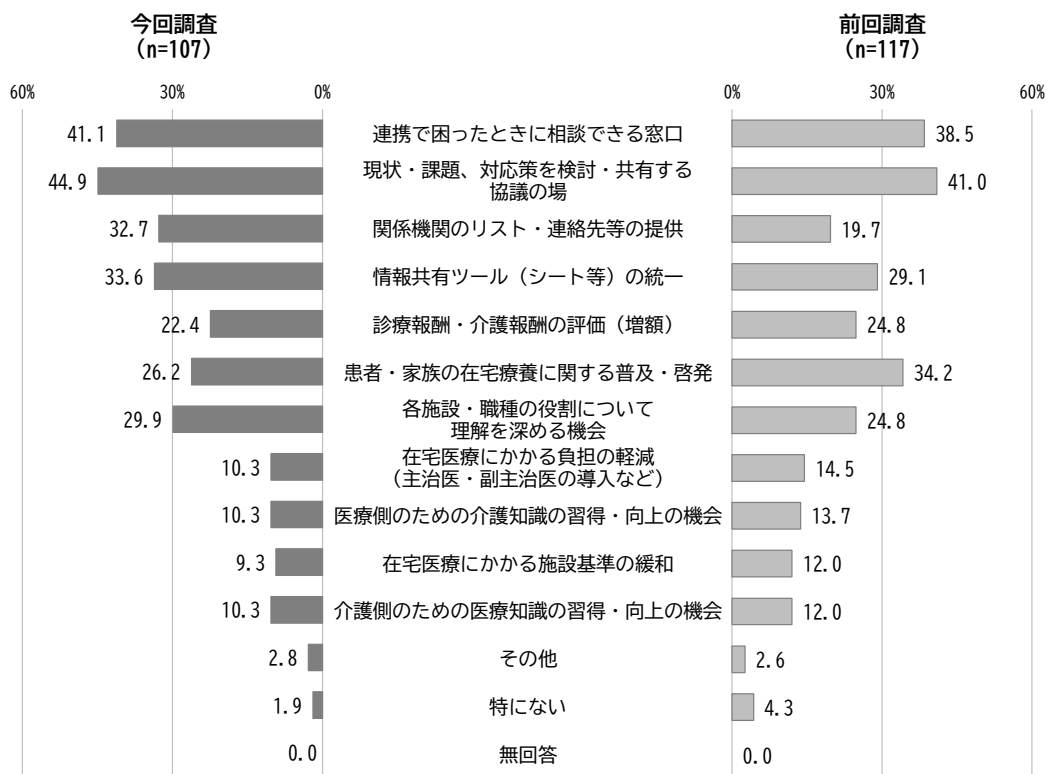
	対象施設全体	施設数 (%)				
		病院	在支診	在支歯診	訪問薬局	訪問看護
1 連携で困ったときに相談できる窓口	47.6 (1194)	41.1 (44)	48.7 (224)	44.6 (87)	48.4 (606)	47.2 (233)
2 現状・課題、対応策を検討・共有する協議の場	39.8 (999)	44.9 (48)	27.8 (128)	26.7 (52)	41.0 (513)	52.2 (258)
3 関係機関のリスト・連絡先等の提供	36.7 (921)	32.7 (35)	36.1 (166)	42.1 (82)	40.2 (503)	27.3 (135)
4 情報共有ツール（シート等）の統一	29.5 (740)	33.6 (36)	21.1 (97)	28.7 (56)	29.6 (370)	36.6 (181)
5 診療報酬・介護報酬の評価（増額）	28.9 (725)	22.4 (24)	43.5 (200)	41.0 (80)	22.4 (280)	28.5 (141)
6 患者・家族の在宅療養に関する普及・啓発	25.7 (645)	26.2 (28)	25.4 (117)	29.7 (58)	24.6 (308)	27.1 (134)
7 各施設・職種の役割について理解を深める機会	23.0 (577)	29.9 (32)	17.6 (81)	23.1 (45)	24.8 (310)	22.1 (109)
8 在宅医療にかかる負担の軽減（主治医・副主治医の導入など）	16.3 (409)	10.3 (11)	24.6 (113)	15.9 (31)	13.9 (174)	16.2 (80)
9 医療側のための介護知識の習得・向上の機会	13.4 (336)	10.3 (11)	12.2 (56)	13.8 (27)	15.6 (195)	9.5 (47)
10 在宅医療にかかる施設基準の緩和	13.2 (330)	9.3 (10)	22.2 (102)	21.5 (42)	11.1 (139)	7.5 (37)
11 介護側のための医療知識の習得・向上の機会	12.6 (317)	10.3 (11)	15.7 (72)	13.8 (27)	9.7 (121)	17.4 (86)
12 その他	1.3 (33)	2.8 (3)	1.1 (5)	1.5 (3)	1.2 (15)	1.4 (7)
13 特にない	1.0 (25)	1.9 (2)	0.9 (4)	1.0 (2)	1.2 (15)	0.4 (2)
無回答	0.7 (17)	0.0 (0)	0.2 (1)	0.5 (1)	0.8 (10)	1.0 (5)
回答施設数（n）	2507	107	460	195	1251	494

図表23 在宅医療・介護連携の推進のために必要だと考えること（今回・前回調査比較）

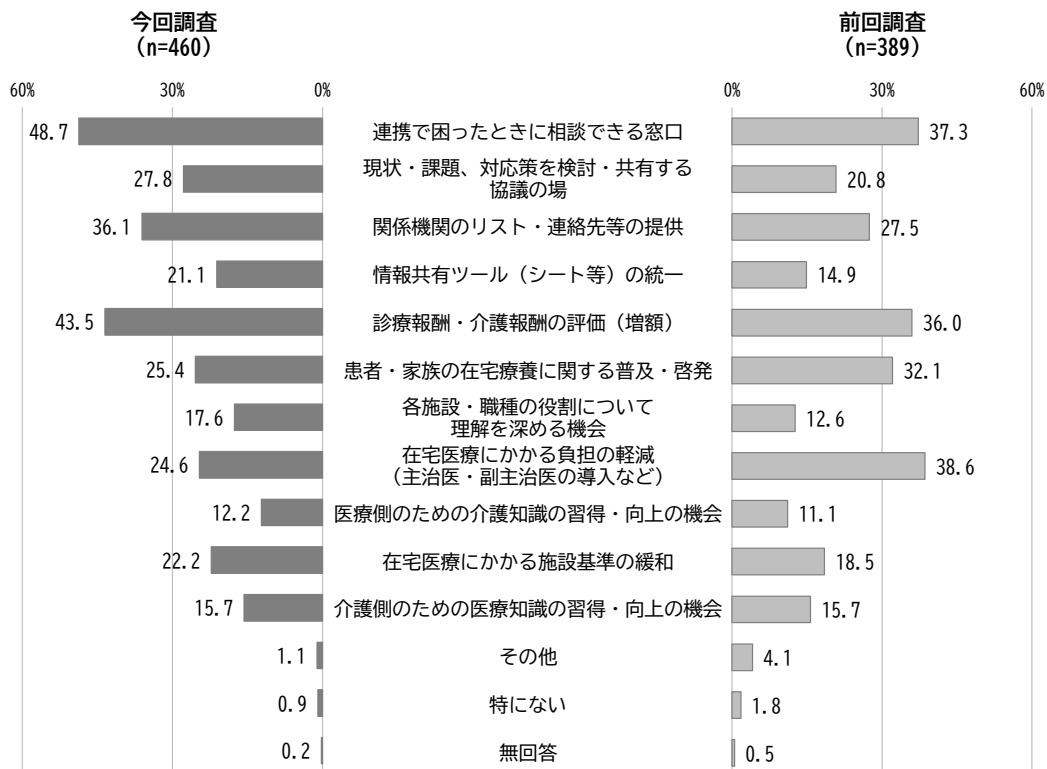
【対象施設全体】



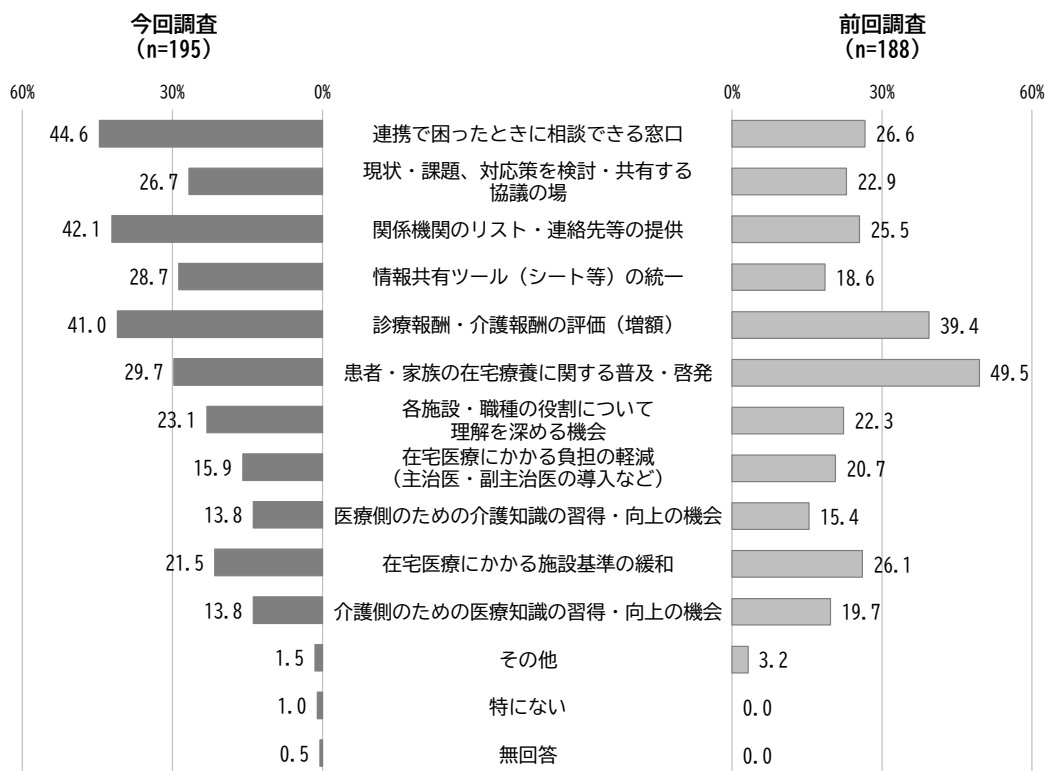
【病院】



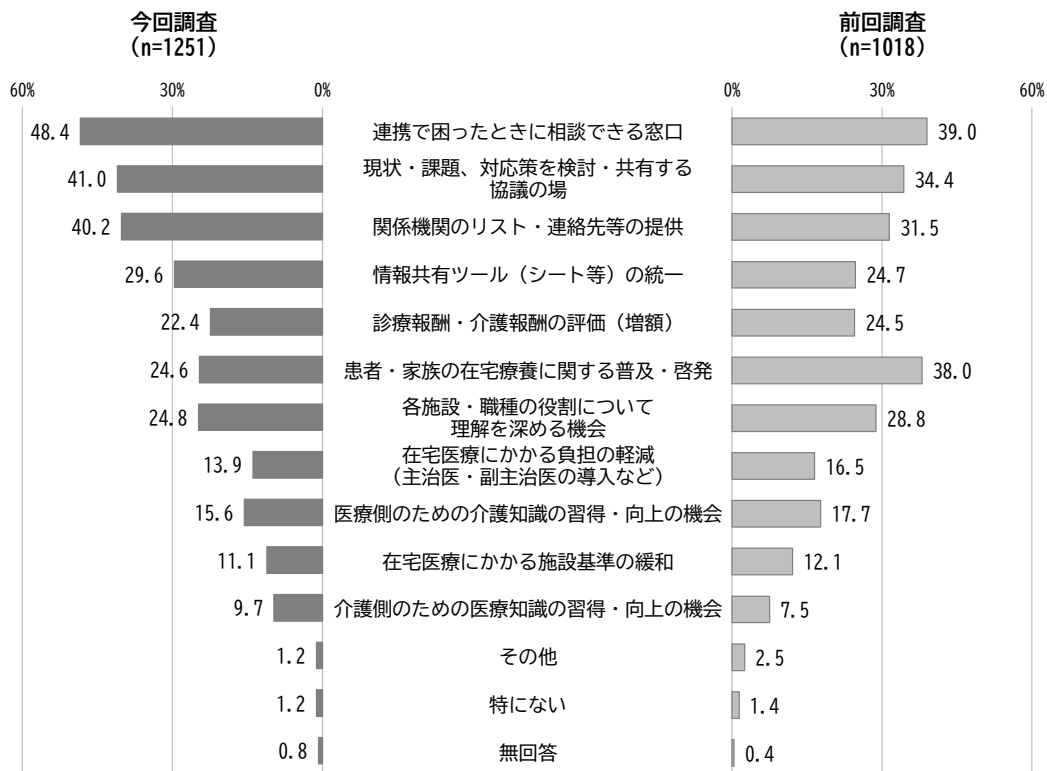
【在支診】



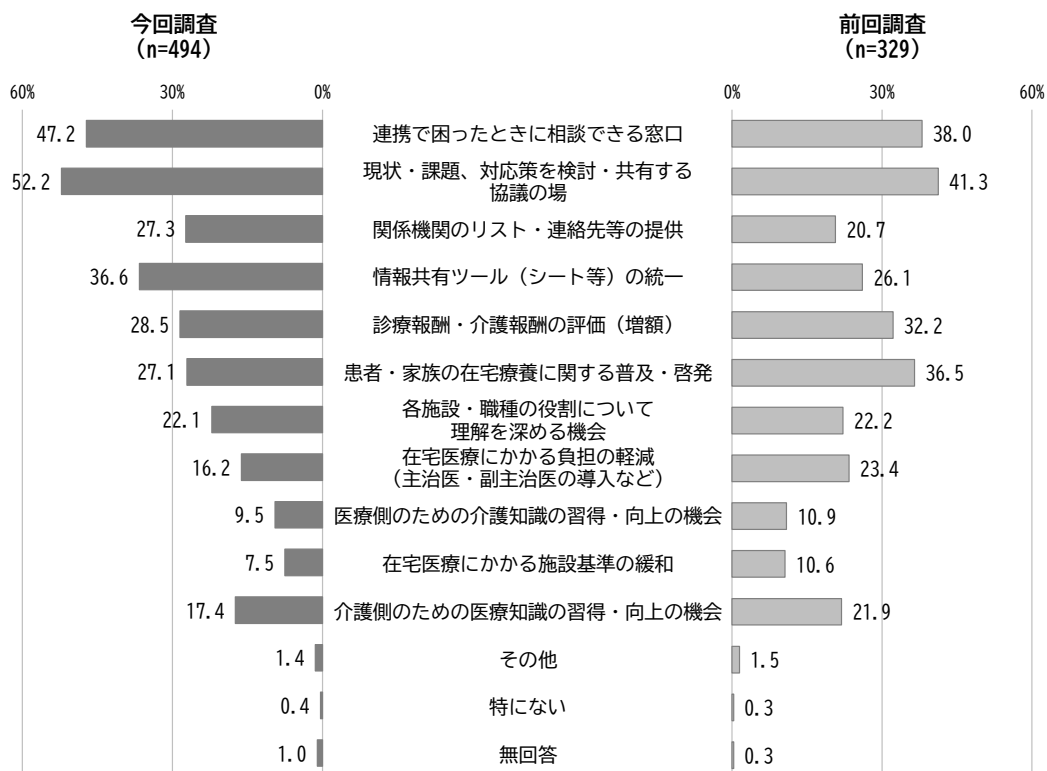
【在支歯診】



【訪問薬局】



【訪問看護】



(3) 地域での在宅医療を継続するにあたり苦慮する課題

対象施設全体

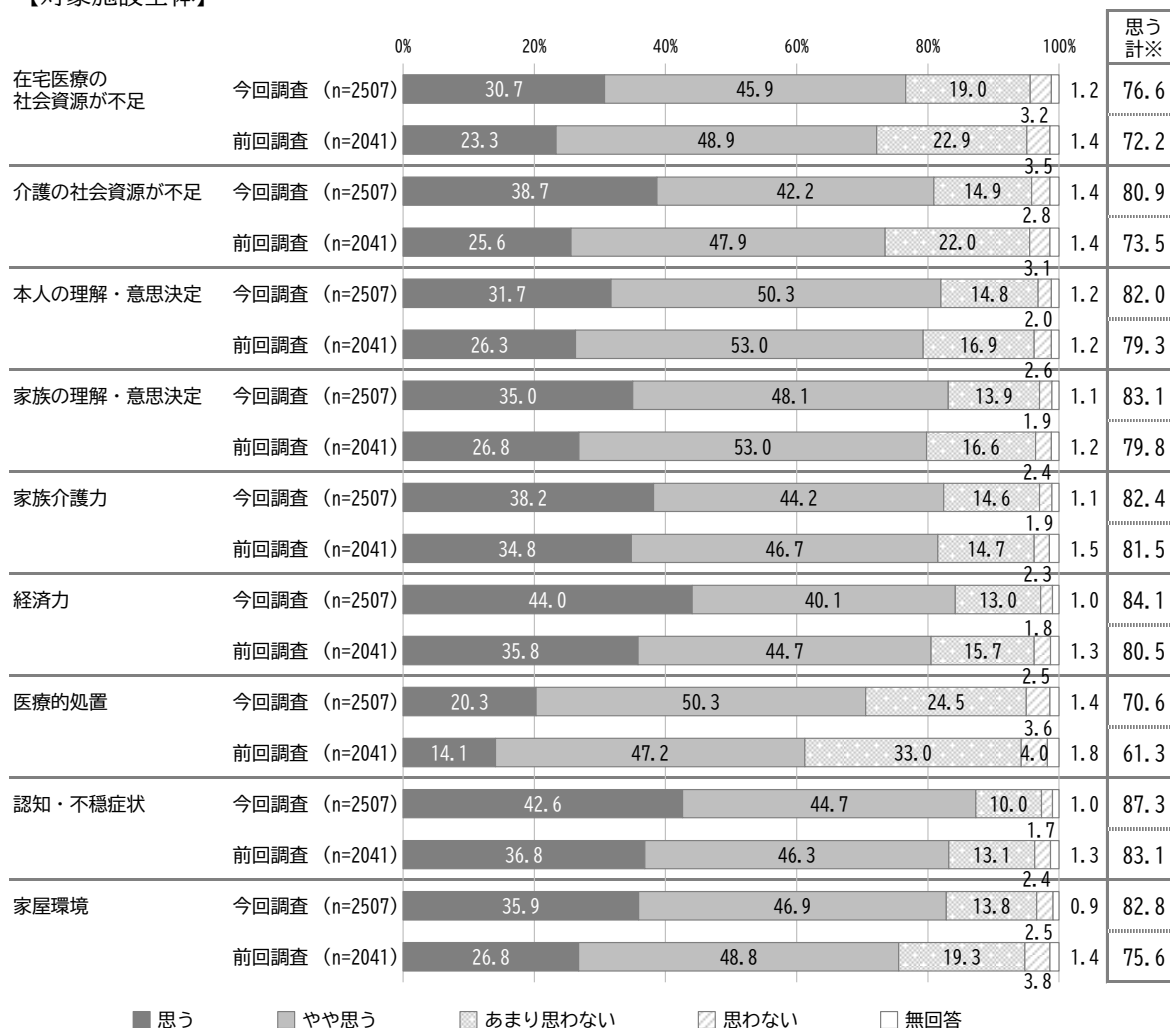
- ・「思う」「やや思う」の合計は、「認知・不穏症状」が87.3%と最も多く、次いで、「経済力」が84.1%、「家族の理解・意思決定」が83.1%の順となっている。
-

施設類型別

- ・病院では、「思う」「やや思う」の合計は、「経済力」が89.8%と最も多く、次いで、「家族の理解・意思決定」「家族介護力」「認知・不穏症状」「家屋環境」がいずれも88.8%となっている。
- ・在支診では、「思う」「やや思う」の合計は、「経済力」が88.7%と最も多く、次いで、「家族介護力」が86.9%、「家屋環境」が85.2%の順となっている。
- ・在支歯診では、「思う」「やや思う」の合計は、「経済力」が88.2%と最も多く、次いで、「認知・不穏症状」が87.2%、「介護の社会資源が不足」が85.6%の順となっている。
- ・訪問薬局では、「思う」「やや思う」の合計は、「認知・不穏症状」が88.5%で最も多く、次いで、「家族の理解・意思決定」が81.4%、「家屋環境」が80.9%の順となっている。
- ・訪問看護では、「思う」「やや思う」の合計は、「経済力」が88.6%で最も多く、次いで、「家族の理解・意思決定」「認知・不穏症状」が86.2%となっている。

図表24 地域での在宅医療を継続するにあたり苦慮する課題

【対象施設全体】



■ 思う ■ やや思う ■ あまり思わない ■ 思わない □ 無回答

※ 「思う」「やや思う」の合計

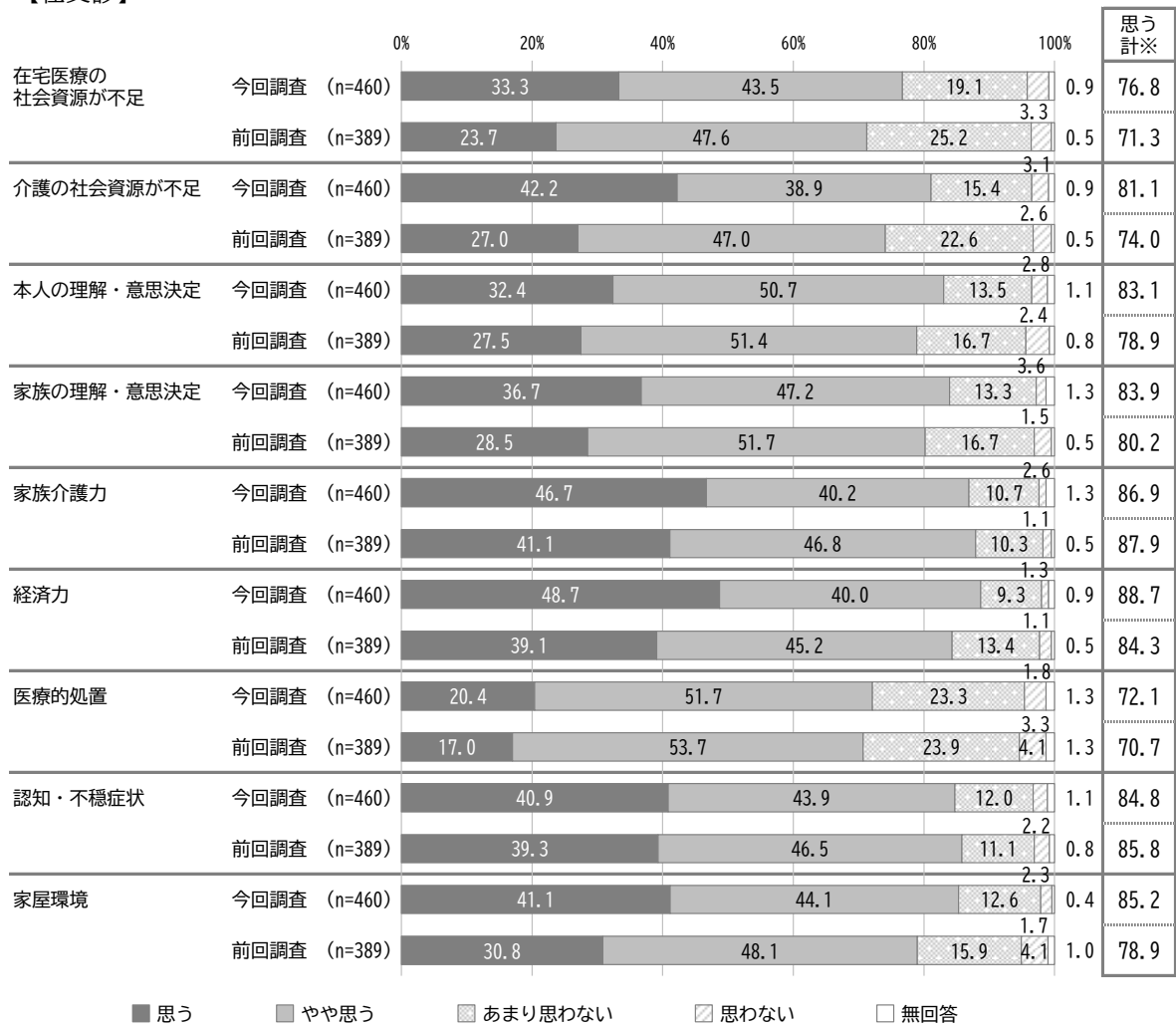
【病院】

						思う 計※	
在宅医療の 社会資源が不足	今回調査 (n=107)	22.4	35.5	31.8	8.4	1.9	57.9
	前回調査 (n=117)	16.2	35.9	41.0	5.1	1.7	52.1
介護の社会資源が不足	今回調査 (n=107)	29.9	38.3	26.2	3.7	1.9	68.2
	前回調査 (n=117)	12.0	41.0	42.7	2.6	1.7	53.0
本人の理解・意思決定	今回調査 (n=107)	44.9	42.1	9.3	1.9	1.9	87.0
	前回調査 (n=117)	29.1	52.1	14.5	2.6	1.7	81.2
家族の理解・意思決定	今回調査 (n=107)	48.6	40.2	8.4	1.9	0.9	88.8
	前回調査 (n=117)	30.8	53.8	10.3	3.4	1.7	84.6
家族介護力	今回調査 (n=107)	53.3	35.5	7.5	1.9	1.9	88.8
	前回調査 (n=117)	45.3	45.3	4.3	2.6	2.6	90.6
経済力	今回調査 (n=107)	50.5	39.3	7.5	1.9	0.9	89.8
	前回調査 (n=117)	41.9	42.7	11.1	2.6	1.7	84.6
医療的処置	今回調査 (n=107)	33.6	44.9	18.7	1.9	0.9	78.5
	前回調査 (n=117)	23.9	47.0	23.9	2.6	2.6	70.9
認知・不穏症状	今回調査 (n=107)	53.3	35.5	7.5	2.8	0.9	88.8
	前回調査 (n=117)	43.6	42.7	10.3	1.7	1.7	86.3
家屋環境	今回調査 (n=107)	43.9	44.9	7.5	2.8	0.9	88.8
	前回調査 (n=117)	36.8	47.9	11.1	2.6	1.7	84.7

■ 思う ■ やや思う ■ あまり思わない ■ 思わない □ 無回答

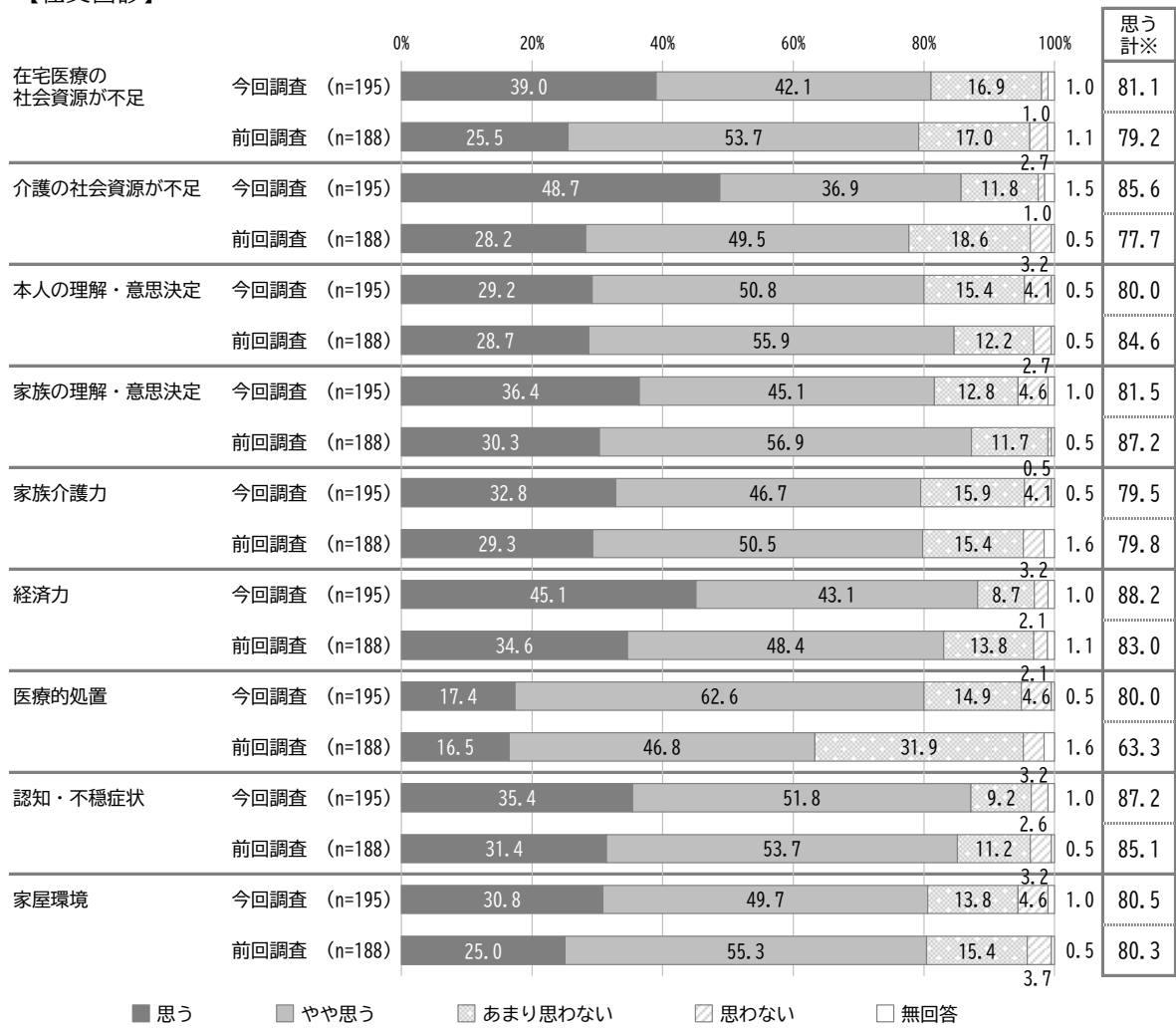
※ 「思う」「やや思う」の合計

【在支診】



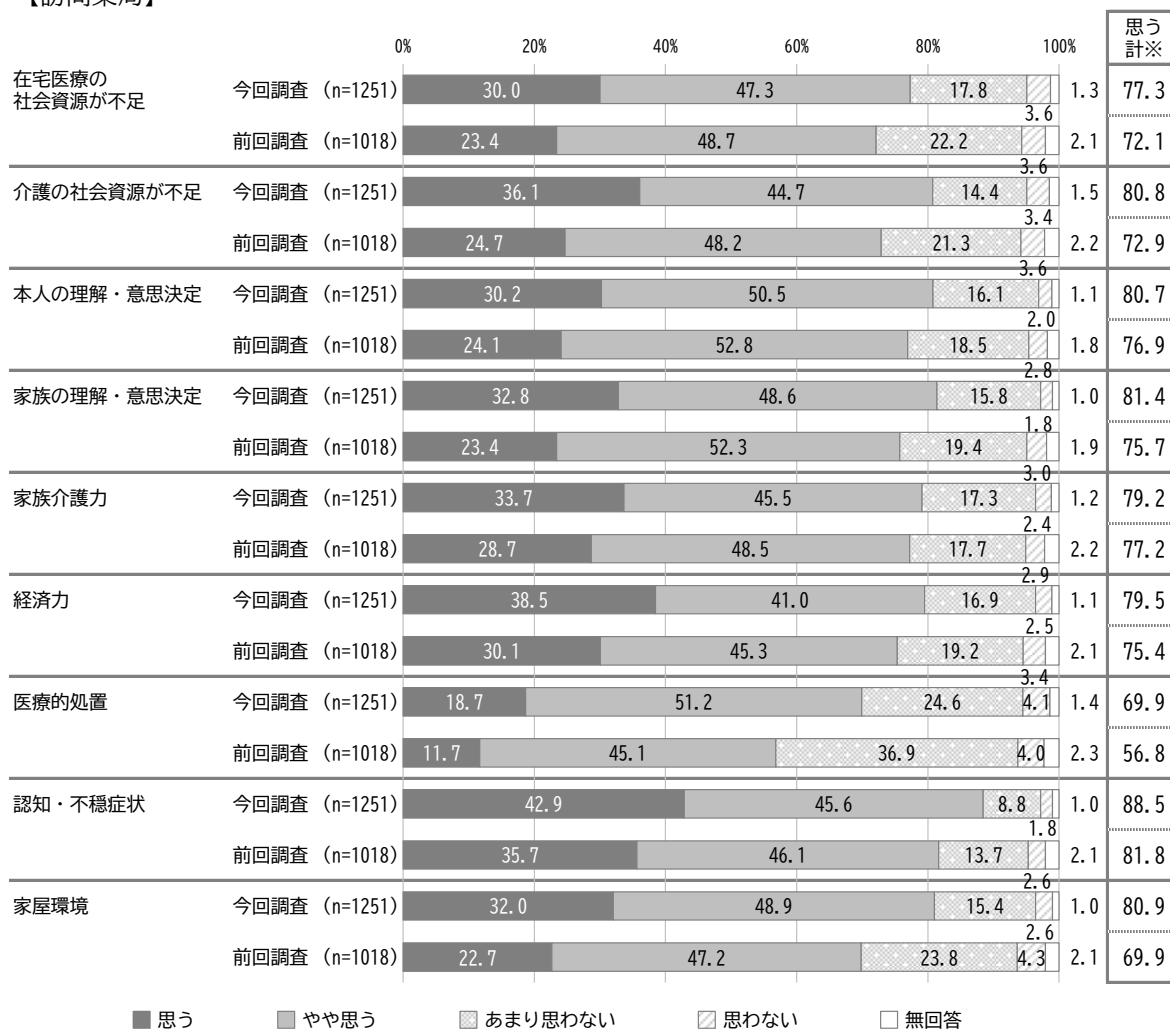
※ 「思う」「やや思う」の合計

【在宅歯診】



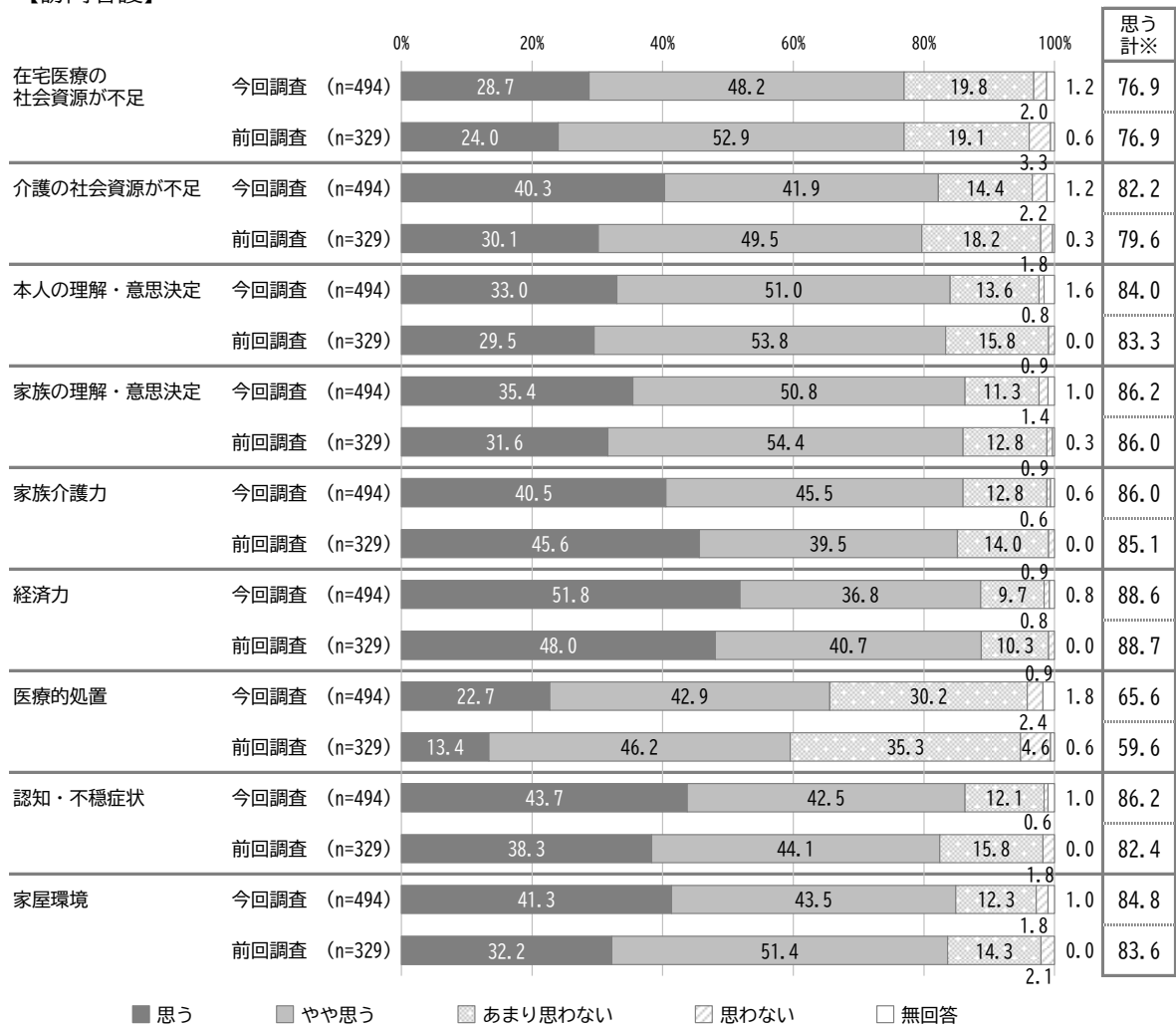
※ 「思う」「やや思う」の合計

【訪問薬局】



※ 「思う」「やや思う」の合計

【訪問看護】



※ 「思う」「やや思う」の合計

(4) 地域の在宅医療の推進への貢献度

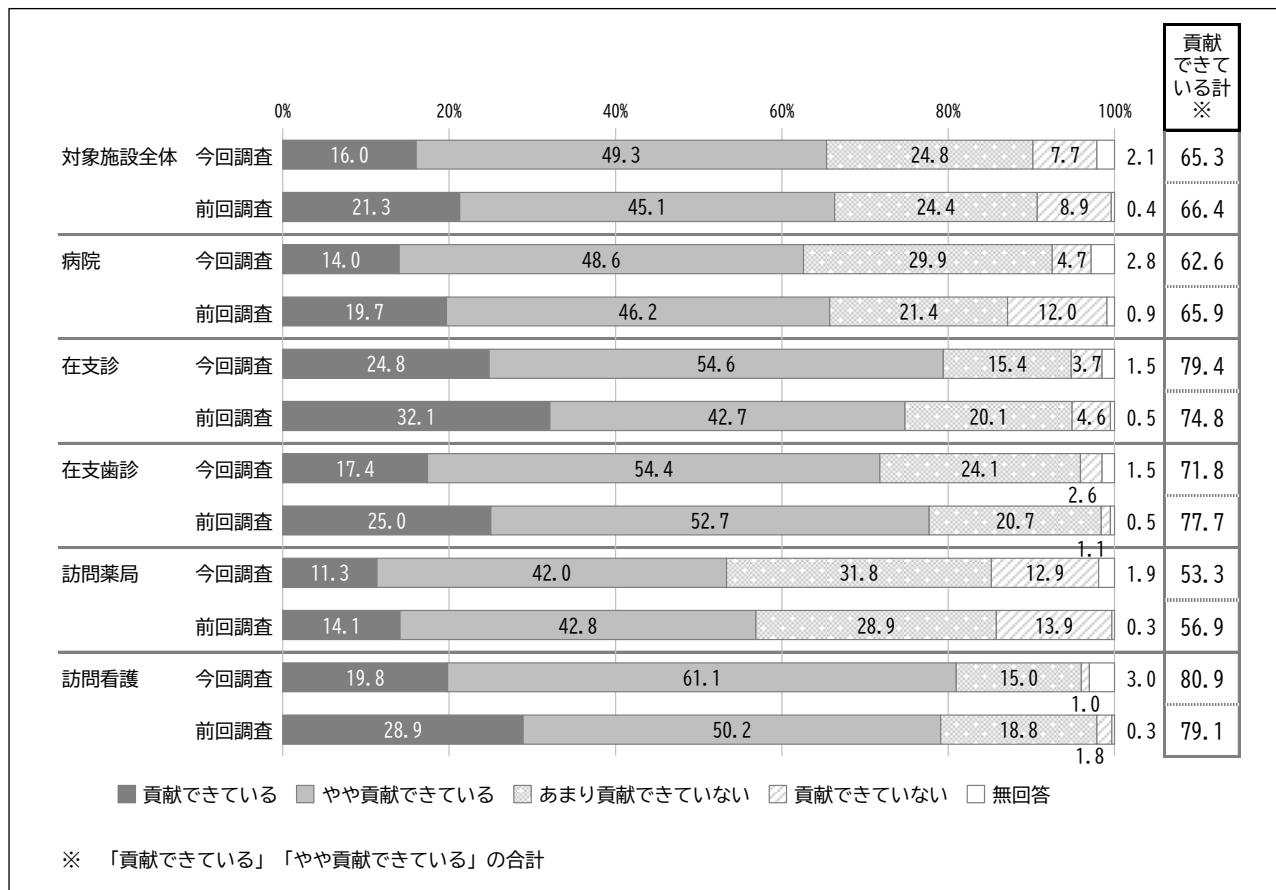
対象施設全体

・「やや貢献できている」が49.3%と最も多く、「貢献できている」の16.0%を合計して、65.3%となっており、前回調査と同程度となっている。

施設類型別

・「貢献できている」「やや貢献できている」の合計は、訪問看護が80.9%と最も多く、次いで、在支診79.4%、在支歯診71.8%、病院62.6%、訪問薬局53.3%の順となっている。

図表25 地域の在宅医療の推進への貢献度



【参考】地域の在宅医療の推進への貢献度（対象施設全体・区別）

【対象施設全体】		< 今回調査 >					貢献できている計※		< 前回調査 >					貢献できている計※		
		0%	20%	40%	60%	80%	100%		0%	20%	40%	60%	80%	100%		
全体(大阪市) (n=2507)		16.0	49.3	24.8	7.4	2.1	65.3	(n=2041)	21.3	45.1	24.4	8.9	0.4	66.4		
北区 (n=167)		11.4	43.1	33.5	10.2	1.8	54.5	(n=108)	16.7	40.7	32.4	10.2	0.0	57.4		
都島区 (n=87)		14.9	46.0	23.0	11.5	4.6	60.9	(n=81)	16.0	49.4	24.7	9.0	0.0	65.4		
福島区 (n=75)		9.3	48.0	36.0	5.3	1.3	57.3	(n=64)	12.5	34.4	40.6	10.9	1.6	46.9		
此花区 (n=44)		11.4	47.7	40.9	0.0	0.0	59.1	(n=46)	28.3	45.7	23.9	0.0	0.0	74.0		
中央区 (n=152)		10.5	41.4	30.9	15.8	1.3	51.9	(n=123)	15.4	36.6	24.4	23.6	0.0	52.0		
西区 (n=70)		14.3	52.9	21.4	8.6	2.9	67.2	(n=72)	12.5	38.9	33.3	15.3	0.0	51.4		
港区 (n=54)		16.7	53.7	20.4	7.4	1.9	70.4	(n=47)	31.9	42.6	17.0	8.5	0.0	74.5		
大正区 (n=50)		16.0	50.0	26.0	8.0	0.0	66.0	(n=49)	26.5	40.8	26.5	6.1	0.0	67.3		
天王寺区 (n=106)		17.9	52.8	24.5	4.7	0.0	70.7	(n=84)	14.3	39.3	34.5	11.9	0.0	53.6		
浪速区 (n=66)		22.7	54.5	13.6	6.1	3.0	77.2	(n=55)	25.5	45.5	18.2	9.1	1.8	71.0		
西淀川区 (n=61)		27.9	55.7	13.1	3.3	0.0	83.6	(n=52)	28.8	48.1	15.4	5.8	1.9	76.9		
淀川区 (n=143)		18.9	55.2	16.8	7.7	1.4	74.1	(n=103)	27.2	41.7	19.4	11.7	0.0	68.9		
東淀川区 (n=125)		15.2	50.4	21.6	9.6	3.2	65.6	(n=96)	21.9	39.6	26.0	12.5	0.0	61.5		
東成区 (n=102)		12.7	52.9	29.4	4.9	0.0	65.6	(n=89)	20.2	52.8	21.3	5.6	0.0	73.0		
生野区 (n=141)		17.7	46.8	22.7	8.5	4.3	64.5	(n=104)	22.1	47.1	23.1	6.7	1.0	69.2		
旭区 (n=66)		16.7	47.0	30.3	6.1	0.0	63.7	(n=73)	21.9	47.9	24.7	5.5	0.0	69.8		
城東区 (n=132)		15.2	53.0	22.0	9.1	0.8	68.2	(n=105)	24.8	48.6	20.0	6.7	0.0	73.4		
鶴見区 (n=70)		17.1	51.4	27.1	4.3	0.0	68.5	(n=62)	22.6	54.8	17.7	3.2	1.6	77.4		
阿倍野区 (n=118)		15.3	50.0	22.9	10.2	1.7	65.3	(n=100)	24.0	50.0	19.0	6.0	1.0	74.0		
住之江区 (n=89)		19.1	47.2	24.7	4.5	4.5	66.3	(n=73)	26.0	45.2	23.3	5.5	0.0	71.2		
住吉区 (n=141)		19.9	51.8	19.9	7.1	1.4	71.7	(n=117)	19.7	47.0	27.4	6.0	0.0	66.7		
東住吉区 (n=132)		18.2	47.0	27.3	3.8	3.8	65.2	(n=100)	24.0	47.0	27.0	2.0	0.0	71.0		
平野区 (n=182)		17.6	45.6	27.5	5.5	3.8	63.2	(n=136)	21.3	52.9	19.9	5.9	0.0	74.2		
西成区 (n=127)		12.6	52.8	21.3	10.2	3.1	65.4	(n=97)	19.6	42.3	23.7	12.4	2.1	61.9		

■ 貢献できている ■ やや貢献できている ■ あまり貢献できていない ■ 貢献できていない □ 無回答

※ 「貢献できている」「やや貢献できている」の合計

(5) 地域の在宅医療の推進への今後の意向

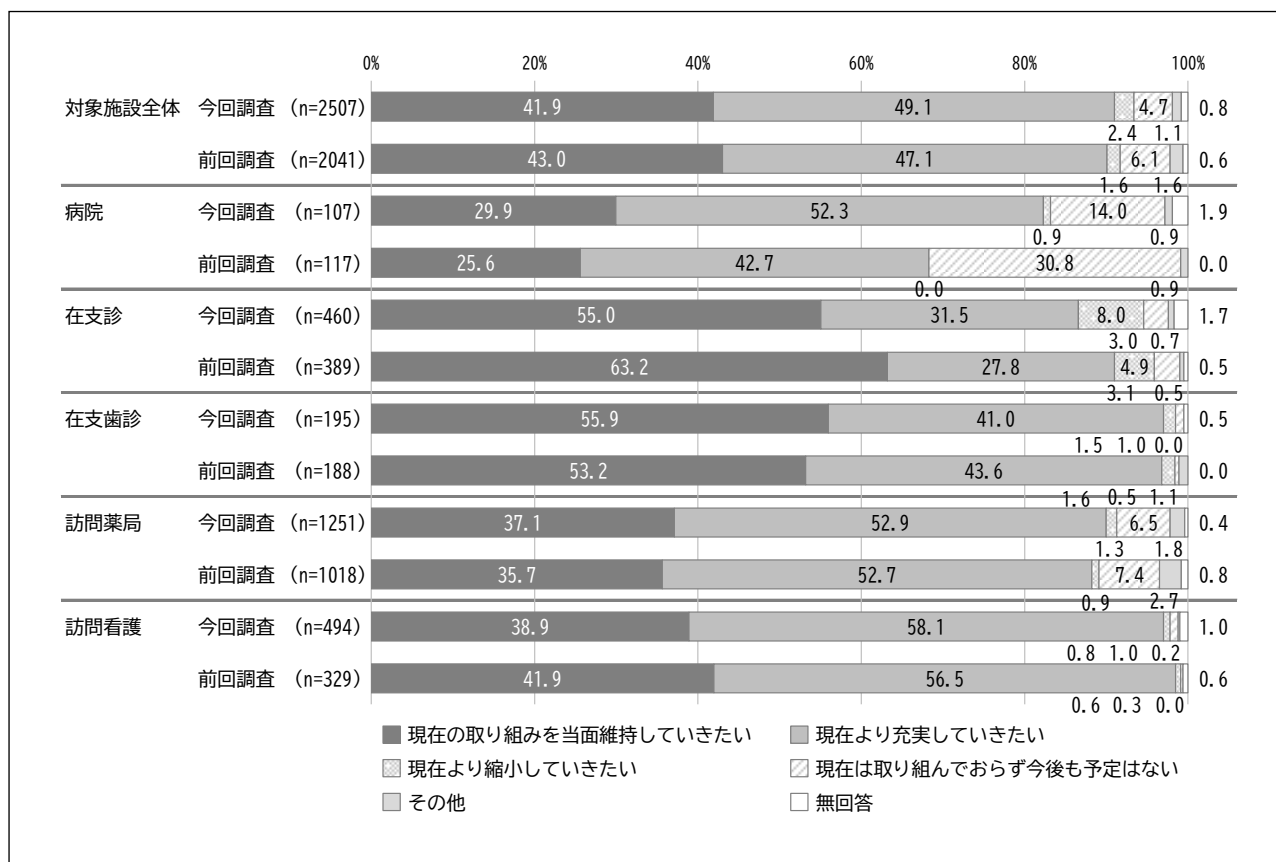
対象施設全体

- ・「現在より充実していきたい」が49.1%と最も多く、次いで、「現在の取り組みを当面維持していきたい」が41.9%となっている。

施設類型別

- ・病院、訪問薬局、訪問看護では、「現在より充実していきたい」が最も多く、病院で52.3%、訪問薬局で52.9%、訪問看護で58.1%となっている。
- ・在支診、在支歯診では、「現在の取り組みを当面維持していきたい」が最も多く、在支診で55.0%、在支歯診で55.9%となっている。

図表26 地域の在宅医療の推進への今後の意向



(6) 仕事の満足度

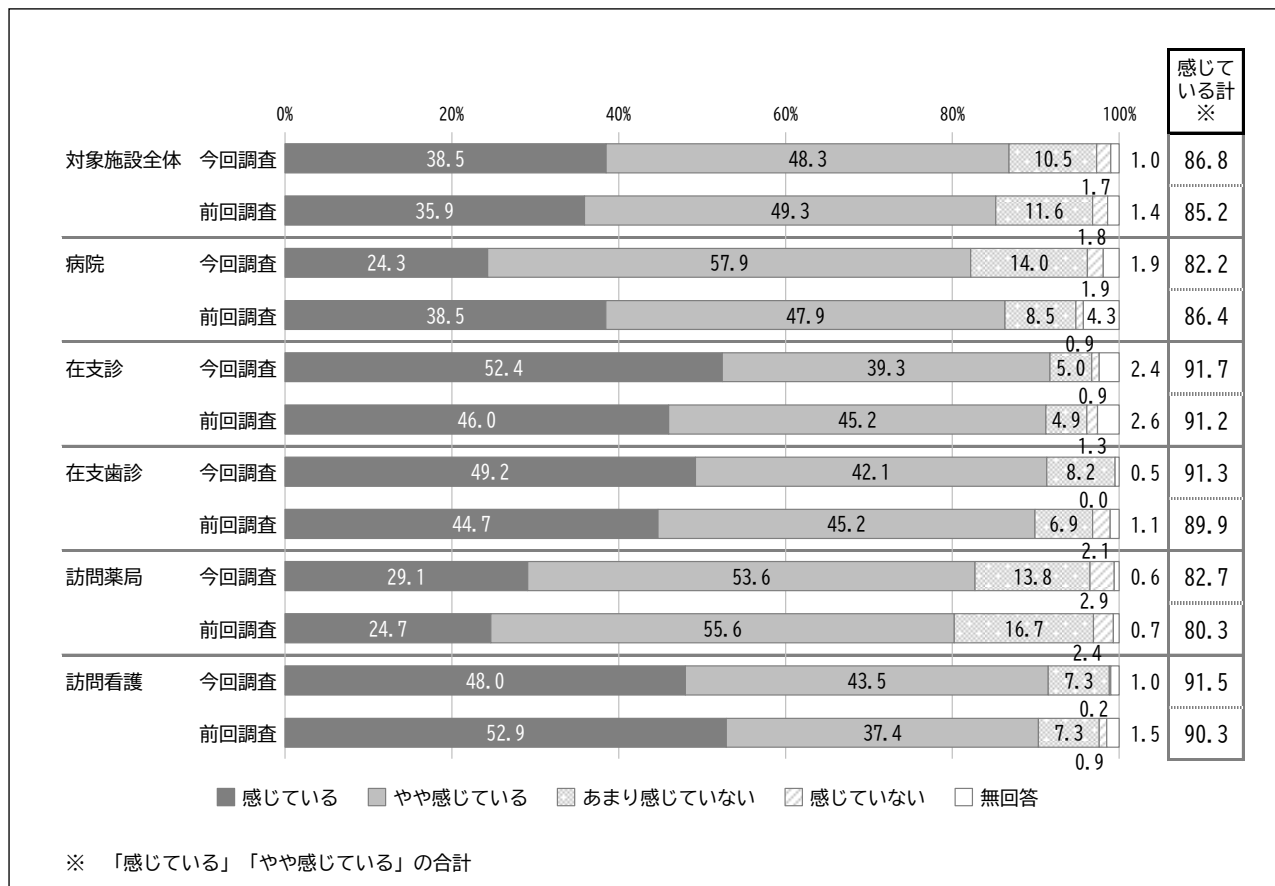
対象施設全体

・「やや感じている」が48.3%と最も多く、「感じている」の38.5%と合計して、86.8%となっている。

施設類型別

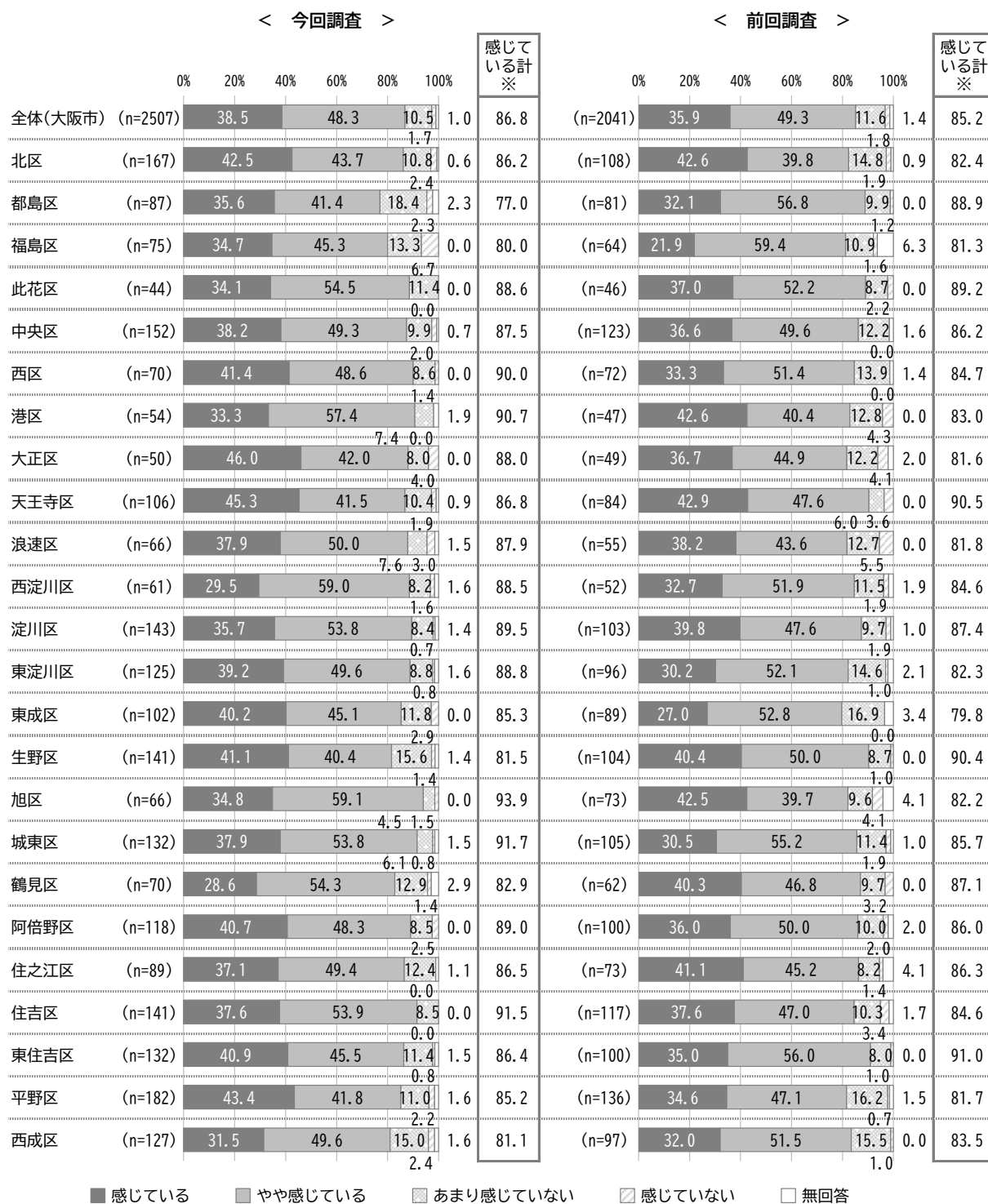
・「感じている」「やや感じている」の合計は、在支診が91.7%と最も多く、次いで、訪問看護91.5%、在支歯診91.3%、訪問薬局82.7%、病院82.2%の順となっており、いずれの施設類型においても前回調査と同程度となっている。

図表27 仕事の満足度



【参考】仕事の満足度（対象施設全体・区別）

【対象施設全体】



※ 「感じている」「やや感じている」の合計

6 ACP（人生会議）

(1) ACP（人生会議）の実施状況

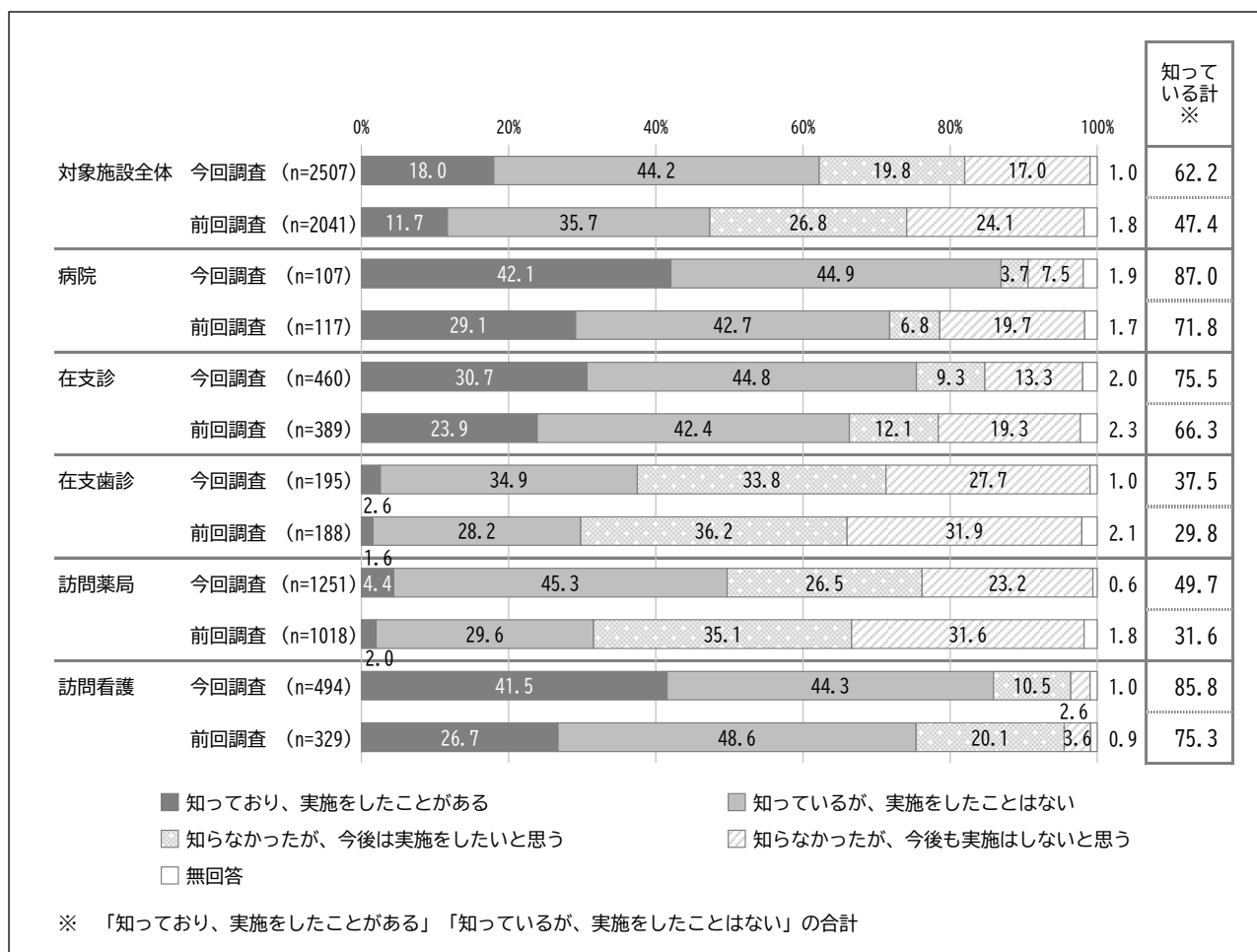
対象施設全体

- ・「知っているが、実施をしたことはない」が44.2%と最も多く、次いで、「知らなかったが、今後は実施をしたいと思う」が19.8%、「知っており、実施をしたことがある」が18.0%の順となっている。
- ・「知っており、実施をしたことがある」「知っているが、実施をしたことはない」（以下、「知っている」）の合計は62.2%となっており、前回調査の47.4%より増加している。

施設類型別

- ・「知っており、実施をしたことがある」は、病院で42.1%と最も多く、次いで、訪問看護41.5%、在支診30.7%、訪問薬局4.4%、在支歯診2.6%の順となっており、特に病院、訪問看護、在支診において前回調査より増加している。
- ・「知っている」の合計は、いずれの施設類型においても前回調査より増加している。

図表28 ACP（人生会議）の実施状況

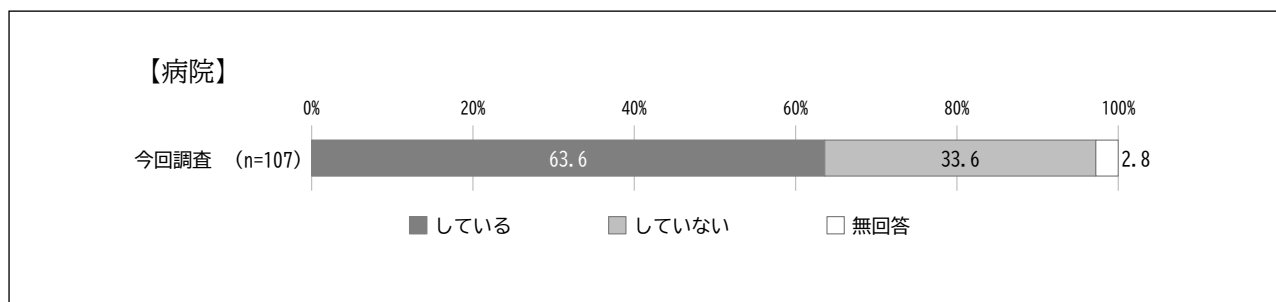


(2) 意思決定支援にかかる指針の作成

病院

・「している」が63.6%と、「していない」の33.6%を上回っている。

図表29 意思決定支援にかかる指針の作成

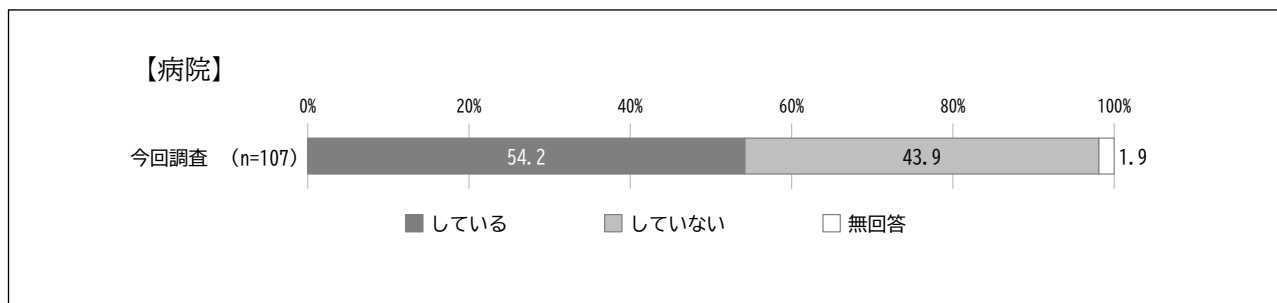


(3) 意思決定支援やACPにかかるとの取り組み

病院

・「している」が54.2%と、「していない」の43.9%を上回っている。

図表30 意思決定支援やACPにかかるとの取り組み



(4) ACP についての意見交換・共有

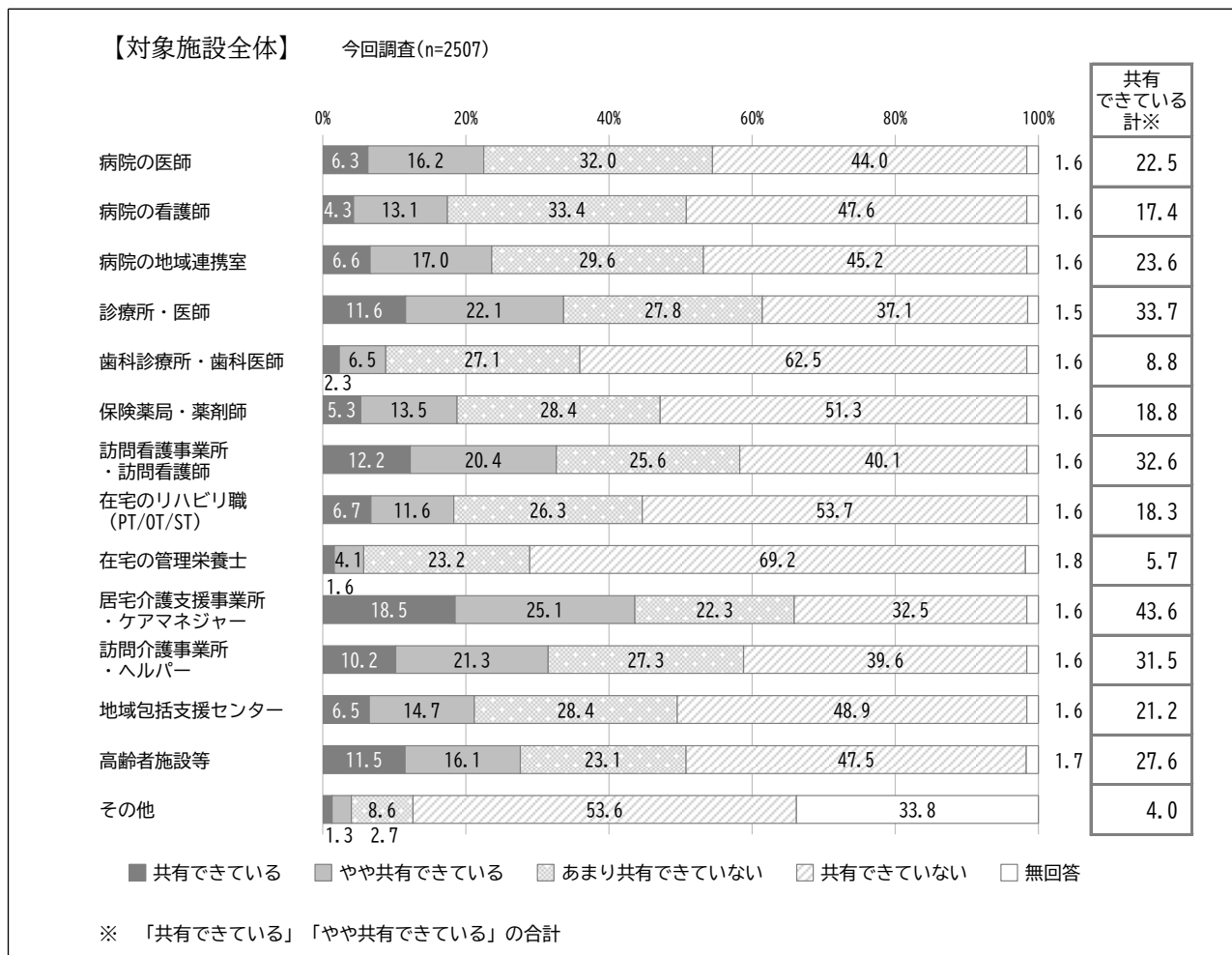
対象施設全体

- ・「共有できている」「やや共有できている」の合計は、「居宅介護支援事業所・ケアマネジャー」が43.6%で最も多く、次いで、「診療所・医師」が33.7%、「訪問看護事業所・訪問看護師」が32.6%、「訪問介護事業所・ヘルパー」が31.5%の順となっている。

施設類型別

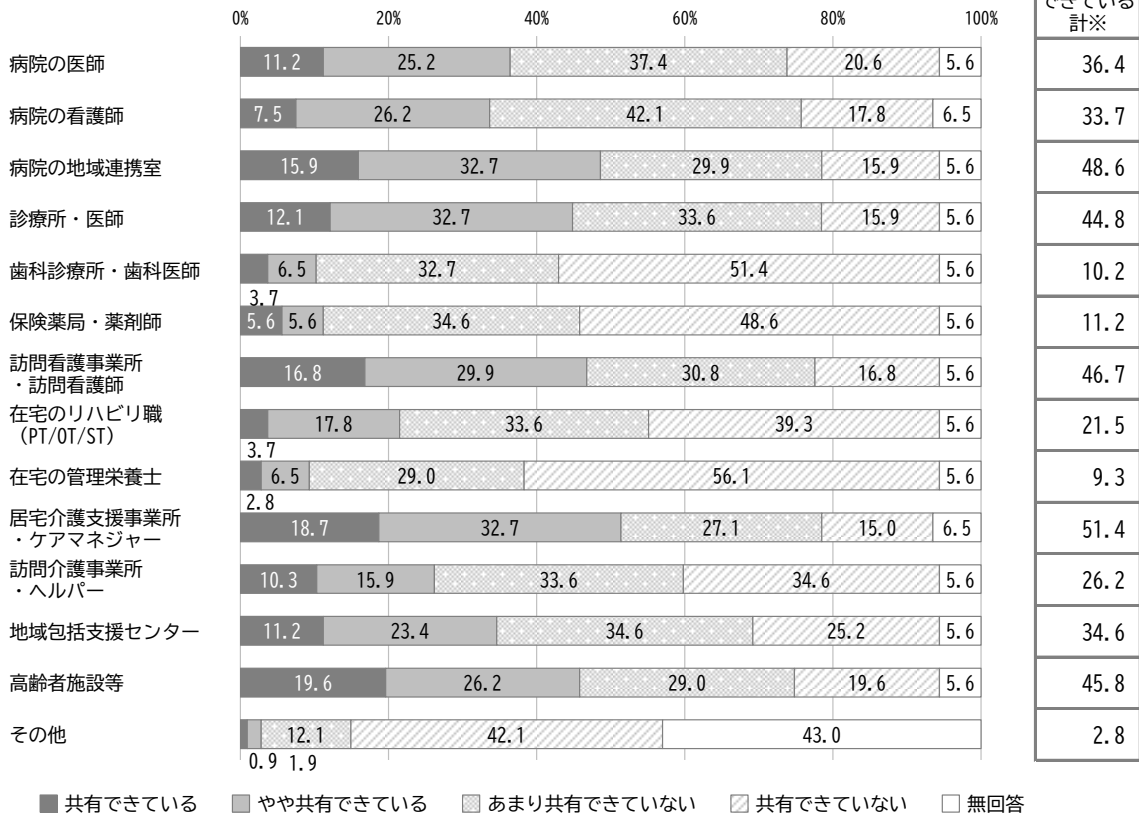
- ・病院では、「共有できている」「やや共有できている」の合計は、「居宅介護支援事業所・ケアマネジャー」が51.4%で最も多く、次いで、「病院の地域連携室」が48.6%、「訪問看護事業所・訪問看護師」が46.7%の順となっている。
- ・在宅では、「共有できている」「やや共有できている」の合計は、「訪問看護事業所・訪問看護師」が63.7%で最も多く、次いで、「居宅介護支援事業所・ケアマネジャー」が61.5%、「高齢者施設等」が49.3%の順となっている。
- ・在宅歯診では、「共有できている」「やや共有できている」の合計は、「居宅介護支援事業所・ケアマネジャー」が35.9%で最も多く、次いで、「高齢者施設等」が32.3%、「訪問介護事業所・ヘルパー」が24.6%の順となっている。
- ・訪問薬局では、「共有できている」「やや共有できている」の合計は、「居宅介護支援事業所・ケアマネジャー」が25.3%で最も多く、次いで、「診療所・医師」が21.6%、「訪問看護事業所・訪問看護師」が18.8%の順となっている。
- ・訪問看護では、「共有できている」「やや共有できている」の合計は、「居宅介護支援事業所・ケアマネジャー」が74.5%で最も多く、次いで、「診療所・医師」が69.4%、「訪問介護事業所・ヘルパー」が57.3%の順となっている。

図表31 ACP についての意見交換・共有



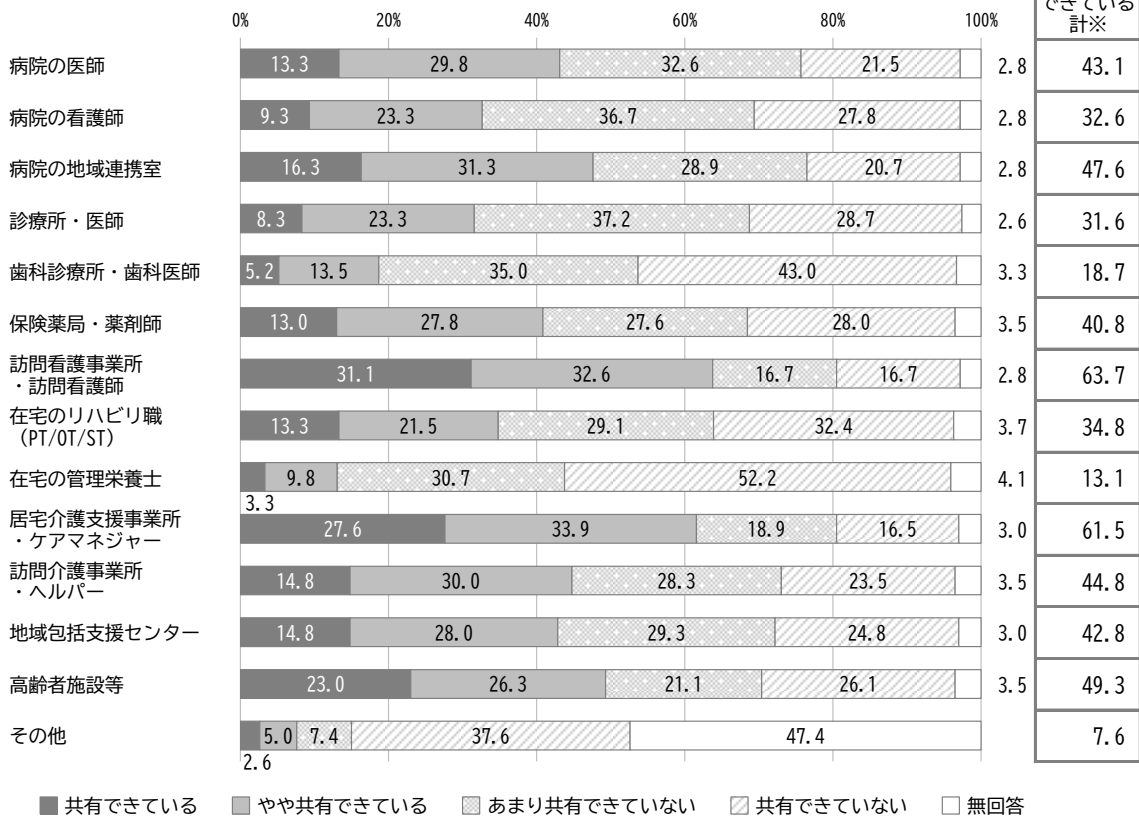
【病院】

今回調査(n=107)



【在宅診】

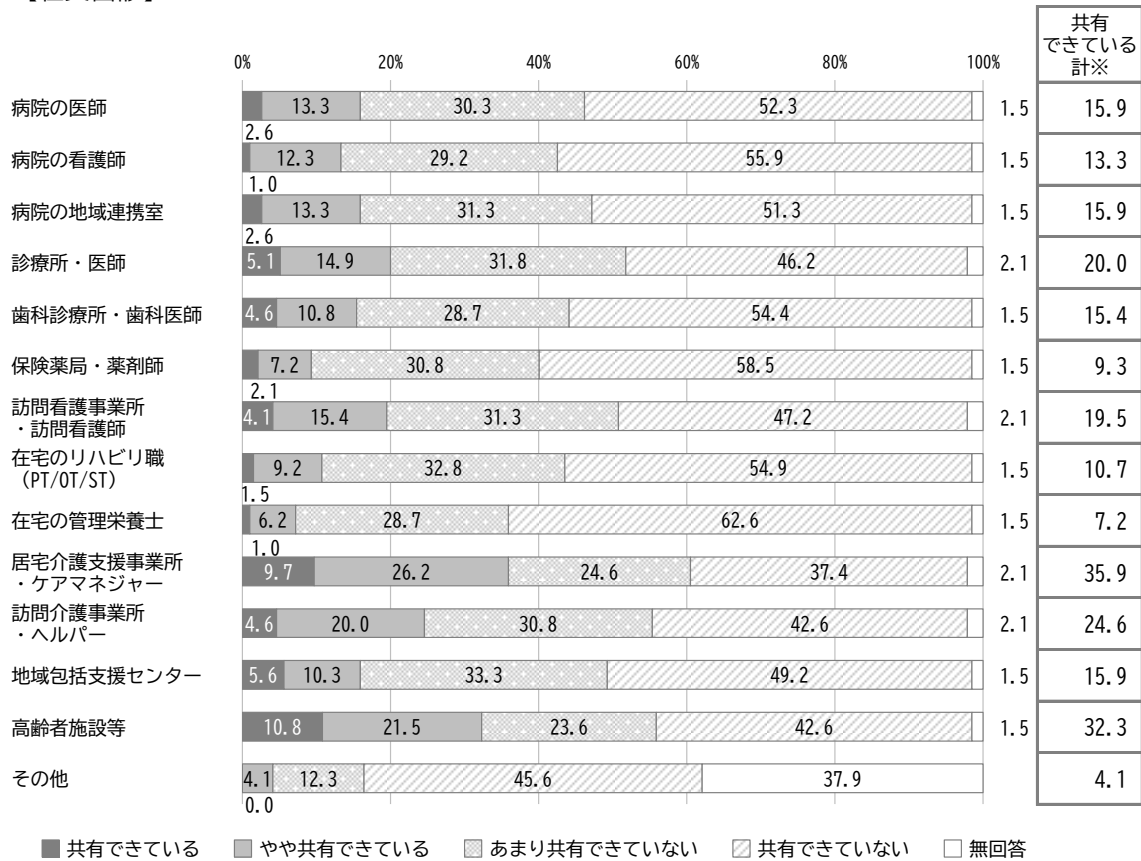
今回調査(n=460)



※ 「共有できている」「やや共有できている」の合計

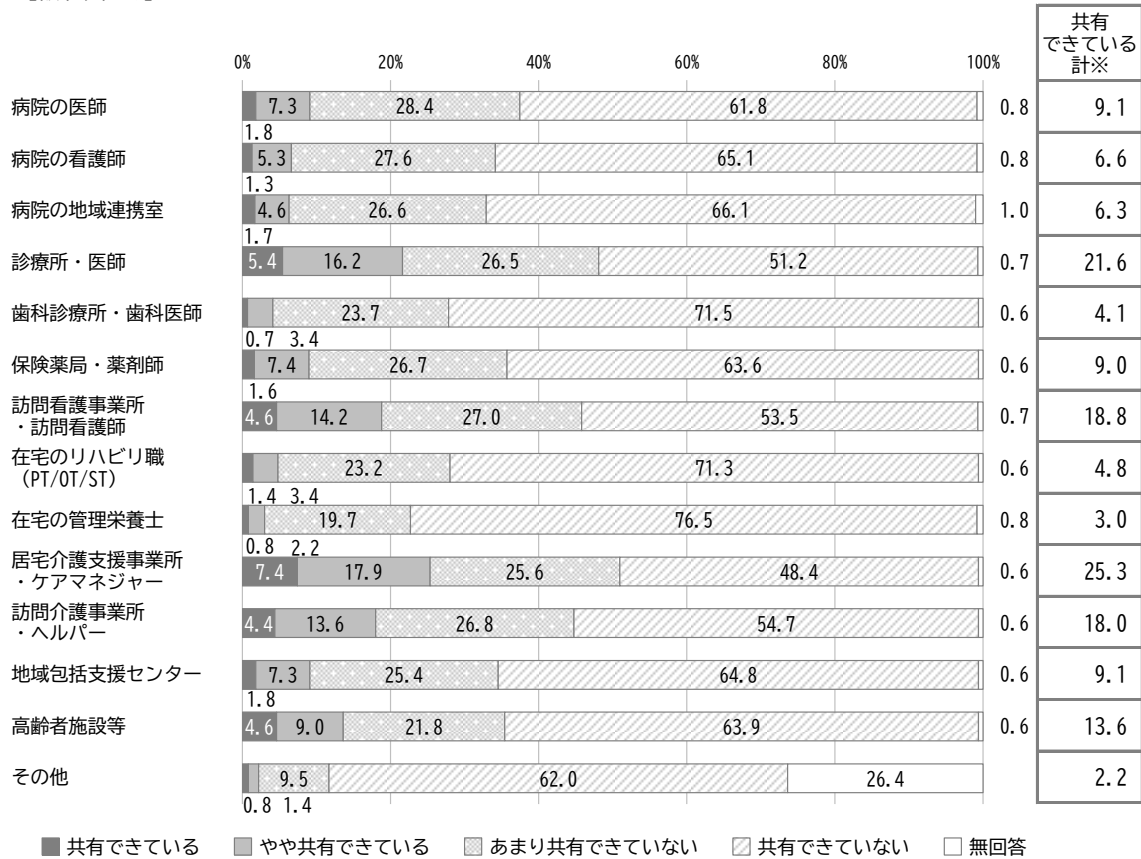
【在支歯診】

今回調査(n=195)



【訪問薬局】

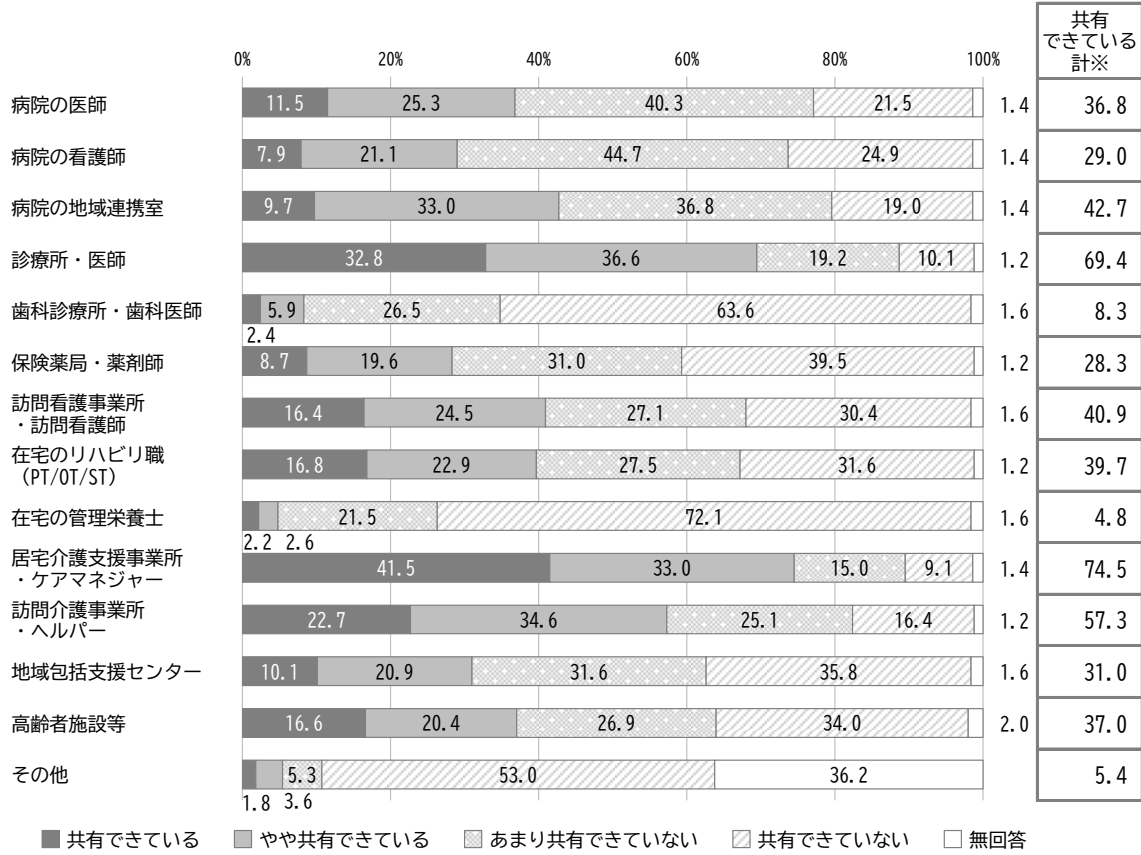
今回調査(n=1251)



※ 「共有できている」「やや共有できている」の合計

【訪問看護】

今回調査(n=494)



※ 「共有できている」「やや共有できている」の合計

(5) ACP 実施における課題

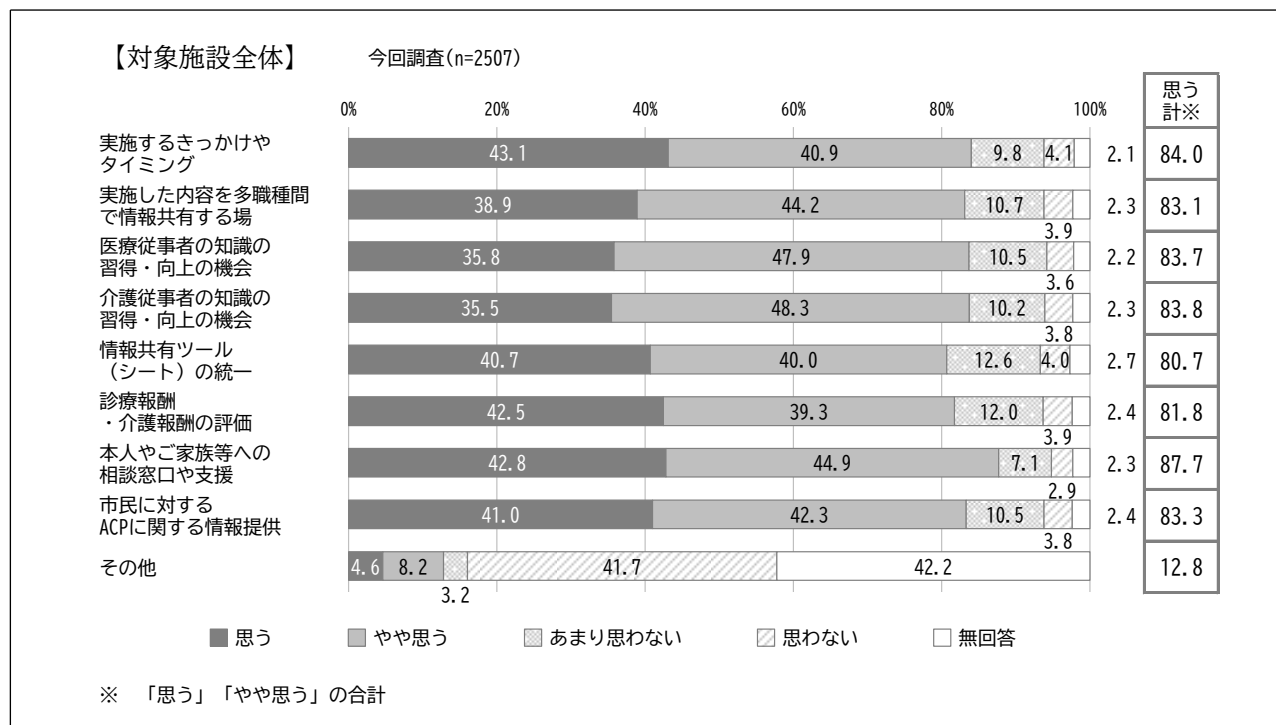
対象施設全体

- ・「思う」「やや思う」の合計は、「本人やご家族等への相談窓口や支援」が87.7%で最も多く、次いで、「実施するきっかけやタイミング」84.0%、「介護従事者の知識の習得・向上の機会」83.8%、「医療従事者の知識の習得・向上の機会」83.7%の順となっている。

施設類型別

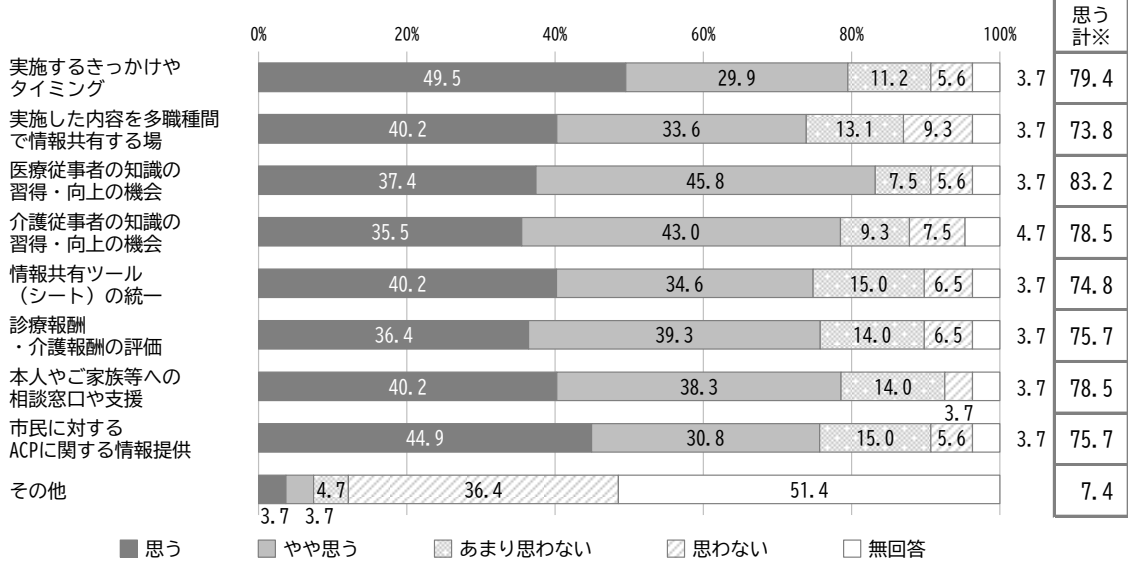
- ・病院では、「思う」「やや思う」の合計は、「医療従事者の知識の習得・向上の機会」が83.2%で最も多く、次いで、「実施するきっかけやタイミング」が79.4%、「介護従事者の知識の習得・向上の機会」「本人やご家族等への相談窓口や支援」が78.5%の順となっている。
- ・在支診では、「思う」「やや思う」の合計は、「本人やご家族等への相談窓口や支援」が85.9%で最も多く、次いで、「診療報酬・介護報酬の評価」が83.3%、「実施するきっかけやタイミング」が81.7%の順となっている。
- ・在支歯診では、「思う」「やや思う」の合計は、「診療報酬・介護報酬の評価」が82.1%で最も多く、次いで、「本人やご家族等への相談窓口や支援」が81.5%、「医療従事者の知識の習得・向上の機会」「介護従事者の知識の習得・向上の機会」が80.0%となっている。
- ・訪問薬局では、「思う」「やや思う」の合計は、「本人やご家族等への相談窓口や支援」が88.5%で最も多く、次いで、「医療従事者の知識の習得・向上の機会」が85.7%、「実施した内容を多職種間で情報共有する場」が84.9%の順となっている。
- ・訪問看護では、「思う」「やや思う」の合計は、「本人やご家族等への相談窓口や支援」が91.7%で最も多く、次いで、「介護従事者の知識の習得・向上の機会」が90.1%、「実施するきっかけやタイミング」が87.7%の順となっている。

図表32 ACP 実施における課題



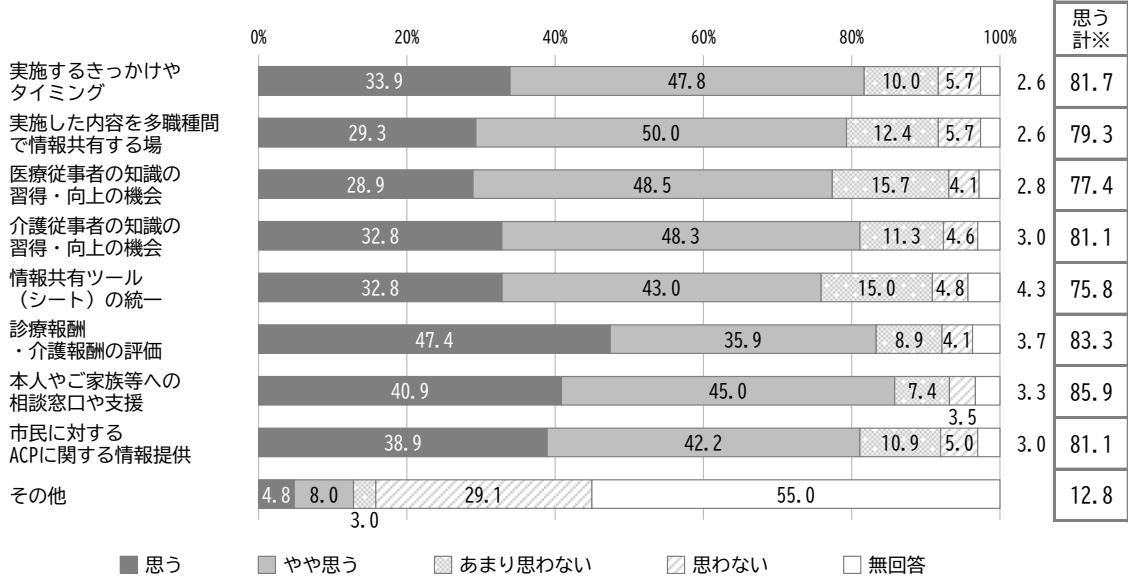
【病院】

今回調査(n=107)



【在支診】

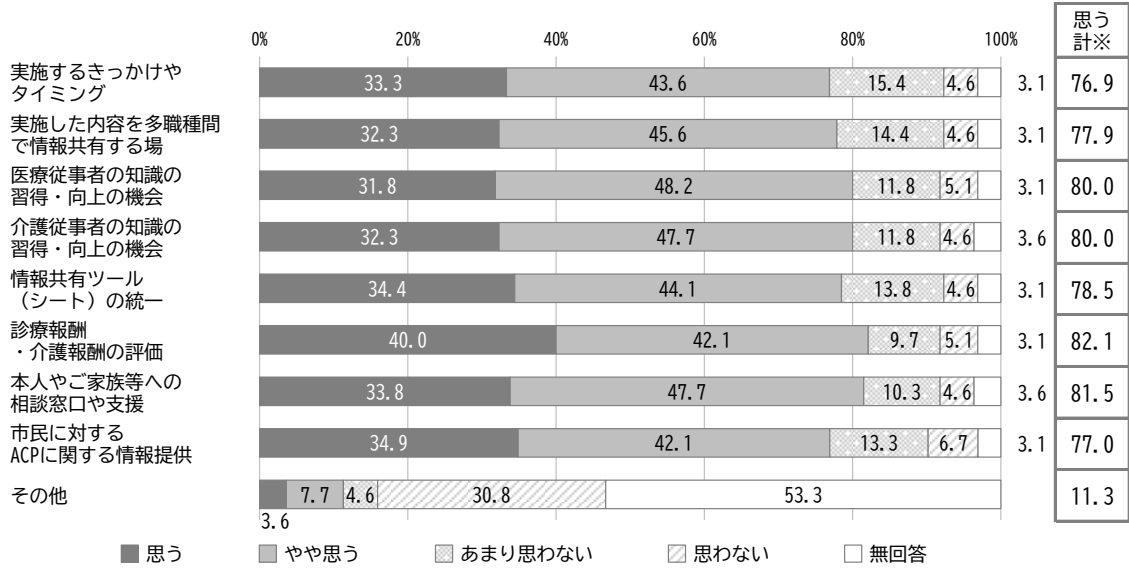
今回調査(n=460)



※ 「思う」「やや思う」の合計

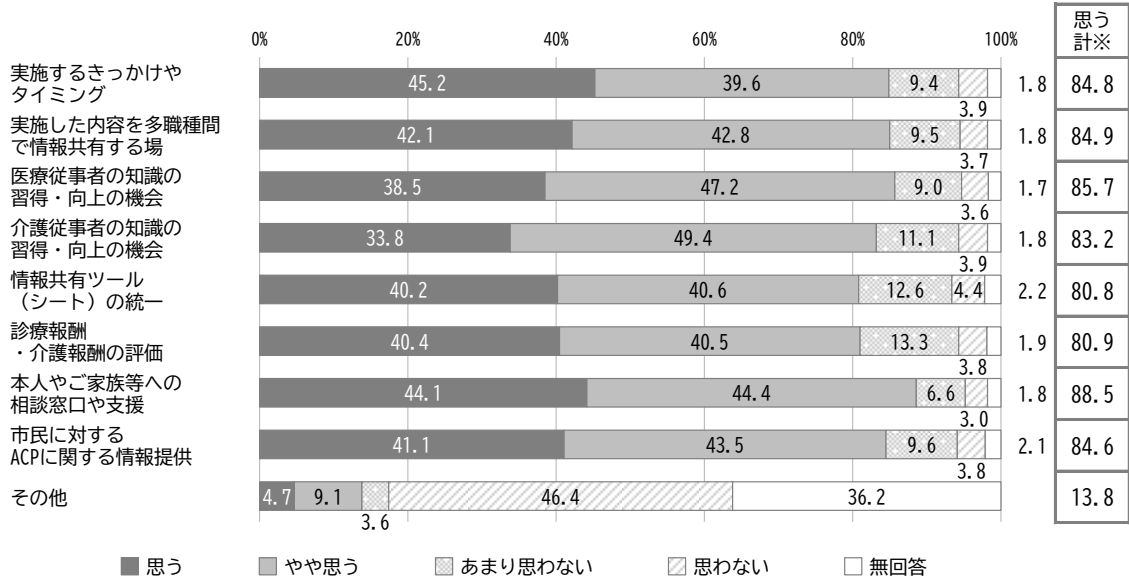
【在支歯診】

今回調査(n=195)



【訪問薬局】

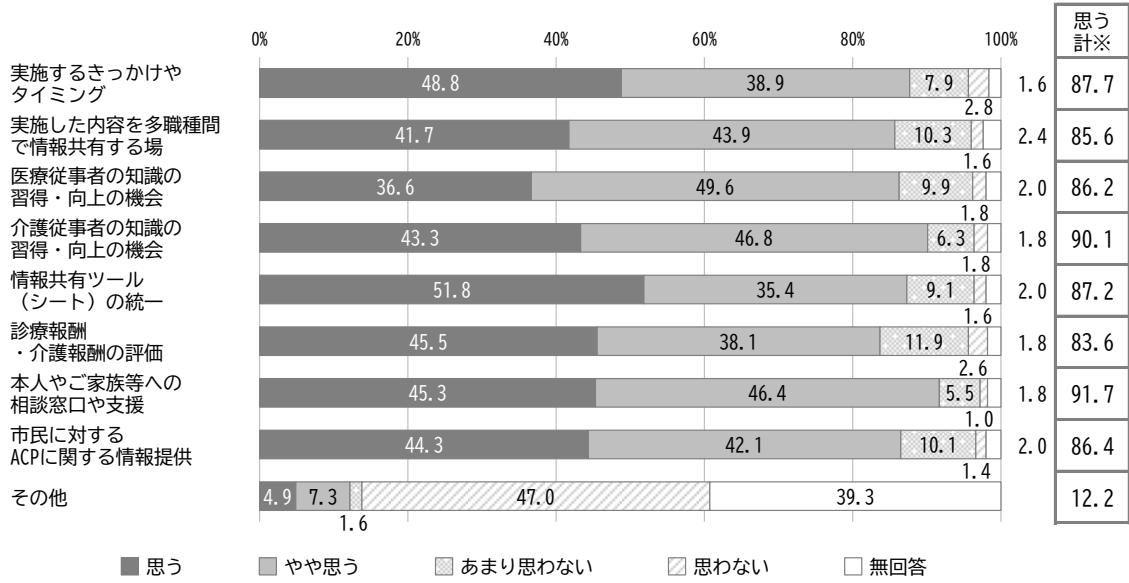
今回調査(n=1251)



※ 「思う」「やや思う」の合計

【訪問看護】

今回調査(n=494)



※ 「思う」「やや思う」の合計

(6) 在宅での看取りについての課題

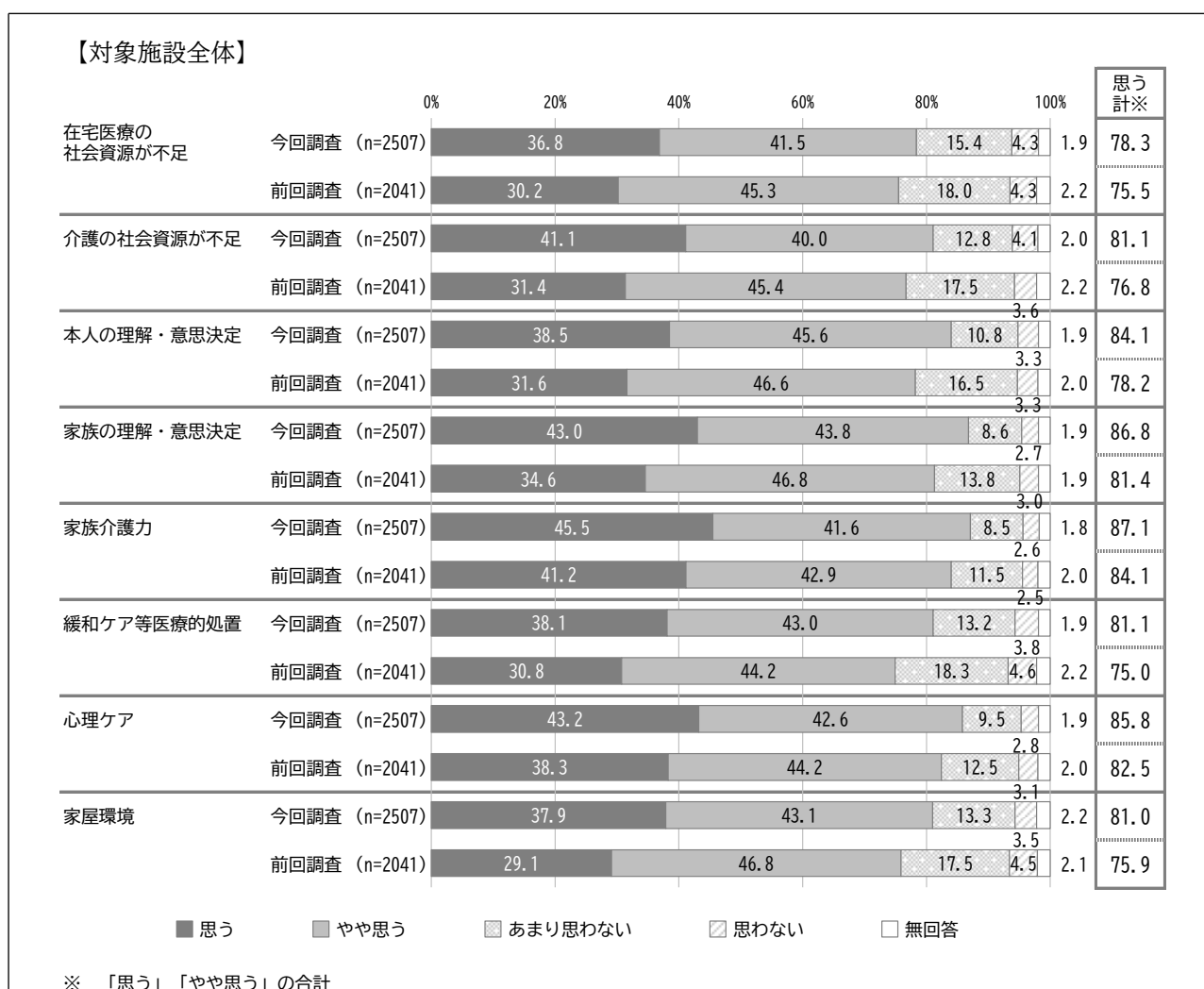
対象施設全体

- ・「思う」「やや思う」の合計は、「家族介護力」が87.1%で最も多く、次いで、「家族の理解・意思決定」が86.8%、「心理ケア」が85.8%の順となっている。

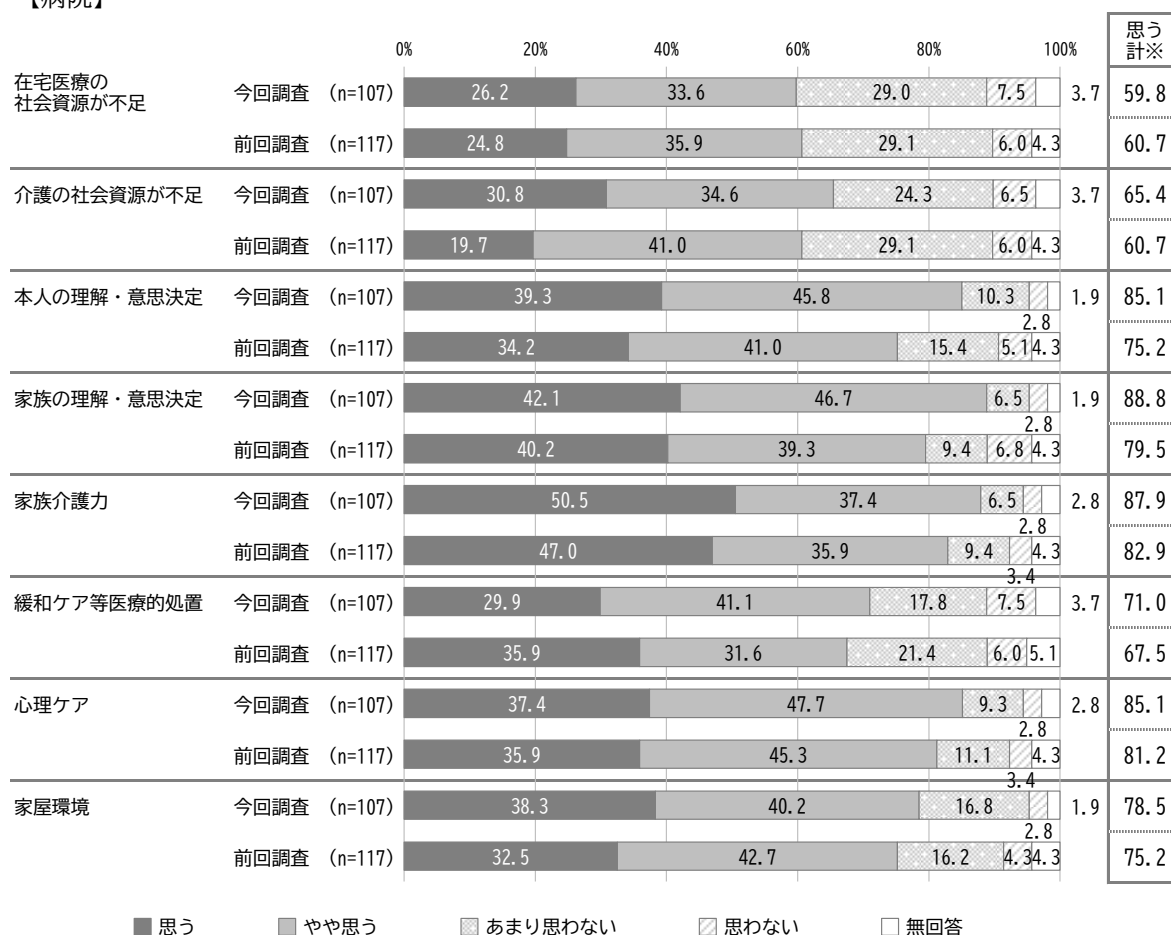
施設類型別

- ・病院では、「思う」「やや思う」の合計は、「家族の理解・意思決定」が88.8%で最も多く、次いで、「家族介護力」が87.9%、「本人の理解・意思決定」「心理ケア」が85.1%の順となっている。
- ・在宅診療では、「思う」「やや思う」の合計は、「家族介護力」が88.3%で最も多く、次いで、「家族の理解・意思決定」が85.6%、「心理ケア」が82.6%の順となっている。
- ・在宅歯科診療では、「思う」「やや思う」の合計は、「家族介護力」が87.7%で最も多く、次いで、「心理ケア」が85.6%、「家族の理解・意思決定」「緩和ケア等医療的処置」が84.1%の順となっている。
- ・訪問薬局では、「思う」「やや思う」の合計は、「心理ケア」が86.9%で最も多く、次いで、「家族の理解・意思決定」が86.8%、「家族介護力」が86.0%の順となっている。
- ・訪問看護では、「思う」「やや思う」の合計は、「家族の理解・意思決定」が88.4%で最も多く、次いで、「家族介護力」が88.3%、「心理ケア」が86.0%の順となっている。

図表33 在宅での看取りについての課題

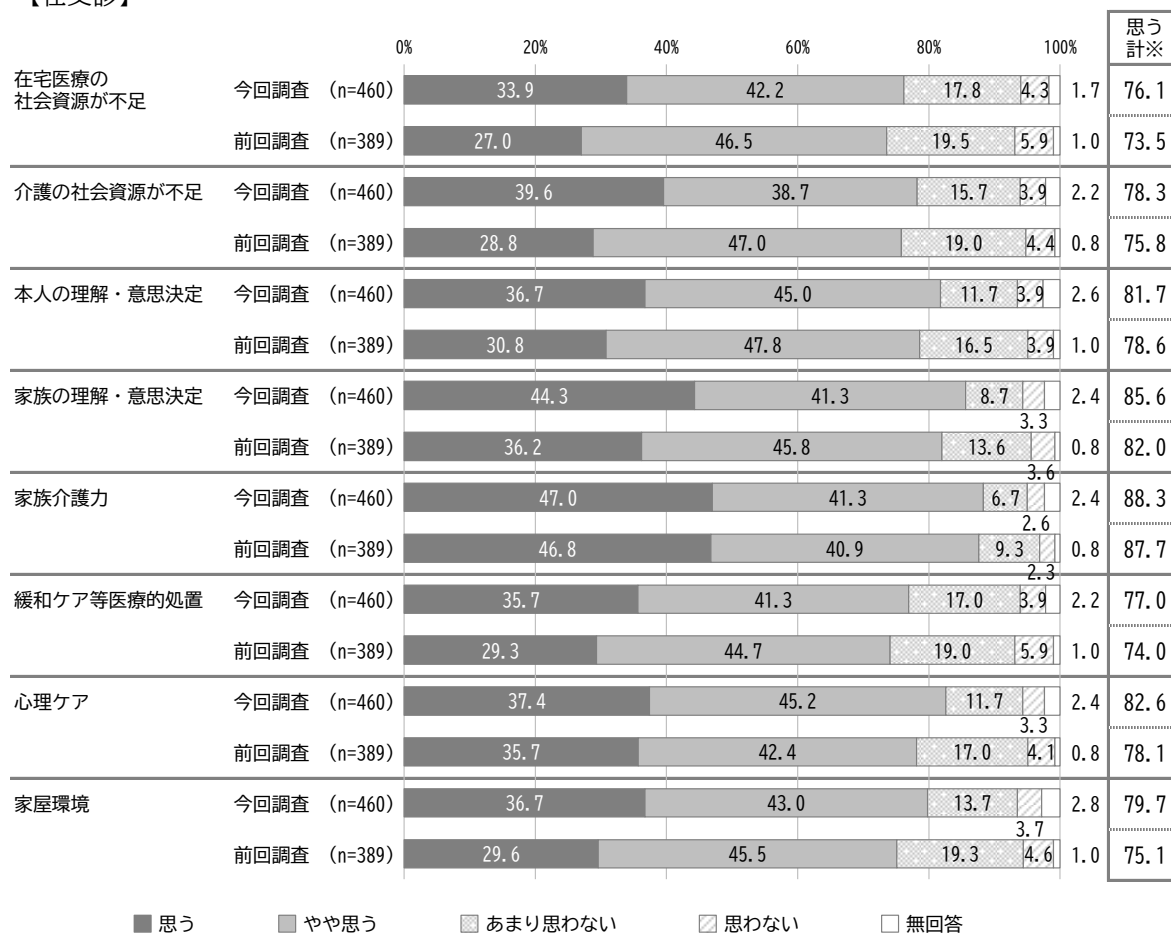


【病院】



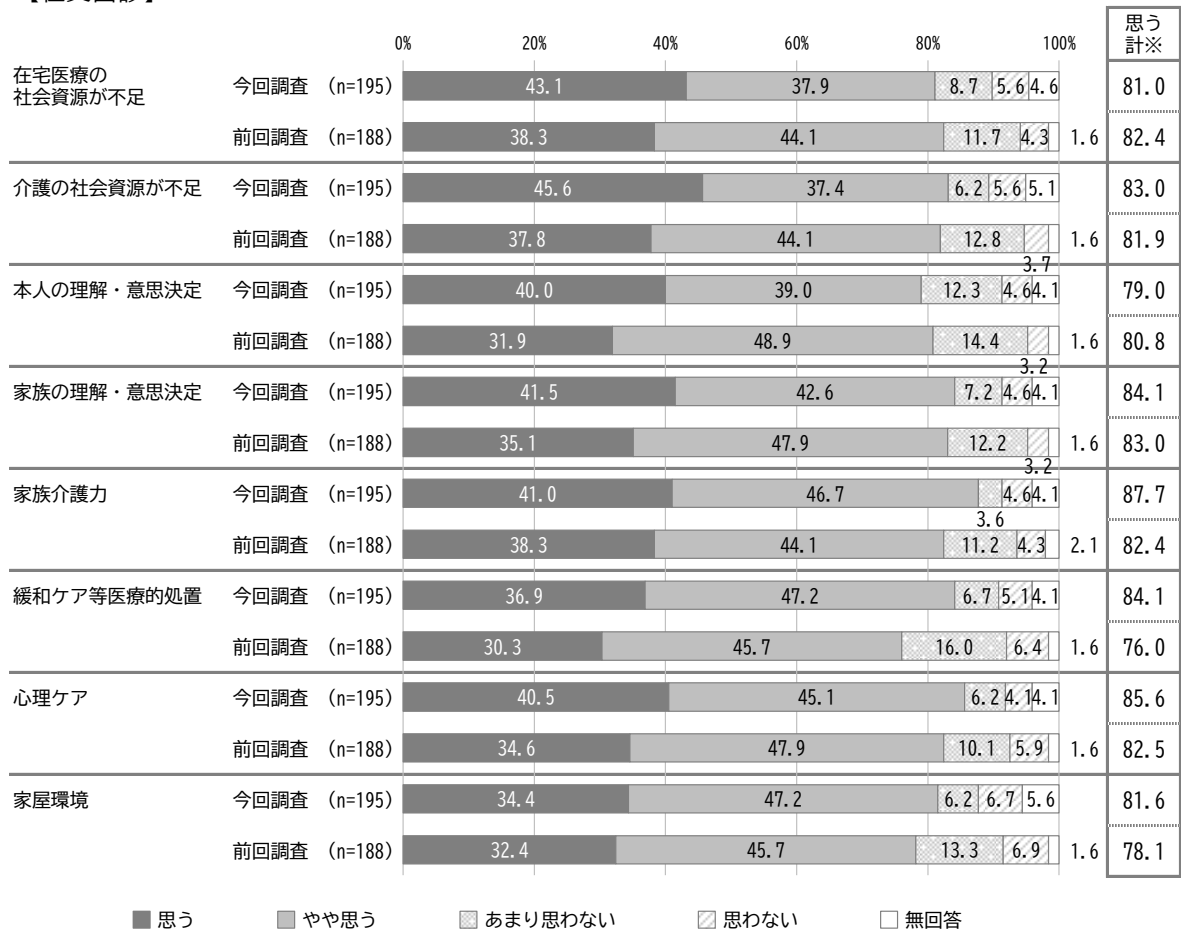
※ 「思う」「やや思う」の合計

【在支診】



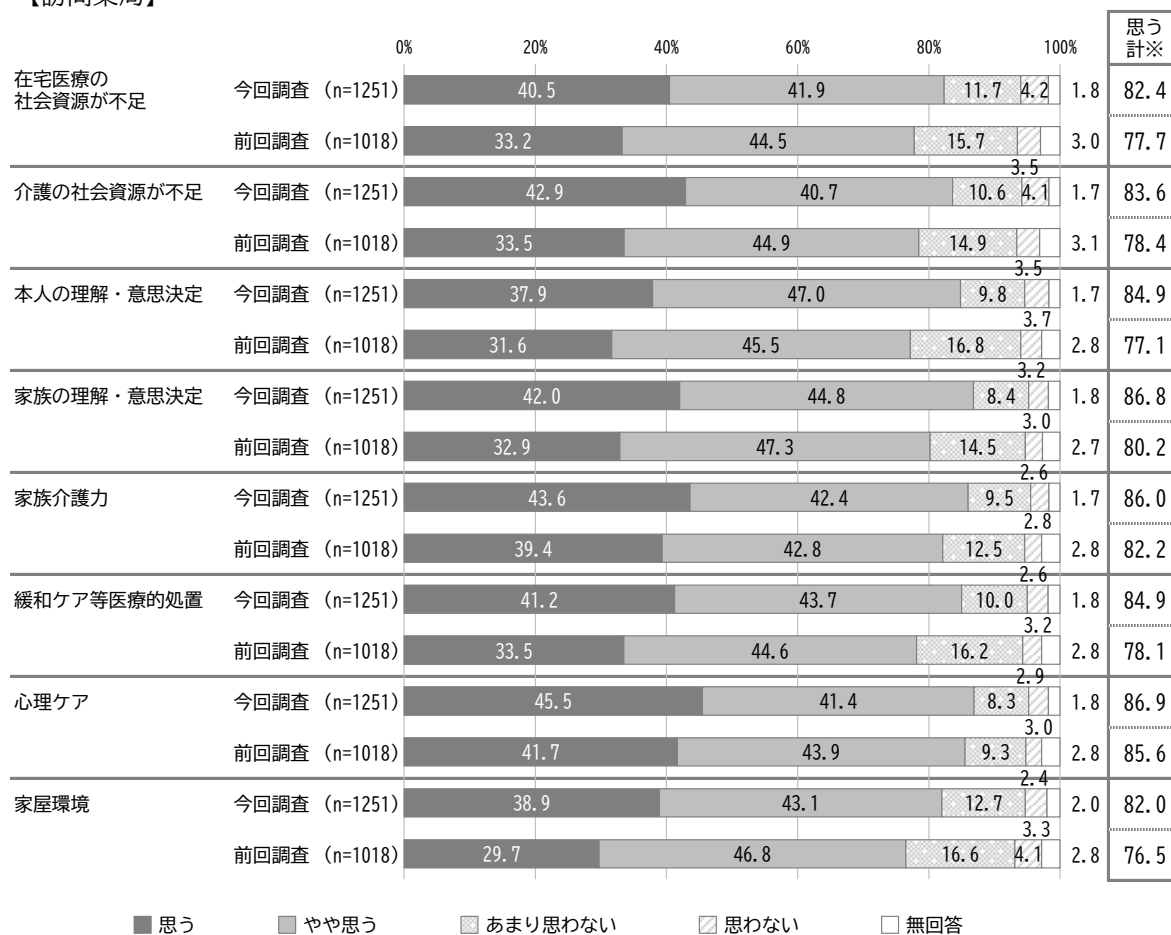
※ 「思う」「やや思う」の合計

【在宅歯診】



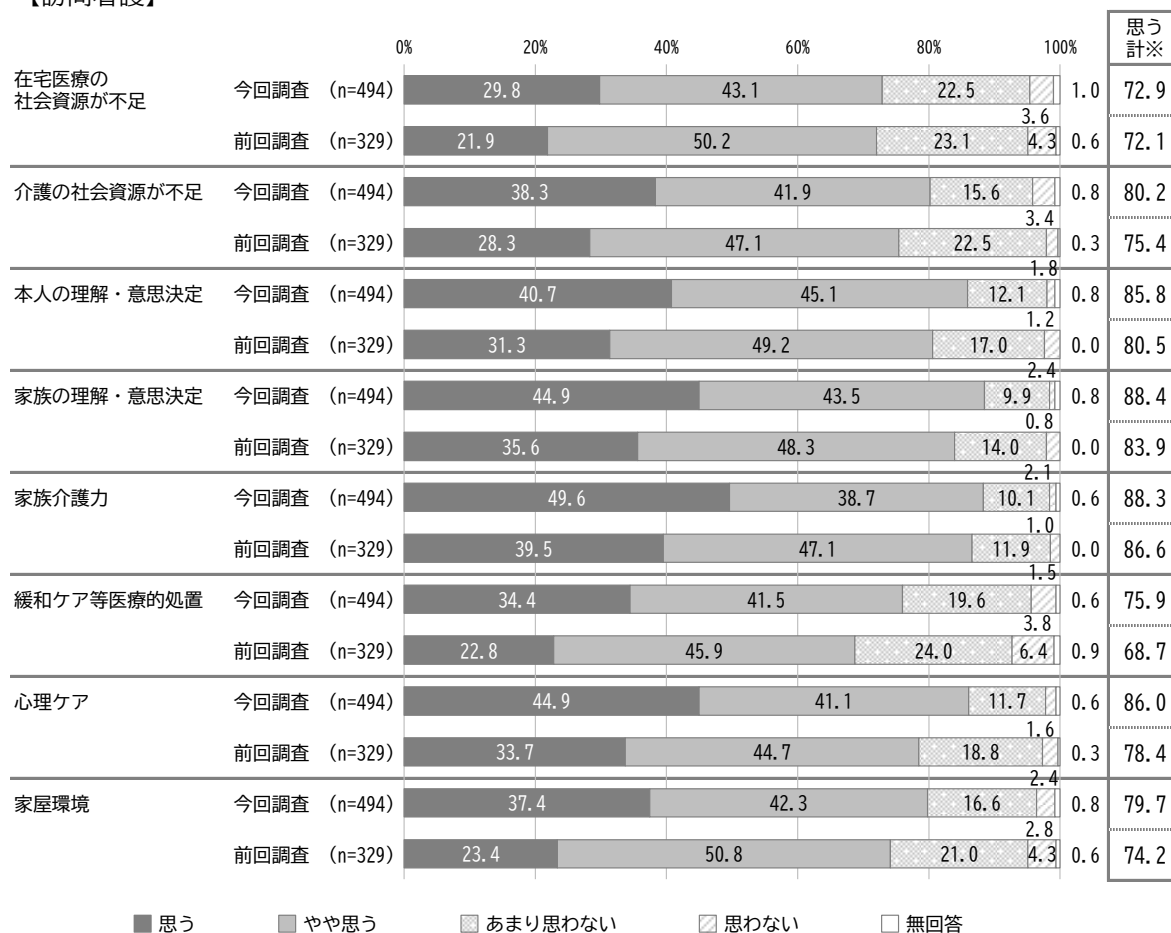
※ 「思う」「やや思う」の合計

【訪問薬局】



※ 「思う」「やや思う」の合計

【訪問看護】



■ 思う ■ やや思う ■ あまり思わない ■ 思わない □ 無回答

※ 「思う」「やや思う」の合計

7 大阪市在宅医療・介護連携推進事業等

(1) 「在宅医療・介護連携相談支援室」の認知・利用実績

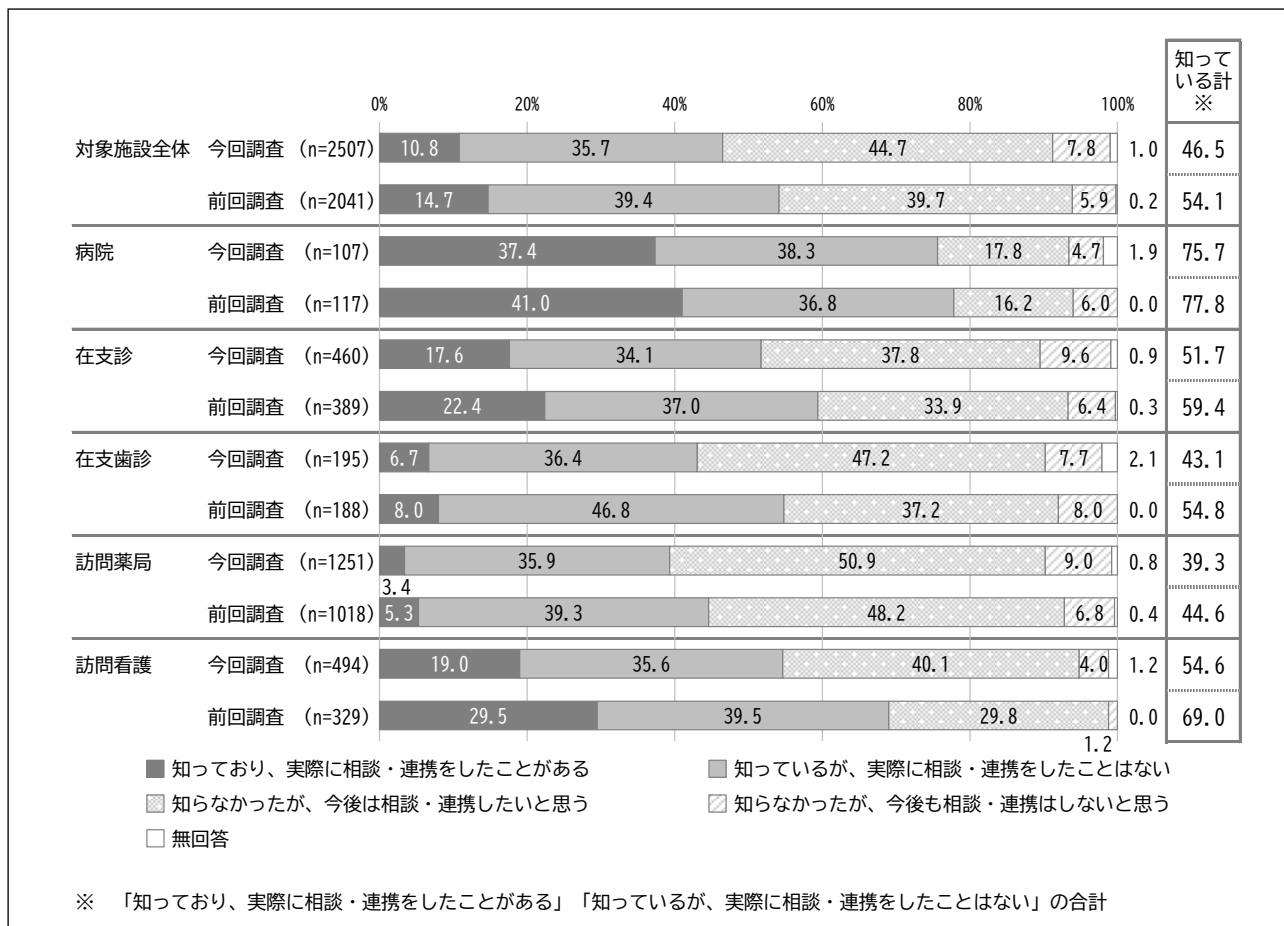
対象施設全体

- ・「知らなかったが、今後は相談・連携したいと思う」が44.7%と最も多く、次いで、「知っているが、実際に相談・連携をしたことはない」が35.7%、「知っており、実際に相談・連携をしたことがある」が10.8%の順となっている。
- ・「知っており、実際に相談・連携をしたことがある」「知っているが、実際に相談・連携をしたことはない」(以下、「知っている」)の合計は46.5%で、前回調査の54.1%より減少している。

施設類型別

- ・「知っている」の合計は、病院が75.7%と最も多く、次いで、訪問看護が54.6%、在支診が51.7%、在支歯診が43.1%、訪問薬局が39.3%の順となっている。
- ・「知っており、実際に相談・連携をしたことがある」の割合は、病院が37.4%と最も多く、次いで、訪問看護が19.0%、在支診が17.6%、在支歯診が6.7%、訪問薬局が3.4%の順となっている。

図表34 「在宅医療・介護連携相談支援室」の認知・利用実績



(2) 「在宅医療連携拠点の相談支援室」の認知・利用実績

対象施設全体

- ・「知らなかったが、今後は相談・連携したいと思う」が55.4%と最も多く、次いで、「知っているが、実際に相談・連携をしたことはない」が29.6%、「知らなかったが、今後も相談・連携はしないと思う」が8.8%の順となっている。
- ・「知っており、実際に相談・連携をしたことがある」「知っているが、実際に相談・連携をしたことはない」（以下、「知っている」）の合計は34.7%となっている。

施設類型別

- ・「知っている」の合計は、病院が63.5%と最も多く、次いで、在支診が45.2%、訪問看護が40.3%、在支歯診が29.2%、訪問薬局が27.1%の順となっている。
- ・「知っており、実際に相談・連携をしたことがある」の割合は、病院が14.0%と最も多く、次いで、在支診が11.5%、訪問看護が7.1%、訪問薬局が1.8%、在支歯診が1.5%の順となっている。

図表35 「在宅医療連携拠点の相談支援室」の認知・利用実績

